

# 愛知大学要覧



2010

AICHI  
UNIVERSITY

## 平成21年新司法試験 本学法科大学院から 20名が合格!

合格率は全国第5位、私大ではトップ!

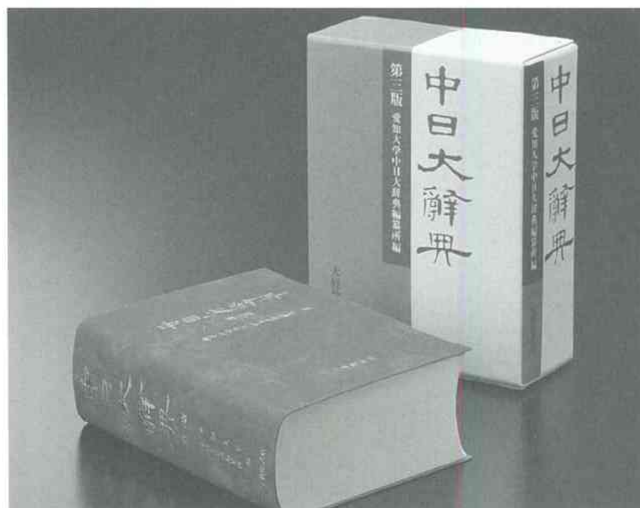
平成21年新司法試験で、本学法科大学院から41名が受験し、20名が合格しました。合格率が全国平均27.64%と低下したなか、本学法科大学院修了生の合格率は48.78%で、全国5位の好成績をおさめました。私大では、全国1位でした。



## 中日大辞典第三版刊行

十数年に及ぶ改訂作業を経て、待望の『中日大辞典第三版』が2010年2月26日に販売開始となりました。百科項目・古典語など、信頼される本辞典の長所を保ちつつ、最新の研究成果を取り入れて、語義・用法・例文などを全面的に検討し、的確な訳語・解説を施しました。

さらに日々変貌する中国で生み出される新語も幅広く収録しています。



## 愛知リーガルクリニック法律事務所開設

『愛知リーガルクリニック法律事務所』は、愛知大学法科大学院を母体とし、法科大学院生に臨床法学教育の場を提供することを主な目的として、車道校舎内に開設されました。

同事務所では、毎月1回無料法律相談を実施します。相談は愛知大学法科大学院専任教員(弁護士)が担当し、法科大学院生が立ち会います。

## 「第3次基本構想」(「次を拓く愛大2015」) まとまる

2010年3月に、2010年度から2015年度までの6年間を対象期間とする第3次基本構想(「次を拓く愛大2015」)がとりまとめられました。第3次基本構想の中核をなすのは、新名古屋校舎の開校とこれを視野に入れた豊橋校舎の再編、そして車道校舎も含めた新たな知のトライアングルの形成です。新名古屋校舎は、名古屋市のGNI(グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ)の一環として国際化拠点と位置づけ、併せて「まちのにぎわいづくり」に貢献すること、豊橋校舎は、「地域社会・文化への貢献」をキーワードに文学部再編と地域政策学部設置(構想中)を軸としたリニューアルを行うこと、車道校舎は、専門職大学院を軸とした高度専門職業人の養成と、社会人のリカレント教育を特色とするキャンパスとして発展させること、をそれぞれめざしていきます。第3次基本構想への取り組みを通じて、本学の建学の精神である「世界文化と平和への貢献」、「国際的教養と視野をもった人材の育成」、「地域社会への貢献」を深化、展開させていきます。

## 硬式野球部と男子バレーボール部が リーグ優勝!

秋季より1部リーグへ復帰した本学硬式野球部は、2009年10月18日、名商大グラウンドで愛工大に4対1で勝ち、2004年以来、10季ぶり10度目のリーグ優勝を果たしました。5季ぶりに1部リーグへ昇格した今季でしたが、開幕直後より順調に勝ち星を重ね、9勝4敗1引き分けの勝ち点4で全日程を終了しました。

また、男子バレーボール部は、2009年9月19日より10月25日まで開催された東海男子1部リーグにおいて、2004年以来の10季ぶり15回目の優勝を果たしました。

バレーボール東海男子1部リーグは、愛知、岐阜、三重、静岡、滋賀の45校ほどの加盟校で1部から6部で構成され、本学は所属する1部リーグにおいて、1敗で並んだ中京大学を下し、9勝1敗で見事優勝を決めました。

## 2010年度 大学暦

(2010年4月1日～2011年3月31日)

学 部	短期大学部	大学院	専門職大学院
-----	-------	-----	--------

入学式	4月4日(日)		
オリエンテーション	4月1日(木)～4月6日(火)		
通常授業開始	4月7日(水)		
通常授業終了	7月21日(水)	7月27日(火)	
夏季オープンキャンパス	豊橋校舎：7月11日(日) 車道校舎：7月31日(土)、8月1日(日)		
学期末試験	7月22日(木)～30日(金)		8月2日(月)～8月12日(木)
夏期休暇	7月31日(土)～9月11日(土)	7月30日(金) 9月11日(土)	
春学期成績発表	9月6日(月)	9月3日(金)	
通常授業開始	9月13日(月)		9月27日(月)
秋季オープンキャンパス	豊橋校舎：9月25日(土) 車道校舎：10月17日(日)		
創立記念日	11月15日(月)		
通常授業終了	1月18日(火)	1月25日(火)	1月31日(月)
冬期休暇	12月26日(日)～1月5日(水)		
学期末試験	1月19日(水) 1月27日(木)		2月7日(月) 2月17日(木)
慰霊の日	2月3日(木)		
卒業式	名古屋・車道校舎：3月22日(火) 豊橋校舎：3月24日(木)		

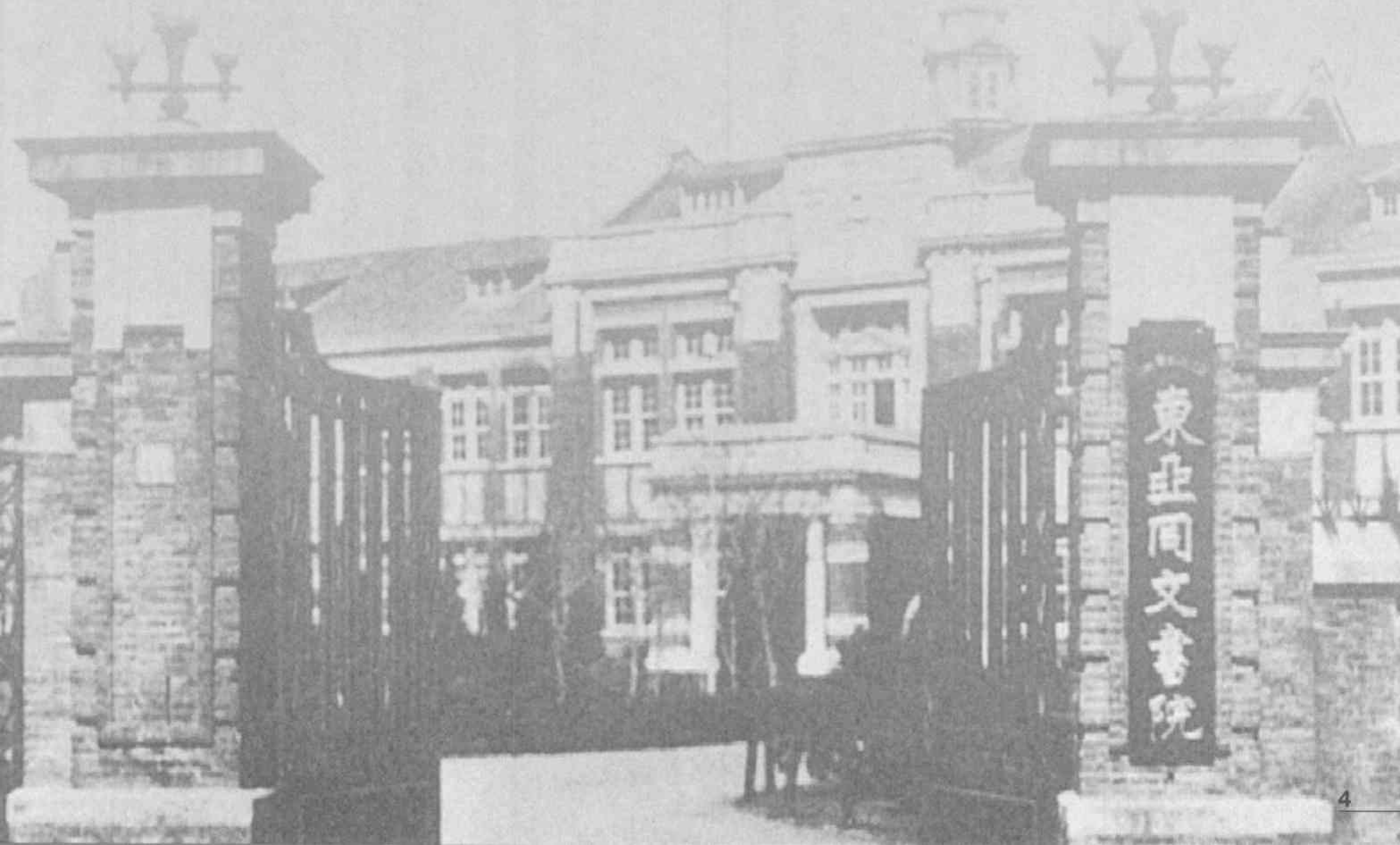
<b>沿 革</b>	設立趣意書 ..... 5 沿革 ..... 7 施設 ..... 9
<b>運 営</b>	歴代学長 ..... 11 大学の構成 ..... 12 大学の教育・研究及び事務機構 ..... 13 法人関係役員 ..... 15 資産状況 ..... 17 資金収入と帰属収入の推移 ..... 18 学費 ..... 19
<b>教 学</b>	学部・学科及び授業科目 ..... 21 大学院研究科及び授業科目 ..... 29 特別課程 ..... 32 専任教員主要担当科目 ..... 33
<b>学生生活</b>	学生サークル活動 ..... 43 卒業生進路状況 ..... 45 奨学状況 ..... 47
<b>附属機関</b>	大学研究所の研究分野 ..... 49 大学諸機関発行機関誌等 ..... 53 図書館 ..... 55 情報メディアセンター ..... 57
<b>資 料</b>	学部・学科別学生定員と学生数 ..... 59 海外提携校・機関一覧 ..... 61 外国人留学生数 ..... 62 卒業生数一覧表 ..... 63 学部等別教員数・校舎別事務職員数 ..... 69 土地・建物面積 ..... 70 豊橋校舎建物配置図 ..... 71 名古屋校舎建物配置図 ..... 72 車道校舎建物配置図 ..... 73

# 沿革

設立趣意書…5P

沿革…7P

施設…9P



國ニ於テ學問文化ノ興隆ヲ計ランガ爲メニハ其大都市ヘノ偏重集積ヲ排シ地方分散コソ望マントノ趣旨ヲ活カサントスル含蓄ニ外ナラナイ、周知ノ如ク名古屋市中心トスル中部日本ニハ未ダ法文科系ノ大學ヲ見ザルトコロ、此地方ニハ斯ル文化機關ノ設置ヲ要望スルコト切ナルモノガアル、愛知大學ハ此要望ニ應ヘ學問ノ研究ヲ旺ニスルト共ニ周圍ヘノ文化的影響ヲ意義アラシメントスルモノデアル。

第二、世界文化ト平和ニ寄與スベキ新日本ノ建設ニ適スル人材ハ國際的教養ト視野ヲ持ツコト最モ必要ナル資格ノ一ト思惟セラル、事情ニ鑑ミ、本大學トシテハ一般の學問ノ基礎ノ上ニ各國政治經濟文化ノ研究ニ重點ヲ置ク科目ヲ設ケ之ヲ必須科目トシ謂ハバ國際文化大學ノ如キ性格ヲ其一特徴タラシメントスル意圖ヲ有スルモノデアル、斯ノ如キ大學ハ我國ノ未ダ有セザルトコロ本學ハ此點ニ新機軸ヲ創始セントスルモノデアル。更ニ

第三、二本大學ハ第一年度ニ於テ予科全學級ヲ第二年度ニ於テ學部全學年ヲ一時ニ開設シ以テ中部日本出身學徒(男女)ノ遠隔ノ地ニ學ブ者ニシテ時局下就學不便ノ爲メ轉學セントスル者ノ要望ニ應スルト共ニ外地ノ大學専門學校ニ在籍スル學徒ノ轉入學ノ困難ヲモ緩和セントスルモノデアル。外地引揚學徒ハ現下轉入學困難ナル事情ノ下ニ苦惱シツ、アルノミナラズ比較的ニ國際的智識慾旺盛ナルヲ以テ之レヲ本學ニ收容シ思想的學問的ニ再教育スルコトハ又本學ノ性格ニ相應ハシキ一任務ト思料セラル、モノデアル。

以上ノ諸見地ヨリ我等ハ微力ヲモ顧ミズ茲ニ愛知大學設立ノ舉ニ出テントス、我等ノ眞意ガ各方向ニ於テ正シク理解セラレ、此企圖ニ對シテ支援ト鞭撻トノ與ヘラレンコトヲ念願シテ止マナイ次第デアル。

## 愛知大學設立趣意書（一九四六年十二月十五日創立）

我日本ハ長期ニ亘ル今次戦争ニ依テ物質的精神の二荒廢セシメラレ、殊ニ其結果ハ慘憺タル敗戦ヲ招キ、正ニ壊滅ノ危機ニ立ツト云フモ過言デハナイ。

今斯ル壊滅ヲ免レントスルナラバ、事ヲシテ茲ニ到ラシメタル舊キ日本ノ誤レル指導ト積弊トヲ一掃シ、新シキ日本トシテ更生スルノ道ヲ擇ブ外ナイノデアアル。

寔ニ新日本ノ進ムベキ方向ハ舊來ノ軍國主義的、侵略主義的等ノ諸傾向ヲ一擲シ、社會的存在ノ全範域ニ亘ツテ民主主義ヲ實現シ自ララ文化、道義、平和ノ新國家トシテ再建スルコトニ依リ世界ノ一員トシテ、世界文化ト平和ニ貢獻シ得ル如キモノタラントスルコトデナケレバナラナイ。

斯ノ如キ我日本ノ新シキ出發ニ際シテ、當面解決ヲ要スル諸種ノ問題山積スルト雖モ就中學問、思想、文化ヲ旺ニ興シ、教養アル有爲ノ人材ヲ養成スルコトハ、其ノ急務ニシテ最モ基礎的ナルモノ、一ト言フベキデアラウ。我等相謀ツテ茲ニ愛知大學ヲ設立セントスル所以ハ、實ニ斯ル客觀的要請ニ呼應スルモノニシテ、一言ヲ以テ之ヲ謂ハハ世界平和ニ寄與スベキ日本文ノ興隆ト有爲ナル人材ノ養成ト云フ點ニ盡キルノデアアル。併シナガラコノ時ニ當リ、豫定スル如キ地方ニ於テ本大學ヲ開設セントスルニ就テハ自ラ特殊ノ意義ト使命モ亦無シトシナイ、即チ

第一、二本大學ノ所在地ハ之ヲ中部日本ノ一地方都市（愛知縣豊橋市）ニ置クノデアアルガ、其ノ理由ハ現今我

# 沿革

年	設置・認可等
1946	<p><b>【設置・認可】</b> 11月15日 旧大学令により愛知大学を創立</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 豊橋市の南部旧豊橋陸軍予備士官学校跡に元東亜同文書院大学、元京城帝国大学、元台北帝国大学等の教授を中心スタッフとして創立</p>
1947	<p><b>【設置・認可】</b> 1月 予科開設 4月 法経学部開設 法経学部…法政科・経済科</p>
1949	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 学制改革により新制大学に移行 法経学部…法学科・経済学科 文学部…社会学科</p>
1950	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部に文学科を設置 文学科(国文学、中国文学、英文学、独文学、一般文学) 4月 短期大学部を設置 法経科第2部(豊橋・名古屋) 文科第2部(豊橋)</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 4月 法経科第2部の名古屋校舎は、東区赤萩町東邦学園高等学校の1棟6教室を借用して開講</p>
1951	<p><b>【設置・認可】</b> 3月 私立学校法の施行に伴い、学校法人愛知大学に組織変更</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 5月 名古屋市東区往還町の元中京女子短期大学の校地及び校舎を購入し、現在の名古屋校舎(車道)の基礎を築く</p>
1953	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部文学科の一般文学研究を仏文学専攻に改組 4月 大学院(修士課程)設置 法学研究科 公法学専攻 経済学研究科 経済学専攻</p>
1955	<p><b>【主な事業展開】</b> 4月 学部の教養課程を開講 名古屋校舎(車道)1号館(鉄筋3階建)建築</p>
1956	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部に史学科を設置 4月 文学部文学専攻科国文学専攻を設置 4月 法経学部第2部設置(名古屋) 法経学部第2部…法学科、経済学科 名古屋校舎(車道)における短期大学部法経科第2部を廃止</p>
1957	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 大学院に法学研究科私法学専攻修士課程を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 6月 名古屋市緑区大高町に土地購入(71,618㎡)</p>
1958	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部に哲学科を設置</p>
1959	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 短期大学部文科(女子)設置 豊橋校舎における短期大学部文科第2部を廃止</p>
1961	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 短期大学部に生活科(女子)を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 4月 短大1号館(鉄筋2階建)を建築 10月 名古屋校舎(車道)2号館(鉄筋4階建)を建築 法経学部専門課程を開講</p>

年	設置・認可等
1963	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 法経学部経営学科増設及び経済学科を定員増 4月 大学院に法学研究科私法学専攻博士後期課程を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 3月 豊橋校舎4号館(鉄筋2階建)を建築 10月 豊橋本部敷地の払下げ受ける(157,590㎡)</p>
1964	<p><b>【主な事業展開】</b> 8月 豊橋校舎3号館(鉄筋2階建)を建築</p>
1965	<p><b>【主な事業展開】</b> 8月 名古屋校舎(車道)3号館(鉄筋4階建・地下1階)を建築</p>
1966	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 法経学部第2部法学科及び経済学科を定員増</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 10月 豊橋本部敷地内に研究館(鉄筋4階建)及び図書館(同2階建)を建築</p>
1969	<p><b>【主な事業展開】</b> 8月 名古屋校舎(車道)学生会館(鉄筋4階建)を建築</p>
1971	<p><b>【主な事業展開】</b> 11月 豊橋校舎学生会館(鉄筋4階建)を建築</p>
1973	<p><b>【主な事業展開】</b> 12月 豊橋校舎1号館・2号館(鉄筋4階建)を建築</p>
1974	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 短期大学部文科(女子)を定員増</p>
1975	<p><b>【主な事業展開】</b> 5月 名古屋校舎(車道)図書館名古屋分館(鉄筋3階建)を建築</p>
1976	<p><b>【主な事業展開】</b> 3月 豊橋校舎図書館第1書庫(鉄筋6階建)及び短大3号館(鉄筋4階建)を建築</p>
1977	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 大学院に経営学研究科経営学専攻修士課程を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 2月 豊橋校舎研究館を増築</p>
1978	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 大学院に経済学研究科経済学専攻博士後期課程を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 11月 豊橋校舎に創立30周年記念会館(鉄筋3階建)を建築</p>
1979	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 大学院に経営学研究科経営学専攻博士後期課程を設置 短期大学部文科、生活科を定員増 6月 短期大学部法経科第2部を廃止</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 6月 西加茂郡三好町に約20万㎡の校地を確保</p>
1981	<p><b>【主な事業展開】</b> 6月 名古屋(三好)校地造成着工</p>
1983	<p><b>【主な事業展開】</b> 4月 名古屋(三好)校地運動場施設竣工 8月 豊橋校舎に第2サークル棟(鉄筋5階建)及び合宿所(鉄筋2階建)を建築 12月 豊橋校舎体育館(鉄筋陸屋根2階建)を建築</p>
1987	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 法経学部第1部、文学部で期間を付した定員増(420名)</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 2月 名古屋校舎(三好)建築着工</p>
1988	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 短期大学部別科設置 留学生別科 別科英語専修 別科生活環境専修</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 2月 名古屋校舎新キャンパス(三好)竣工 4月 名古屋校舎新キャンパス開校 車道校舎法経学部第1部全学生新キャンパスに一括移転</p>



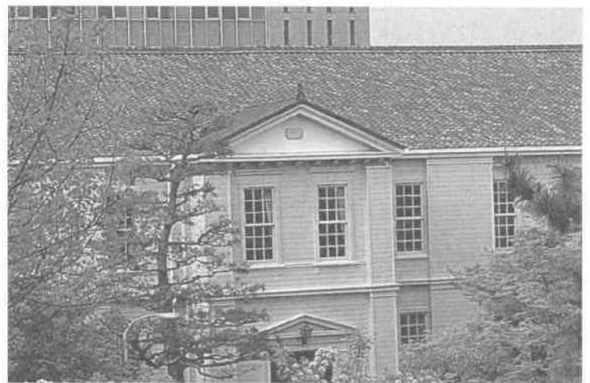
年	設置・認可等
1989	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 法経学部を改組し、5学部を設置 経済学部1部(豊橋校舎) 経済学部2部(豊橋校舎) 法学部1部(名古屋校舎) 法学部2部(車道校舎) 経営学部(名古屋校舎)</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 8月 名古屋校舎厚生会館増築</p>
1990	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 短期大学部文科、生活科で期間を付した定員増(100名)</p>
1991	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 大学院に中国研究科中国研究専攻修士課程、 文学研究科日本文化専攻・地域社会システム専攻・ 欧米文化専攻修士課程を設置 4月 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部で 期間を付した定員増(270名)</p>
1992	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部文学専攻科国文学専攻を廃止</p>
1993	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部で 期間付定員の延長(420名) 大学院に文学研究科 地域社会システム専攻博士後期課程を設置</p>
1994	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 大学院に中国研究科中国研究専攻及び文学研究科 日本文化専攻・欧米文化専攻博士後期課程を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 4月 第1次基本構想策定</p>
1995	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部で 編入学定員設定に伴う収容定員増(260名)</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 2月 豊橋校舎に梢風館(鉄筋3階建)を建築 3月 名古屋校舎(三好)に朋友館(鉄筋5階建)を建築 7月 日本沙漠緑化実践協会主催植林活動に「緑の協力隊」第1次隊派遣 12月 長野県立科町に白樺高原ロッジ(鉄筋2階建)を建築</p>
1996	<p><b>【主な事業展開】</b> 11月 豊橋校舎に本館(鉄筋5階建)を建築</p>
1997	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 現代中国学部を設置 4月 現代中国学部への定員振替により法学部1部(20名)、 経営学部(30名)及び短期大学部(文科、生活科各5名)に おいて入学定員減 4月 短期大学部別科英語専修及び生活環境専修を廃止 12月 法経学部第1部、法経学部第2部廃止</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 3月 名古屋校舎に東教室棟(現代中国学部棟…鉄筋5階建) 及び青翔館(鉄筋4階建)を建築 12月 豊橋校舎に学生会館(鉄筋3階建)及び厚生会館 (逍遙館…鉄筋2階建)を建築</p>
1998	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 教養部廃止 4月 国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科、 比較文化学科(昼夜開講制)を設置 4月 国際コミュニケーション学部への定員振替により文学部 (哲学科3名、社会学科4名、史学科4名、文学科9名)、 法学部1部(10名)、経営学部(10名)及び短期大学部 (文科20名、生活科30名)において入学定員減</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 3月 豊橋校舎に5号館(国際コミュニケーション学部棟…鉄筋5階建) 及び6号館(教室棟…鉄筋5階建)を建築 名古屋校舎に名古屋図書館及び研究館増築 8月 南開大学(中国上海)内に南開愛大会館を建築</p>

年	設置・認可等
1999	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 文学部文学科を改組し、日本・中国文学科及び 欧米文学科を設置 4月 短期大学部文科、生活科で期間を付した 定員増(100名)の期間延長(1999年度1年間)</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 3月 豊橋校舎図書館増改築</p>
2000	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 平成12年度から16年度までの期間付入学定員を設定 (文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部の臨定延長) 4月 平成12年度から16年度までの期間付入学定員を設定 (短期大学部の臨定延長)及び期間付定員の恒定化に もとづく短期大学部の入学定員減(10名) 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の入学定員増(10名) 4月 短期大学部文科を言語文化学科、 生活科を現代生活学科にそれぞれ名称変更</p>
2001	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の入学定員増(10名) 4月 期間付定員の恒定化にもとづく短期大学部の 入学定員減(10名)及び短期大学部の平成13年度から 16年度までの期間付入学定員を設定(臨定延長変更) 4月 大学院法学研究科公法学専攻に博士課程(後期)を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 5月 第2次基本構想策定</p>
2002	<p><b>【設置・認可】</b> 3月 短期大学部留学生別科を廃止 4月 愛知大学に外国人留学生別科を設置 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の入学定員増(10名) 4月 期間付定員の恒定化にもとづく短期大学部の 入学定員減(10名)及び短期大学部の平成14年度から 16年度までの期間付入学定員を設定(臨定延長変更) 4月 大学院国際コミュニケーション研究科修士課程を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 10月 文科省「21世紀COEプログラム」(国際中国学研究センター) 採択 国際中国学研究センター(ICCS)を設置。</p>
2003	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 期間付定員の恒定化にもとづく文学部の 入学定員変更(10名)および編入学定員減 4月 期間付定員の恒定化にもとづく短期大学部の 平成15年度から16年度までの期間付入学定員を 改定(臨定延長変更) 4月 短期大学部の教職課程廃止</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 9月 文科省「特色ある大学教育支援プログラム」(現代中国学部)採択</p>
2004	<p><b>【設置・認可】</b> 4月 大学院 法務研究科(法科大学院)を設置 4月 大学院 中国研究科博士後期課程の入学定員変更(15名) 4月 大学院 法学研究科修士課程公法学専攻及び私法学専攻 の学生募集停止 4月 経済学部1部を経済学部、法学部1部を法学部にそれぞれ 名称変更 4月 経済学部2部経済学科、法学部2部法学科、 国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースの 学生募集停止及び同収容定員の昼間学部への振替 4月 期間付定員の廃止にもとづく文学部、経済学部、法学部、 経営学部の入学定員減 4月 期間付定員の廃止にもとづく短期大学部の入学定員減(50名)</p> <p><b>【主な事業展開】</b> 4月 法学部法学科3年次以上生を車道校舎に移転 4月 大学院 中国研究科を名古屋校舎へ移転 4月 車道校舎新キャンパス竣工 4月 南開大学、中国人民大学との調印(国際中国学研究センター 分拠点設置、中国研究科博士後期課程デュアルディグリー プログラム) 8月 緑の協力隊「ボプラの森」再開 第1次隊派遣</p>

沿革・施設

年	設置・認可等
2005	<p><b>【設置・認可】</b>                      3月 法学研究科 修士課程 公法学専攻、私法学専攻を廃止                      4月 文学部 哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科、欧米文学科を改組し、人文社会学科を設置                      4月 経営学部 会計ファイナンス学科を設置                      4月 短期大学部 言語文化学科、現代生活学科を改組し、ライフデザイン総合学科を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b>                      4月 文科省「私立大学学術研究高度化推進事業」(社会連携研究推進事業)に、三遠南信地域連携センター研究プロジェクトが採択                      豊橋市と連携・協力協定締結                      4月 豊橋技術科学大学と連携・協力協定締結                      7月 豊橋市と連携・協力協定締結</p>
2006	<p><b>【設置・認可】</b>                      3月 外国人留学生別科を廃止                      3月 文学部 文学科を廃止                      4月 大学院 会計研究科(会計大学院)を設置                      4月 愛知大学孔子学院を設置</p> <p><b>【主な事業展開】</b>                      4月 文科省「私立大学学術研究高度化推進事業」(オープン・リサーチ・センター整備事業)に、東亜同文書院大学記念センター研究プロジェクトが採択</p>
2007	<p><b>【設置・認可】</b>                      3月 短期大学部 言語文化学科、現代生活学科を廃止                      4月 各学部の編入学定員を全て入学定員に振替えたことにより、各学部の収容定員を変更</p> <p><b>【主な事業展開】</b>                      3月 学校法人桜丘学園と相互提携協定を締結                      6月 東栄町と連携・協力協定締結                      7月 文科省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代中国学部)採択                      7月 新城市と連携・協力協定締結                      8月 文科省「専門職大学院等教育推進プログラム」(法科大学院)採択                      8月 緑の協力隊「ポプラの森」植林10,000本達成                      10月 南信州広域連合と連携・協力協定締結</p>
2008	<p><b>【主な事業展開】</b>                      3月 東邦高等学校と相互提携協定を締結                      3月 愛知大学が(財)大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、適合と認定(2015年3月31日まで)                      10月 名古屋国際センター(NIC)と連携・協力に関する覚書締結</p>
2009	<p><b>【主な事業展開】</b>                      7月 文科省「大学教育・学生支援推進事業(テーマB)学生支援推進プログラム」に愛知大学および愛知大学短期大学部が採択</p>
2010	<p><b>【主な事業展開】</b>                      3月 第3次基本構想策定</p>

豊橋校舎



名古屋校舎



車道校舎



東京事務所



# 運営

歴代学長… 11P  
大学の構成… 12P  
大学の教育・研究及び事務機構… 13P  
法人関係役員… 15P  
資産状況… 17P  
資金収入と帰属収入の推移… 18P  
学費… 19P



## 歴代学長

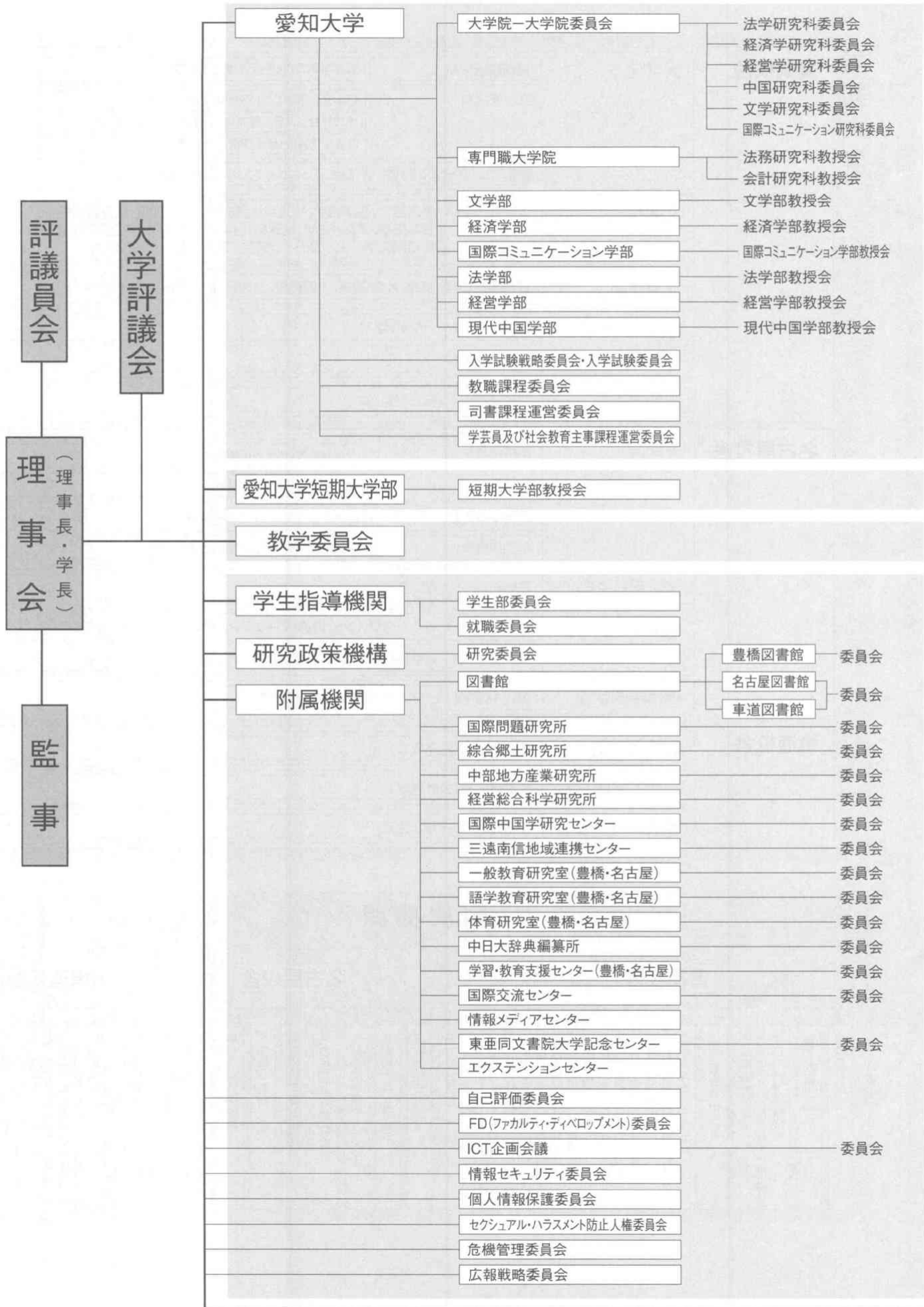
		(就任)	(退任)
初代学長	林 毅陸	1946年11月	1950年6月
二代学長	本間 喜一	1950年6月	1955年11月
三代学長	小岩井 浄	1955年11月	1959年2月
四代学長	本間 喜一	1959年4月	1963年4月
五代学長	脇坂 雄治	1963年4月	1967年3月
六代学長	玉城 肇	1967年4月	1969年5月
七代学長	山田 文雄	1969年6月	1970年5月
八代学長	細迫 朝夫	1970年5月	1972年2月
九代学長	久曾神 昇	1972年5月	1984年3月
十代学長	浜田 稔	1984年4月	1987年9月
十一代学長	石井 吉也	1987年9月	1988年3月
十二代学長	牧野 由朗	1988年4月	1992年3月
十三代学長	石井 吉也	1992年4月	1999年11月
十四代学長	武田 信照	1999年11月	2007年11月
十五代学長	堀 彰三	2007年11月	2008年5月
現学長	佐藤 元彦	2008年8月	

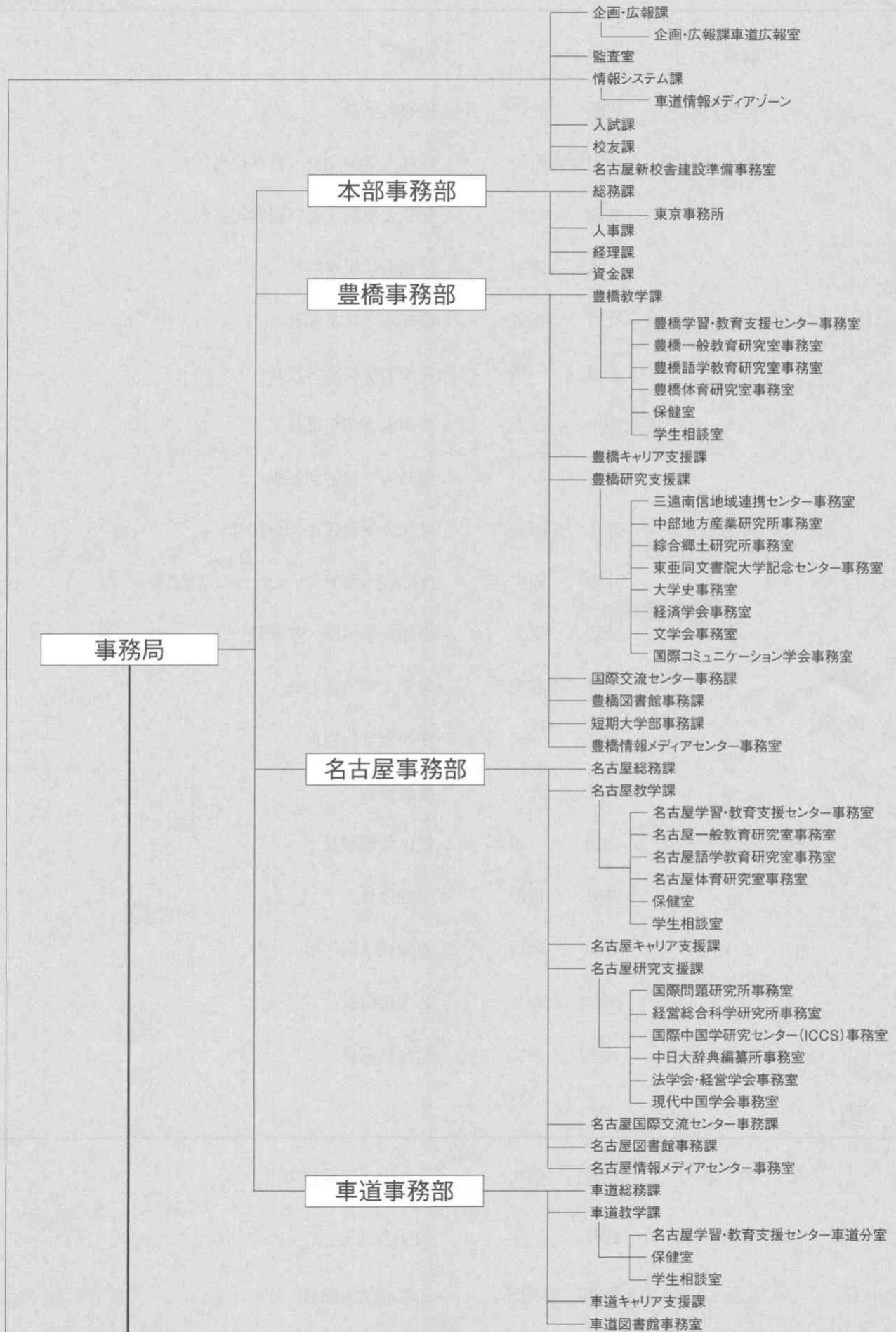
豊橋校舎	大学院	経済学研究科	経済学専攻(修士課程・博士後期課程)
		文学研究科	日本文化専攻(修士課程・博士後期課程)
			地域社会システム専攻(修士課程・博士後期課程)
			欧米文化専攻(修士課程・博士後期課程)
	国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻(修士課程)	
	文学部	人文社会学科(東洋哲学、西洋哲学、社会学、行動社会学、心理学、図書館情報学、日本史学、アジア史学、地理学、日本語日本文学、中国語中国文学、英語圏文学、ドイツ語ドイツ文学、フランス語フランス文学)	
経済学部	経済学科(理論・情報、社会・政策、人間環境、地域研究、国際研究、中国アジア経済)		
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科		
	比較文化学科		
短期大学部	ライフデザイン総合学科(女子)		
名古屋校舎	大学院	法学研究科	公法学専攻(博士後期課程) 私法学専攻(博士後期課程)
		経営学研究科	経営学専攻(修士課程・博士後期課程)
		中国研究科	中国研究専攻(修士課程・博士後期課程)
	法学部(1・2年次)	法学科(司法、行政、企業)	
	経営学部	経営学科(ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネス)	
		会計ファイナンス学科(アカウンティング、ファイナンス)	
現代中国学部	現代中国学科(ビジネス、言語文化、国際関係)		
車道校舎	法科大学院	法務研究科(法務専攻)	
	会計大学院	会計研究科(会計専攻)	
	法学部(3・4年次)	法学科(司法、行政、企業)	

## 附属機関



# 大学の教育・研究及び事務機構





理事会

(2010年 4月1日現在)

職名	氏名	現職
理事長	佐藤 元彦	愛知大学長
理事 (常務理事)	功刀 由紀子	愛知大学副学長 (教学担当)
〃	名和 聖高	愛知大学副学長 (経営担当)
〃	八木 隆明	愛知大学事務局長
理事	交野 正芳	愛知大学文学部長
〃	栗原 裕	愛知大学経済学部長
〃	田中 正人	愛知大学法学部長
〃	川井 伸一	愛知大学経営学部長
〃	砂山 幸雄	愛知大学現代中国学部長
〃	鈴木 規夫	愛知大学国際コミュニケーション学部長
〃	武藤 明弘	愛知大学短期大学部長
〃	安井 善宏	愛知大学同窓会長
〃	甲斐 一政	愛知大学同窓生
〃	佐原 光一	豊橋市長
〃	山田 正	霞山会理事長
〃	神野 信郎	会社役員
〃	稲垣 隆司	前愛知県副知事
〃	河村 たかし	名古屋市長
〃	鈴木 重文	元会社役員

監事

監事	酒井 強次	愛知大学常勤監事
〃	松井 昭	公認会計士
〃	岸本 恵次郎	元学校法人職員



# 評議員会

(2010年 4月1日現在) (順不同)

佐藤 元彦	愛知大学長	鈴木 結子	後援会役員
功刀由紀子	愛知大学副学長(教学担当)	安井 善宏	会社役員
名和 聖高	愛知大学副学長(経営担当)	甲斐 一政	元会社役員
八木 隆明	愛知大学事務局長	佐原 光一	豊橋市長
交野 正芳	愛知大学文学部長	神野 信郎	会社役員
栗原 裕	愛知大学経済学部長	山田 正	(財)霞山会理事長
田中 正人	愛知大学法学部長	稲垣 隆司	前愛知県副知事
川井 伸一	愛知大学経営学部長	河村たかし	名古屋市長
砂山 幸雄	愛知大学現代中国学部長	鈴木 重文	元会社役員
鈴木 規夫	愛知大学国際コミュニケーション学部長	宮入 興一	大学教員
武藤 明弘	愛知大学短期大学部長	浅野 俊夫	大学教員
鈴木 修	愛知大学本部事務部長	矢田 博士	大学教員
熊谷 正人	大学事務職員	宇佐美一博	大学教員
堀 真人	大学事務職員	山田 邦明	大学教員
水谷 財基	大学事務職員	新井野洋一	大学教員
藤本 茂	同窓会役員	竹内 晴夫	大学教員
加藤 満憲	同窓会役員	長峯 信彦	大学教員
八塚 哲子	同窓会役員	広瀬 裕樹	大学教員
銭谷 欣吾	同窓会役員	田川 光照	大学教員
高井 和伸	同窓会役員	富増 和彦	大学教員
岩間 毅	同窓会役員	安部 悟	大学教員
浅井 英行	同窓会役員	河辺 一郎	大学教員
荒木 仁子	同窓会役員	河野 眞	大学教員
勝 昭雄	同窓会役員	塚本 倫久	大学教員
八木 好郎	同窓会役員	須田 淳一	大学教員
大島 俊明	後援会役員		
池本 和実	後援会役員		

運営  
法人関係役員

# 大学評議会

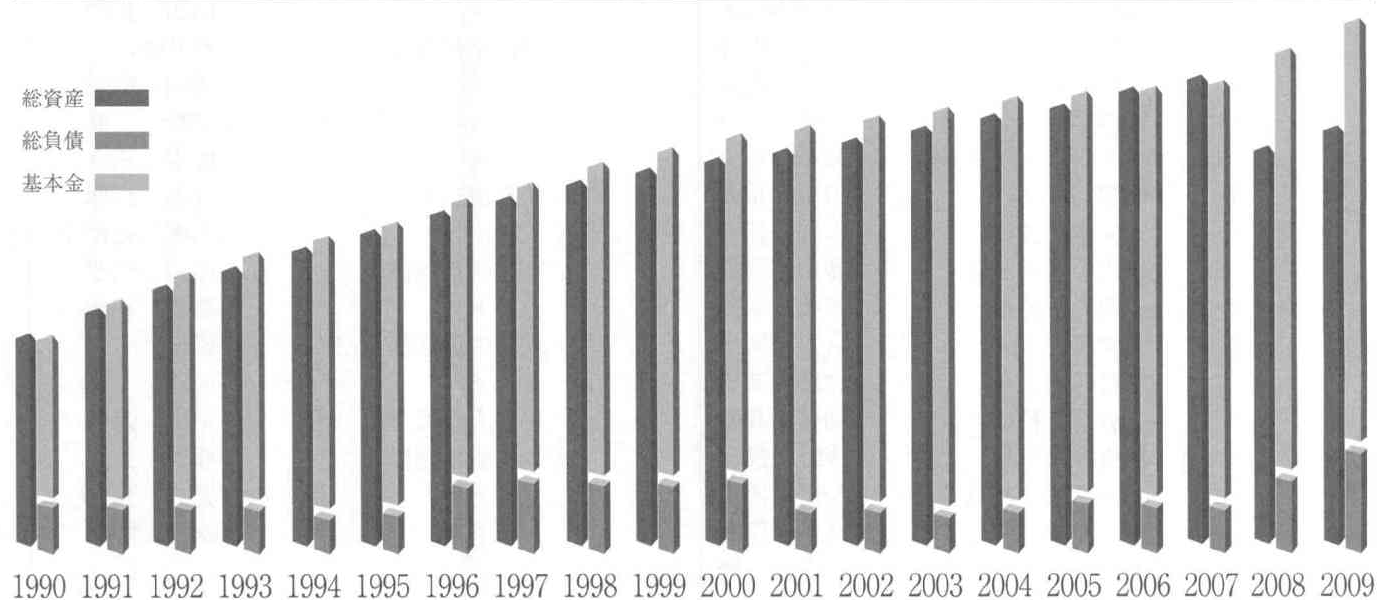
(順不同)

学長	佐藤 元彦	文学部選出	宇佐美一博
副学長(教学担当)	功刀由紀子	〃	山田 邦明
〃(経営担当)	名和 聖高	経済学部選出	新井野洋一
文学部長	交野 正芳	〃	竹内 晴夫
経済学部長	栗原 裕	国際コミュニケーション学部選出	河野 眞
国際コミュニケーション学部長	鈴木 規夫	〃	塚本 倫久
法学部長	田中 正人	法学部選出	長峯 信彦
経営学部長	川井 伸一	〃	広瀬 裕樹
現代中国学部長	砂山 幸雄	経営学部選出	田川 光照
短期大学部長	武藤 明弘	〃	富増 和彦
大学院長	宮入 興一	現代中国学部選出	安部 悟
法務研究科長	大林 文敏	〃	河辺 一郎
会計研究科長	加藤 義幸	短期大学部選出	須田 淳一
豊橋教学部長	浅野 俊夫	事務職員選出	熊谷 正人
名古屋教学部長	矢田 博士	〃	堀 真人
事務局長	八木 隆明	〃	水谷 財基
本部事務部長	鈴木 修		

# 資産状況

(単位：円)

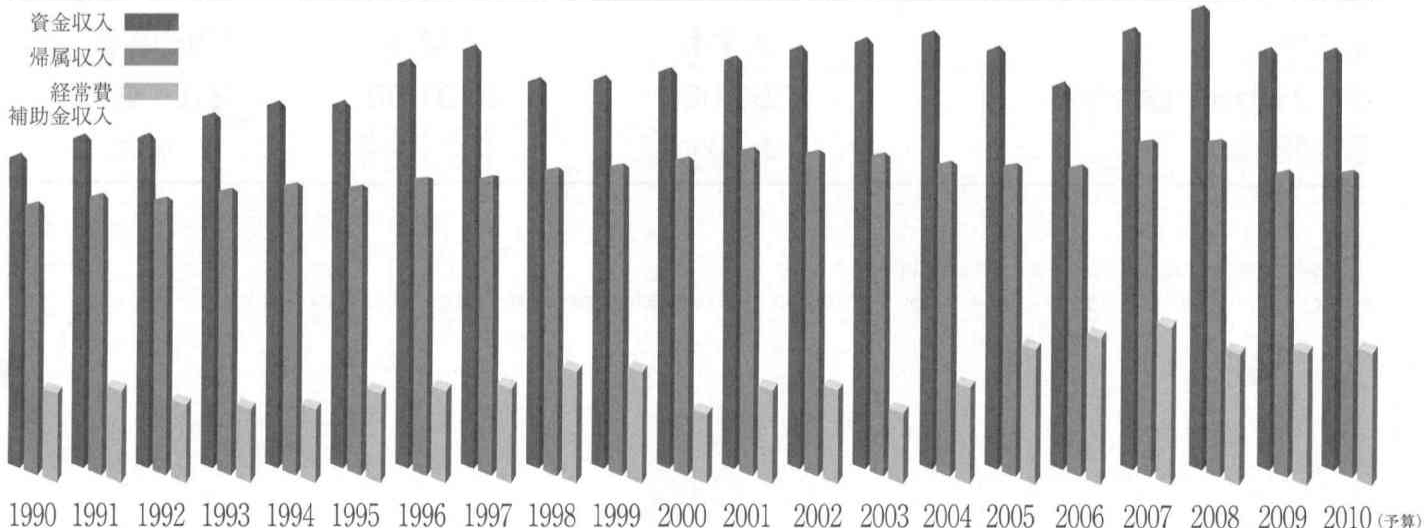
年度	総資産	総負債	基本金	消費収支差額
1990	24,663,790,360	5,006,835,946	18,768,181,806	888,772,608
1991	26,785,355,749	4,904,876,541	20,421,010,135	1,459,469,073
1992	28,886,835,579	4,928,508,562	22,033,363,807	1,924,963,210
1993	31,084,255,384	4,997,178,204	24,301,808,891	1,785,268,289
1994	32,955,482,811	4,577,301,547	26,303,525,207	2,074,656,057
1995	34,896,300,660	4,789,626,288	27,633,241,593	2,473,432,779
1996	37,217,102,371	5,547,073,846	29,275,716,376	2,394,312,149
1997	39,237,430,536	6,213,029,463	33,453,752,511	△ 429,351,438
1998	40,500,002,487	6,199,110,263	35,572,341,903	△ 1,271,449,679
1999	42,102,411,070	6,154,888,383	36,284,675,317	△ 337,152,630
2000	43,983,889,293	6,242,380,385	37,198,811,100	542,697,808
2001	45,568,608,580	5,778,088,623	38,170,406,419	1,620,113,538
2002	47,559,447,298	5,685,441,783	39,483,651,959	2,390,353,556
2003	49,201,387,673	5,599,970,327	40,784,897,082	2,816,520,264
2004	49,907,083,038	5,716,655,665	42,085,610,032	2,104,817,341
2005	51,435,320,000	5,875,180,926	42,624,368,726	2,935,770,348
2006	52,837,516,030	5,851,926,986	43,248,291,702	3,737,297,342
2007	54,571,504,676	5,810,909,605	45,014,280,782	3,746,314,289
2008	45,004,582,053	6,731,677,521	47,146,698,316	△ 8,873,793,784
2009	49,441,163,355	9,907,784,022	47,322,768,914	△ 7,789,389,581



# 資金収入と帰属収入の推移

(単位：円)

年度	資金収入	帰属収入	経常費補助金収入
1990	10,591,837,778	8,092,075,775	820,854,000
1991	11,290,616,686	9,022,120,093	837,878,000
1992	11,495,373,425	8,904,470,401	793,319,000
1993	12,219,999,904	9,309,528,194	756,153,000
1994	13,452,106,789	9,838,953,511	742,782,000
1995	13,463,187,018	9,781,625,182	873,011,000
1996	18,052,790,486	10,477,946,269	876,891,000
1997	19,410,603,408	10,584,008,675	856,894,000
1998	16,425,119,406	11,387,249,604	943,642,000
1999	16,499,923,987	11,639,222,997	925,955,000
2000	17,756,204,330	11,945,365,352	716,706,000
2001	18,271,200,212	12,654,526,571	848,625,000
2002	19,164,868,785	12,284,799,888	839,890,000
2003	20,249,345,117	12,223,754,221	764,802,000
2004	21,029,274,315	11,799,896,733	862,976,000
2005	19,493,887,245	11,630,377,186	1,070,897,000
2006	18,590,273,131	11,629,344,322	1,082,124,000
2007	21,904,204,047	12,437,317,502	1,114,622,000
2008	27,366,466,067	12,037,103,527	965,717,000
2009	19,407,366,452	11,539,269,399	973,039,000
2010 (予算)	18,902,366,000	11,059,152,000	980,000,000



運営  
資金収入と帰属収入の推移

## 愛知大学

学部等	入学金	授業料	教育充実費 (単位:円)
文学部	250,000	640,000	200,000
経済学部	250,000	640,000	200,000
国際コミュニケーション学部	270,000	710,000	200,000
法学部	250,000	640,000	250,000
経営学部	250,000	640,000	200,000
現代中国学部	270,000	710,000	200,000
大学院	250,000	550,000	170,000
法科大学院	250,000	1,000,000	300,000
会計大学院	250,000	1,000,000	300,000

備考

- 入学金は入学時にのみ、授業料及び教育充実費は毎年納入する。
- 文学部人文社会学科心理学専攻は、前項の学費のほか2年次より毎年実験実習費60,000円を納入する。
- 文学部人文社会学科の次の専攻は、第1項の学費のほか2年次に、次の調査実習費を納入する。  

社会学及び行動社会学専攻	20,000円
日本史学及びアジア史学専攻	3,000円
地理学専攻	10,000円
- 現代中国学部は、第1項の学費のほか2年次に次の実習費を納入をする。ただし、中国語を母語とする外国人留学生は、この限りでない。  

現代中国学部 実習費	250,000円
------------	----------

## 愛知大学短期大学部

学科等	入学金	授業料	教育充実費 (単位:円)
ライフデザイン総合学科 (長期履修コース)	250,000 (250,000)	640,000 (1・2年次/430,000 3年次/420,000)	210,000 (210,000)

備考

- 入学金は入学時にのみ、授業料及び教育充実費は毎年納入する。
- ライフデザイン総合学科の長期履修コースの授業料については、2年コースで入学した場合の2年間の授業料の総額を3年間で納入するものとする。

# 教学

学部・学科及び授業科目…21P  
大学院研究科及び授業科目…29P  
特別課程…32P  
専任教員主要担当科目…33P

文学部

文学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 62単位  
 共通教育科目 44単位/フリーゾーン 18単位

文学部共通カリキュラム

専攻共通科目	ヨーロッパ文明史I-II、芸術史(東洋)、視覚教育、生涯学習概論I-II、社会教育計画I-II、博物館概論、社会政策、地域経済論I-II、地域政策論、地方財政学、芸術史(西洋)、映像文化論、西欧近代社会思想史、現代社会思想史、行政法、民法1部、民法2部、商法、経済法、労働法
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語/ReadingI~III, Communicative EnglishI-II, Practical English, Advanced EnglishI-II, Current EnglishI-II, Communication SkillsI~IV</li> <li>●中国語/入門中国語I-II, 基礎中国語I-II, 応用中国語I-II, 総合中国語I-II, 中国語会話(初級)I-II, 中国語会話(中級)I-II, コミュニケーション中国語I-IIA, コミュニケーション中国語I-IIB</li> <li>●フランス語/入門フランス語I-II, 基礎フランス語I-II, 応用フランス語I-II, 総合フランス語I-II, フランス語会話(初級)I-II, フランス語会話(中級)I-II, コミュニケーションフランス語I-IIA, コミュニケーションフランス語I-IIB</li> <li>●ドイツ語/入門ドイツ語I-II, 基礎ドイツ語I-II, 応用ドイツ語I-II, 総合ドイツ語I-II, ドイツ語会話(初級)I-II, ドイツ語会話(中級)I-II, コミュニケーションドイツ語I-IIA, コミュニケーションドイツ語I-IIB</li> <li>●ロシア語/入門ロシア語I-II, 基礎ロシア語I-II, 応用ロシア語I-II, 総合ロシア語I-II</li> <li>●タイ語/入門タイ語I-II, 基礎タイ語I-II, 応用タイ語I-II, 総合タイ語I-II</li> <li>●韓国・朝鮮語/入門韓国・朝鮮語I-II, 基礎韓国・朝鮮語I-II, 応用韓国・朝鮮語I-II, 総合韓国・朝鮮語I-II</li> <li>●日本語/日本語・表現I-II, 日本語・論文技術(基礎)I-II, 日本語・総合I-II, 日本語・論文技術(応用)I-II, アカデミック日本語I-II, ビジネス日本語I-II</li> <li>●外国理解/世界の言語I-II, 古典言語I-II</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合演習/情報総合演習</li> <li>●情報科学/マルチメディア表現、ネットワークとセキュリティ、モデル化とデータベース、プログラミング、情報の科学、情報と社会</li> </ul>
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然・数理・環境/物質の科学、地球の科学、宇宙の科学、数理学、統計学入門、科学技術史、現代技術と社会、地球環境問題、自然環境と地理、現代科学技術論、テーマスタディ自然</li> <li>●身体・生命/生物の科学、生態学、動物行動学、スポーツ科学、健康行動論</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史・社会/歴史学、社会学、地理学、ジェンダー論、遺跡の世界、中国の社会問題、ボランティア活動論、高齢者生活論、ジャーナリズム論、テーマスタディ社会</li> <li>●政治・経済/政治学、経済学、法学、現代中国の世相、アジアの政治と経済、経営学、憲法</li> </ul>
人文	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思想・文化/哲学、論理学、宗教学、心理学、心の働き、文化人類学、現代の思想、民俗論、生活文化史、スポーツ文化論、日本事情I-II</li> <li>●芸術・文学/文学、日本語学、古典の世界、言語と文化、芸術論、テーマスタディ人文</li> </ul>
総合	平和学、地域の環境、地域の文化と歴史、大学史、連携講座
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎/コンディショニング、生涯スポーツ</li> <li>●発展/リフレッシュスポーツ、ウエイトトレーニング、スノースポーツ</li> </ul>

共通教育科目

# 文学部専攻カリキュラム



東洋哲学専攻	必修科目	東洋哲学基礎演習、東洋哲学史I-II、東洋哲学講義I	東洋哲学演習I、東洋哲学講義II	東洋哲学演習II
	選択科目	東洋哲学特殊講義I-II、中国哲学I-II、東洋政治思想史I-II、日本思想史I-II、印度哲学I-II、仏教思想I-II、西洋哲学史I-II、漢文学I-II、漢学研究I-II、書画論I-II		
西洋哲学専攻	必修科目	西洋哲学基礎演習I-II、西洋哲学概論I-II、西洋哲学史I-II	西洋哲学演習I	西洋哲学演習II
	選択科目	ドイツ哲学講義I、フランス哲学講義I、ギリシア哲学講義I、倫理思想史、倫理学概論、応用倫理学概論、美学概論I-II、宗教学概論、宗教思想史、比較思想I-II、東洋哲学史I-II、現代社会論	ドイツ哲学講義II、フランス哲学講義II、ギリシア哲学講義II、西洋哲学特殊講義I-IV	ドイツ哲学講義III、フランス哲学講義III、ギリシア哲学講義III
社会学専攻	必修科目	現代社会論、社会調査法、社会調査データ分析法、社会学の展開I-II、社会調査実習	社会学演習I	社会学演習II
	選択科目	家族と社会、生涯学習社会論、都市社会論、コミュニティ政策論、環境社会学、社会心理学、権力・支配の社会学、社会病理学、キャリア発達論、産業社会学、福祉・労働政策論、情報社会学、階級・階層論、組織社会学、比較社会・文化論、家族・村落史、外国書講読、マス・コミュニケーション論、アジア近現代史論、日本民俗学I		
行動社会学専攻	必修科目	社会行動論、社会調査法、社会調査データ分析法、社会学の展開I-II、社会調査実習	行動社会学演習I	行動社会学演習II
	選択科目	家族関係論、自我論、文化とパーソナリティ、ソーシャル・ネットワーク論、差別行動論、コミュニケーション論、精神分析学、文化の社会学、ライフ・コースの社会学、宗教と個人、差別の社会学、応用倫理学概論、福祉社会学、ケアの社会学、セクシュアリティ・ジェンダーの社会学、社会心理学、外国書講読、人間活動の地理学、臨床ケーススタディ(児童・少年期)、日本民俗学I		
心理学専攻	必修科目	心理学研究法、心理学基礎実験I-II、心理統計、心理学基礎演習	心理学演習I 心理アセスメント	心理学演習II
	選択科目	認知心理学I-II、行動心理学I-II、発達心理学、比較心理学I-II、性格心理学、生理心理学、臨床ケーススタディ(児童・少年期)、心理療法、家族関係論、精神分析学、社会心理学、キャリア発達論、社会病理学	行動分析応用、社会行動分析、心理学プログラミング演習、認知科学、臨床ケーススタディ(青年・成人期)、心理学特殊講義I-II、行動療法、思春期精神医学、カウンセリング研究	
図書館情報学専攻	必修科目	情報組織化I-II、情報提供論、調査検索実習、情報サービス、情報メディア概論、ネットワーク情報、図書館情報学概論I-II	図書館情報学演習I	図書館情報学演習II
	選択科目	情報処理基礎I、情報処理I-II、専門情報特殊講義I-IV、専門情報論I-IV、図書館の歴史と経営、知識組織論I、専門コミュニケーション、図書館概論、情報社会学、知的所有権、漢字文化論、演劇論、映画論、書画論、児童文学I-II、社会調査法	図書館実習、知識組織法I、書誌学、東洋哲学特殊講義II、地図学I-II	
日本史学専攻	必修科目	日本史基礎演習、日本史講義、古文書読解	日本史演習I	日本史演習II
	選択科目	日本史概論I-II、日本史科学、日本文化史I-II、歴史学概論、歴史学史、日本考古学I-II、西洋史概論、日本民俗学I-II、歴史地理学、日本思想史I-II、アジア近現代史論、アジア近現代史論、古典文学古文書読解、日本語史、家康・村落史、漢文学I-II	日本社会史特殊講義I-II、日本史特殊講義I-IV	
アジア史学専攻	必修科目	アジア史基礎演習、アジア史基礎講義、アジア近現代史論、アジア近現代史論	アジア史演習I アジア史講義	アジア史演習II
	選択科目	歴史学史、歴史学概論、アジア考古学I-II、西洋史概論、日本史概論I-II、日本考古学I-II、歴史地理学、人間活動の地理学、東洋政治思想史I-II、仏教思想I-II、漢文学I-II、中国文学史(古代・中世)、中国文学史(近世・近代)、中国古文講読I	アジア諸国史特殊講義I-II、中国古文講読II	
地理学専攻	必修科目	地理学研究法、地理学基礎実習、地理学講義、地理学演習I	地理学演習II	
	選択科目	地理学フィールドワーク実習I、測量学I-II、地球環境科学I-II、自然地域システム特殊講義I-II 歴史地理学、人間活動の地理学、日本民俗学I-II、日本文化史I-II、日本考古学I-II、アジア考古学I-II、アジア近現代史論、西洋史概論、都市社会学、環境社会学、社会心理学	地理学フィールドワーク実習II、地図学I-II、人文地域システム特殊講義 都市観光地理学、国際地域研究	
日本語国文学専攻	必修科目	日本古典文学基礎演習、日本近代文学基礎演習、日本語基礎演習、日本古典文学概論、日本近代文学概論、日本語学概論	日本文学演習I、日本語学演習I	日本文学演習II、日本語学演習II
	選択科目	日本古典文学史、日本近代文学史、日本語史、日本古典文学講読I、日本近代文学講読I、日本語学講読I、日本古典文学資料論、古典文学古文書読解、漢字文化論、日本近代文学I、日本語教育研究I-II、児童文学I-II、漢文学I-II	日本古典文学講読II、日本近代文学講読II、日本語学講読II、日本古典文学特殊講義、日本近代文学特殊講義、日本語学特殊講義、日本語文法論、日本近代文学II	
中国語中国文学専攻	必修科目	中国古文講読I、中国文学講読I、中国語学基礎演習	中国文学演習I	中国文学演習II
	選択科目	中国文学史(古代・中世)、中国文学史(近世・近代)、中国文学概論、中国文法理論、日中比較文学(古代)、日中比較文学(近代)、漢文学I-II、漢学研究I-II、書画論I-II	中国語学概論、中国語文法論、中国文学特殊講義、中国文学作家作品論	
英語圏文化学専攻	必修科目	English Pronunciation, English Reading, English Grammar, English Composition, Creative Writing I-II, 英語学, イギリス文学, アメリカ文学, 英語圏地域研究, 英語圏文化史	英語学演習I-II、イギリス文学演習I-II、アメリカ文学演習I-II、英語圏地域研究演習I-II、英語圏文化史演習I-II	
	選択科目	英語学基礎演習、イギリス文学基礎演習、アメリカ文学基礎演習、英語圏地域研究基礎演習、英語圏文化史基礎演習、欧米文芸論入門、欧米文学史概論、福祉言語学概論、言語科学入門	英語学特殊講義、イギリス文学特殊講義、アメリカ文学特殊講義、英語圏地域研究特殊講義、英語圏文化史特殊講義、英語学演習I、イギリス文学演習I、アメリカ文学演習I、英語圏地域研究演習I、英語圏文化史演習I、Discussing Current Issues II、比較文学、欧米文学受容史	
ドイツ文学専攻	必修科目	ドイツ語基礎演習I-II、ドイツ文学講読I-II、ドイツ語学講読I-II	ドイツ文学演習I ドイツ文学講読III-IV、ドイツ文学概論、ドイツ文学特殊講義、ドイツ語学概論、ドイツ語文法論	ドイツ文学演習II
	選択科目	欧米文芸論入門、欧米文学史概論、ドイツ文学史(現代)、ドイツ文学史(古典)、ドイツ史講読、ドイツ思想講読、福祉言語学概論、言語科学入門、外国語としてのドイツ語	比較文学、欧米文学受容史、外国語としてのドイツ語II-III	外国語としてのドイツ語IV
フランス文学専攻	必修科目	フランス語基礎演習I-II、フランス語学講読I-II、フランス文学史(中近世)、フランス文学史(近現代)	フランス語フランス文学演習I フランス語学概論、フランス語文法論、フランス文学講読I-II	フランス語フランス文学演習II
	選択科目	フランス哲学講読I、欧米文芸論入門、欧米文学史概論、福祉言語学概論、言語科学入門、フランス語・フランス文学特殊講義I、フランス事情	フランス文化論I-II、フランス哲学講読II、比較文学、欧米文学受容史、フランス語・フランス文学特殊講義II、外国語としてのフランス語I-II	フランス哲学講読III、外国語としてのフランス語III-IV

経済学部

経済学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 70単位  
 共通教育科目 40単位/フリーゾーン 14単位 (全ての科目群から選択)



教学  
経済学部

導入科目	経済学への招待 学憲法			
経済学の基礎	マクロ経済学、ミクロ経済学、資本主義経済論I	資本主義経済論II、経済史、統計学		
理論・情報	経済数学(代数)、経済数学(微積)	経済学史I・II、公共経済学、環境経済学、中級マクロ経済学、中級ミクロ経済学、金融論、経済データ分析、経済統計学、計量経済学I	貨幣信用論、経済原論、非営利経済論、実証経済分析、計量経済学II、産業組織論、経済学特殊講義	
歴史・政策	履修コースとして6コースを設けました。専門科目群の中で重点的に学習する領域を選択できるこのコース制により、体系的な学習を可能にしています。	財政学I・II、経済政策I・II、社会政策、比較経済史	産業政策論、環境・エネルギー政策論、労働経済論、社会保障論、西欧近代社会思想史、現代社会思想史、近代日本経済史、現代日本経済史、日本交通経済史、西洋経済史概論、西洋経済史、アメリカ経済史、近代中国経済史、中国根拠地経済史、公共政策特殊講義	
日本経済		日本経済論、地域経済論I・II、地方財政学、地域政策論、地場産業論、中小企業論	地域経営論、地域経済史、経済地理、都市経済論、ネットワーク経済論、流通経済論、観光論、農業経済論、日本経済特殊講義	
国際経済		国際経済学、国際金融論、貿易政策論、国際政治経済学、多国籍企業論、国際ビジネス論、国際観光論、国際開発論、開発経済論、アメリカ経済論、中国経済論、中国産業概論、中国企業経営論、中国農業論、中国のアジア太平洋政策、アジア太平洋経済論、アジア比較経済論、韓国経済論、東アジアの自動車産業	地球資源論、ヨーロッパ経済論、移行経済論、国際経済特殊講義	卒業研究の主なテーマ ・日本版金船ビックリノ ～金融機関の変貌と将来の展開～ ・グローバル化・ゼロサムにおける一考察 ～アメリカ依存経済からの脱却～ ・「格差社会」それとも「格差機関」? ～今、問われる格付け責任と信頼性～ ・銀行業務—銀行マンへの第一歩— ・日本、アメリカ、スウェーデンの福祉制度比較 ・バイオ燃料の現状と展望 ～主要生産国の食料問題の関係～ ・メカスポーツイベントの経済効果と影響 ・愛知県の魅力ある都市化計画 ・食の地域ブランドによるまちづくり ・世界におけるBPIICsのプレゼンス ・急成長するイスラム金融 ・日韓ワールドカップの経済波及効果 など
隣接・関連分野科目		社会福祉理論、社会福祉政策、行動科学、民具論、情報システム構築論、総合マルチメディア論、ウェブデザイン論	産業社会学、経営管理論、基礎簿記論、応用簿記論、会計学、現代社会と食文化、文化論、スポーツ経済・社会学、健康・スポーツ情報論、行政法、国際ビジネス法、民法1部・2部、商法、経済法、労働法	
外国語科目		時事中国語I・II	外国語講読I・II、経済英語I・II、経済中国語I・II	
その他		特別講義A・B・C、社会研修		
演習系科目		調査法 研究法 フィールドワーク方法論、フィールドワーク	専門演習I	専門演習II 卒業研究

外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語/ReadingI～III、Communicative EnglishI・II、Practical English、Advanced EnglishI・II、Current EnglishI・II、Communication SkillsI～IV</li> <li>●中国語/入門中国語I・II、基礎中国語I・II、応用中国語I・II、総合中国語I・II、中国語会話(初級)I・II、中国語会話(中級)I・II、コミュニケーション中国語I・II A、コミュニケーション中国語I・II B</li> <li>●フランス語/入門フランス語I・II、基礎フランス語I・II、応用フランス語I・II、総合フランス語I・II、フランス語会話(初級)I・II、フランス語会話(中級)I・II、コミュニケーションフランス語I・II A、コミュニケーションフランス語I・II B</li> <li>●ドイツ語/入門ドイツ語I・II、基礎ドイツ語I・II、応用ドイツ語I・II、総合ドイツ語I・II、ドイツ語会話(初級)I・II、ドイツ語会話(中級)I・II、コミュニケーションドイツ語I・II A、コミュニケーションドイツ語I・II B</li> <li>●ロシア語/入門ロシア語I・II、基礎ロシア語I・II、応用ロシア語I・II、総合ロシア語I・II</li> <li>●タイ語/入門タイ語I・II、基礎タイ語I・II、応用タイ語I・II、総合タイ語I・II</li> <li>●韓国・朝鮮語/入門韓国・朝鮮語I・II、基礎韓国・朝鮮語I・II、応用韓国・朝鮮語I・II、総合韓国・朝鮮語I・II</li> <li>●日本語/日本語表現I・II、日本語論文技術(基礎)I・II、日本語総合I・II、日本語論文技術(応用)I・II、アカデミック日本語I・II、ビジネス日本語I・II</li> <li>●外国理解/世界の言語I・II、古典言語I・II</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合演習/情報総合演習</li> <li>●情報科学/マルチメディア表現、ネットワークとセキュリティ、モデル化とデータベース、プログラミング、情報の科学、情報と社会</li> </ul>
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然・数理環境/物質の科学、地球の科学、宇宙の科学、数理科学、統計学入門、科学技術史、現代技術と社会、地球環境問題、自然環境と地理、現代科学技術論、テーマスタディ自然</li> <li>●身体生命/生物の科学、生態学、動物行動学、スポーツ科学、健康行動論</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史・社会/歴史学、社会学、地理学、ジェンダー論、邁跡の世界、中国の社会問題、ボランティア活動論、高齢者生活論、ジャーナリズム論、テーマスタディ社会</li> <li>●政治・経済/政治学、経済学、法学、現代中国の世相、アジアの政治と経済、経営学、憲法</li> </ul>
人文	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思想文化/哲学、論理学、宗教学、心理学、心の働き、文化人類学、現代の思想、民俗論、生活文化史、スポーツ文化論、日本事情I・II</li> <li>●芸術・文学/文学、日本語学、古典の世界、言語と文化、芸術論、テーマスタディ人文</li> </ul>
総合	平和学、地域の環境、地域の文化と歴史、大学史、連携講座
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎/コンディショニング、生涯スポーツ</li> <li>●発展/リフレッシュスポーツ、ウエイトトレーニング、スノースポーツ</li> </ul>



言語コミュニケーション学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 62単位  
 共通教育科目 44単位/フリーゾーン 18単位 (全ての科目群および比較文化学科の指定する授業科目の中から選択)

比較文化学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 68単位  
 共通教育科目 44単位/フリーゾーン 12単位 (全ての科目群および言語コミュニケーション学科の指定する授業科目の中から選択)



英語	Reading I・II、Communicative English I・II、Communication Skills I～IV	Reading III、Practical English、Advanced English I・II、Current English I・II		
中国語	入門中国語 I・II、基礎中国語 I・II、中国語会話(初級) I・II	応用中国語 I・II、総合中国語 I・II、中国語会話(中級) I・II	コミュニケーション中国語 I・II A、コミュニケーション中国語 I・II B	
フランス語	入門フランス語 I・II、基礎フランス語 I・II、フランス語会話(初級) I・II	応用フランス語 I・II、総合フランス語 I・II、フランス語会話(中級) I・II	コミュニケーションフランス語 I・II A、コミュニケーションフランス語 I・II B	
ドイツ語	入門ドイツ語 I・II、基礎ドイツ語 I・II、ドイツ語会話(初級) I・II	応用ドイツ語 I・II、総合ドイツ語 I・II、ドイツ語会話(中級) I・II	コミュニケーションドイツ語 I・II A、コミュニケーションドイツ語 I・II B	
ロシア語	入門ロシア語 I・II、基礎ロシア語 I・II	応用ロシア語 I・II、総合ロシア語 I・II		
タイ語	入門タイ語 I・II、基礎タイ語 I・II	応用タイ語 I・II、総合タイ語 I・II		
韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語 I・II、基礎韓国・朝鮮語 I・II	応用韓国・朝鮮語 I・II、総合韓国・朝鮮語 I・II		
日本語	日本語・表現 I・II、日本語・論文技術(基礎) I・II	日本語・総合 I・II、日本語・論文技術(応用) I・II	アカデミック日本語 I・II、ビジネス日本語 I・II	
外国理解	外国理解(英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏・中国語圏・韓国語圏・タイ語圏) I・II、海外セミナー(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語) I・II			

**短期留学セミナー**  
 夏期・春期休暇を利用し、イギリス・アメリカ・オーストラリア・ドイツ・フランス・中国 韓国 の7ヶ国で、4週単位の短期留学に参加するプログラムです。

**長期留学制度**  
 アメリカ・カナダ・イギリスなどの選校へ半年間もしくは1年間留学する制度を用意。留学先で修得した単位は本学の単位として認定され4年間で卒業が可能です。

基幹科目	外国語学習入門、比較文化入門、言語文化論、文化人類学入門、国際政治論入門、国際ビジネス入門、生活文化論、日本文化入門、異文化間コミュニケーション、言語学概論 I・II、フィールドワーク入門	比較文化論 I (比較思想)、II (比較文学)、III (比較宗教)、映像コミュニケーション、ネットワークコミュニケーション	アメリカ・ヨーロッパで現地調査を実施。テレビフィールド ビューや大型食品店、学校などでのインタビューを通して、アメリカ社会の一面を体験的に学びます。	
演習科目	入門ゼミ、日本語コミュニケーション技術	国際フィールドワーク I、国際フィールドワーク II、英語コミュニケーション技術	演習 I・II	演習 III・IV、卒業研究
英語	英会話初級 I・II、英作文初級 I・II	英会話初級 III・IV、英会話中級 I、英作文初級 III、English Grammar I	英会話中級 II・III、英作文中級 I・II、English Grammar II、Mass Media English、Business English	英作文上級、英会話上級 I・II
関連する科目		英語学概論、英語音声学、British History、American History、日英通訳法、日英翻訳法	英語の歴史、英語学演習、イギリス文学講義、アメリカ文学講義、中国語テキスト講義 I・II、中国語応用会話 I・II、ドイツ語テキスト講義 I・II、ドイツ語応用会話 I・II	

基幹科目	外国語学習入門、比較文化入門、言語文化論、文化人類学入門、国際政治論入門、国際ビジネス入門、異文化間コミュニケーション、言語学概論 I・II、日本文化入門、生活文化論、現代ヨーロッパ事情、現代アメリカ事情、現代アジア事情、現代日本の生活文化、欧米の生活文化、フィールドワーク入門	映像コミュニケーション、ネットワークコミュニケーション、比較文化論 I (比較思想)・II (比較文学)・III (比較宗教)		
演習科目	入門ゼミ、基礎演習	国際フィールドワーク I、国際フィールドワーク II、外国語ゼミ I・II	演習 I・II	演習 III・IV、卒業研究
欧米文化		ヨーロッパの文化 I・II、イギリスの文化、ヨーロッパ文化史、キリスト教とヨーロッパ、アメリカの文化 I、欧米の民俗学	アメリカの文化 II	
アジア文化	アメリカ・韓国・中国・タイ/フィールドワーク アメリカ、アジア地域の3ヶ国で2週間の現地調査を実施。現地での活動を通して、これらの国をより深く理解することができます。	中国の文化、韓国の文化、東南アジアの文化、現代アジアの生活文化 I・II、アジアの伝承文化 I・II	インドの社会と文化	
日本文化		日本文化史、日本人と思想、日本の伝承文化、日本の伝統芸能、日本語と日本人、日本語教育研究 I・II	Trad Japan	
主題研究		現代フォークロア方法論、民具・民芸論、民族芸術論、観光文化論、博物館展示論、テーマロード文化論、比較文化特講 II	比較文化特講 I	
国際関係・国際ビジネス		国際政治論 I・II、比較経済システム論、国際開発論、国際文化関係論、グローバリズム論 I・II、イスラーム世界論、平和研究、国際ビジネス論 I・II、国際観光論、アメリカ経済論、アジア比較経済論、中国経済論	国際観光地理、ヨーロッパ経済論、基礎簿記論、会計学	
英語		Cultural Studies in English I・II、Advanced Writing、Critical Readings、Media Studies		

情報	●総合演習/情報総合演習 ●情報科学/マルチメディア表現、ネットワークとセキュリティ、モデル化とデータベース、プログラミング、情報の科学、情報と社会
自然	●自然/数理・環境/物質の科学、地球の科学、宇宙の科学、数理論理学、統計学入門、科学技術史、現代技術と社会、地球環境問題、自然環境と地理、現代科学技術論、テーマスタディ自然 ●身体・生命/生物の科学、生態学、動物行動学、スポーツ科学、健康行動論
社会	●歴史/社会/歴史学、社会学、地理学、ジェンダー論、遺跡の世界、中国の社会問題、ボランティア活動論、高齢者生活論、ジャーナリズム論、テーマスタディ社会 ●政治/経済/政治学、経済学、法学、現代中国の世相、アジアの政治と経済、経営学、憲法
人文	●思想/文化/哲学、論理学、宗教学、心理学、心の働き、文化人類学、現代の思想、民俗論、生活文化史、スポーツ文化論、日本事情 I・II ●芸術/文学/文学、日本語学、古典の世界、言語と文化、芸術論、テーマスタディ人文
総合	平和学、地域の環境、地域の文化と歴史、大文学、連携講座 ●基礎/コンディショニング、生涯スポーツ ●発展/リフレッシュ:スポーツ、ウエイトトレーニング、スノースポーツ

# 学部・学科及び授業科目

## 法学部

### 法学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目/共通教育科目  
フリーゾーン(全ての科目群から選択)



基礎法部門		法思想史I・II、比較法I・II	法哲学I・II、法社会学I・II、西洋法制史I・II、日本近代法制史I・II、外国法I・II、中国法I・II	
公法部門	憲法 基本的人権、憲法 統治機構I・II	行政法総論I・II、国際法総論I・II、刑法総論	行政救済法、行政法各論、租税法I・II、国際法各論、国際組織法、刑法各論I・II、刑事訴訟法I・II、刑事政策I・II	
私法部門	民法総則、家族法	物権法、契約法I・II、不法行為法、商法総則、消費者保護法	担保物権法、債権法I・II、相続法、民事訴訟法I・II、民事執行法、破産法、国際取引法I・II、国際私法I・II、商取引法、会社法I・II、手形法・小切手法I・II、保険法、労働法I・II、社会保障法、社会福祉法、経済法I・II、知的所有権法	
行政・政治部門	政治学I・II、行政学I・II、日本政治論I・II、中国政治論	日本政治史I・II、ヨーロッパ政治史I・II、中国政治体制論、中国政治思想史	ヨーロッパ政治思想史I・II、ヨーロッパの政治文化I・II、国際政治史I・II、公共政策論I・II、欧米政治論I・II、地方自治論I・II、第二世界の政治	
演習部門	入門演習	基礎演習	専門演習I	専門演習II、卒業論文
特殊部門			外国法政研究I・II、法律学特殊講義、政治学特殊講義	外国法政研究III・IV
他学部部門	経営学総論、現代日本の企業経営、現代企業の経営環境、日中間係論	企業形態論、会計学基礎理論、金融政策、国際経済論、国際金融論、財政学理論、財政学政策、日本外交論、国際関係論、南北問題、平和学		
教職課程科目	授業構成法演習(社会)	授業コミュニケーション論(社会系)、授業構成法(社会系・公民分野)		

教学 法学部

外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語/TOEICⅢ、論説英文講読Ⅰ～Ⅳ、特別基礎英語Ⅰ～Ⅳ、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、表現英語Ⅰ・Ⅱ、英文小説講読Ⅰ・Ⅱ、英語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○ドイツ語/ドイツ語入門、ドイツ語基礎、ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語発展Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○フランス語/フランス語入門、フランス語基礎、フランス語応用Ⅰ・Ⅱ、フランス語発展Ⅰ・Ⅱ、フランス語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○中国語/中国語入門、中国語基礎、中国語応用Ⅰ・Ⅱ、中国語発展Ⅰ・Ⅱ、中国語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○韓国/朝鮮語/韓国 朝鮮語入門、韓国 朝鮮語基礎、韓国 朝鮮語応用Ⅰ・Ⅱ、韓国 朝鮮語発展Ⅰ・Ⅱ、韓国 朝鮮語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○日本語/日本語Ⅰ～Ⅳ、専門日本語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ、日本事情Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>	●第一外国語 ○第二外国語(1言語選択)
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数理・情報/代数基礎、線形代数、微分積分の基礎、微分積分の応用、確率の基礎、確率の応用、統計の基礎、統計の応用、Web site構築、プレゼンテーション技術、マルチメディア表現法、情報倫理、社会データ分析入門、情報化社会論、命題計算とデジタル回路、コンピュータ科学の基礎、数理とプログラム・応用、情報リテラシー入門、情報リテラシー応用</li> <li>●生命・環境/科学と社会、現代科学の諸問題、宇宙、地球、物質科学、資源・エネルギー、環境の科学、環境と都市、生命科学基礎、生命科学応用、生物コミュニケーション、生理行動基礎、生理行動応用、健康と運動の科学、健康と栄養、スポーツの科学、身体とコンディショニング</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●政治・経済/憲法とくらし、法とくらし、政治とくらし、市場経済とくらし、国民所得とくらし、経済と社会、国際社会と政治、政治と社会、政治と国家、情報と社会</li> <li>●歴史・社会/社会科学入門、社会科学応用、社会学基礎、現代コミュニティ論、現代社会論、国際社会とNGO、現代社会とメディア、社会思想史、日本史、西洋史、東洋史、東アジア近代史、近代アジアと日本、近代アジアと欧米、アジア地誌、国際事情、地理学通論、地誌学</li> </ul>	
人文	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思想・文化/人間と文化、人間と社会、思想と文化、思想と社会、言語と人間、民族と文化、民族と国家、社会と宗教、異文化コミュニケーション、思想文化総論、思想文化特論、倫理学通論</li> <li>●芸術・文学/文学と人間(アジア)、文学と人間(欧米)、文学と人間(日本)、美術と人間、映画と人間、音楽と人間、演劇と人間</li> </ul>	
総合	●総合科目 ●総合演習/総合演習Ⅰ～Ⅳ	体育 ヘルスエクササイズ入門、ヘルスエクササイズ基礎、ヘルスエクササイズ応用、ヘルスエクササイズ選択Ⅰ・Ⅱ

経営学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 64単位/共通教育科目 33単位  
フリーゾーン 27単位(全ての科目群から選択)

経営学部

会計ファイナンス学科カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 64単位/共通教育科目 33単位  
フリーゾーン 27単位(全ての科目群から選択)

1年次・2年次

経営学・会計学の専門分野に加え、人文、社会、外国語などを学び、4年間の学びの基礎をつくりまします。

→3年次

専門教育は、講義科目と少人数ゼミナールの関連を重視して進められます。

→4年次

3年次の「専門演習」で扱ったテーマをもとに「卒業論文」に挑戦します。

学科共通部門	経営学総論、基礎簿記論、流通総論、情報システム概論、国際経営論、ミクロ経済学、マクロ経済学、現代日本の企業経営、現代企業の経営環境	経営管理総論、統計学概論		
ビジネス部門		経営学原理、企業理論I、経営史、日本経営史、企業形態論、現代企業論	企業理論II、公共経営論、中小企業論、ベンチャービジネス論、経営立地論	
マネジメント部門		経営管理システム論、経営戦略論、コーポレートファイナンス論	人事管理論、労使関係論、生産管理論、品質管理論、販売管理論、経営組織論、組織動機論、立地分析論	
流通部門	流通政策	文通論、文通経営論、国際流通論、金融概論、物流論、貿易実務論、物流システム論	損害保険論	
マーケティング部門	マーケティング論	消費者行動論、消費者行動分析、マーケティング戦略論、マーケティングシステム、サービスマーケティング、ソーシャルマーケティング、環境マーケティング	マーケティング情報論、広告コミュニケーション、小売マーケティング	
情報システム部門	コンピュータ制御	経営工学入門、プログラミング入門、多変量解析、経営データ解析、オペレーションズリサーチ、プログラミング論、アルゴリズム、オペレーティングシステム論、データベース論、情報システム組織論、企業情報システム論、ソフトウェアツール	シミュレーション論、ソフトウェア工学、コンピュータネットワーク論、コンピュータセキュリティ論、システムデザインI・II、システム管理、国際情報ネットワーク論	
国際経営部門		多国籍企業論、国際経営戦略論、国際マーケティング論、比較経営史、イギリス経営史	技術移転論、国際人事管理論	
地域ビジネス部門		アジア企業論、アジア企業経営論、アジア経営比較論、中国外資経営論、中国経営論、ユーロビジネス論、アメリカビジネス論	中国企業改革論	
ビジネス実践部門		国際経済事情、国際ビジネス論、国際ビジネス実践	国際ビジネス法務、ビジネスと文化、ビジネス英語I・II	
演習部門	入門ゼミ	外国書講読I・II	外国書講読III・IV 専門演習I	専門演習II、卒業論文
その他			経営学特殊講義、ビジネス研修	
他学部部門	民法総則、政治学I・II	行政法総論I・II、物権法、契約法I・II、商法総則、消費者保護法、華人企業経済論、国際関係論、南北問題、中国貿易論	国際社会調査論	
教職課程科目	授業構成法演習(社会)	授業コミュニケーション論(社会系)、授業コミュニケーション論(商業)、授業コミュニケーション論(情報)、授業構成法(社会系・公民分野)、授業構成法演習(商業I)、授業構成法演習(情報)I		

学科共通部門	会計学概論、商業簿記初級、商業簿記中級I、経営学概論I・II、ミクロ経済学、マクロ経済学	商業簿記中級II、統計学概論、企業法概論I・II、法人税法	財務諸表分析論、経営分析論、国際会計論、知的財産評価論、企業価値評価論	
アカウント部門		商業簿記上級、工業簿記I・II、会計学基礎理論、財務諸表論、原価計算論、経営原価計算論、予算管理論、会計情報処理論	財務会計論総合研究、連結会計論、制度会計論、管理会計基礎理論、管理会計応用理論、管理会計論総合研究、会計監査論I・II、会計監査論総合研究、税務会計基礎理論、税務会計応用理論、国際会計基準論、公会計論I・II、環境会計論I・II、英文会計	
ファイナンス部門		ファイナンス理論、経営財務論、金融論、金融政策、国際経済論、国際金融論、金融・証券市場論、年金・保険論、財政学理論、財政学政策	資本調達論、投資決定論、国際財務論、金融工学、金融機関論、外国為替論、証券分析論、証券投資論	
演習部門	入門ゼミ	外国書講読I・II	外国書講読III・IV 専門演習I	専門演習II、卒業論文
その他			会計学特殊講義、ファイナンス特殊講義、ビジネス研修	
他学部部門	民法総則、政治学I・II	行政法総論I・II、物権法、契約法I・II、商法総則、消費者保護法、華人企業経済論、開発経済学、中国貿易論	国際社会調査論、中国投資論	
教職課程科目		授業コミュニケーション論(商業)、授業構成法演習(商業)I		

外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語/TOEICⅠ～Ⅲ、論説英文講読Ⅰ～Ⅳ、特別基礎英語Ⅰ～Ⅳ、コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅱ、メディア英語Ⅰ～Ⅱ、表現英語Ⅰ～Ⅱ、英文小説講読Ⅰ～Ⅱ、英語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○ドイツ語/ドイツ語入門、ドイツ語基礎、ドイツ語応用Ⅰ～Ⅱ、ドイツ語発展Ⅰ～Ⅱ、ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○フランス語/フランス語入門、フランス語基礎、フランス語応用Ⅰ～Ⅱ、フランス語発展Ⅰ～Ⅱ、フランス語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○中国語/中国語入門、中国語基礎、中国語応用Ⅰ～Ⅱ、中国語発展Ⅰ～Ⅱ、中国語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○韓国語/韓国語入門、韓国語基礎、韓国語応用Ⅰ～Ⅱ、韓国語発展Ⅰ～Ⅱ、韓国語演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>○日本語/日本語Ⅰ～Ⅳ、専門日本語Ⅰ～Ⅱ、ビジネス日本語Ⅰ～Ⅱ、日本事情Ⅰ～Ⅱ</li> </ul> <p style="text-align: right;">●第一外国語 ○第二外国語(1言語選択)</p>
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数理・情報/代数基礎、線形代数、微分積分の基礎、微分積分の応用、確率の基礎、確率の応用、統計の基礎、統計の応用、Web site構築、プレゼンテーション技術、マルチメディア表現法、情報倫理、社会データ分析入門、情報化社会論、命題計算とデジタル回路、コンピュータ科学の基礎、数値とプログラム入門、数値とプログラム応用、情報リテラシー入門、情報リテラシー応用</li> <li>●生命・環境/科学と社会、現代科学の諸問題、宇宙、地球、物質科学、資源エネルギー、環境の科学、環境と都市、生命科学基礎、生命科学応用、生物コミュニケーション、生理行動基礎、生理行動応用、健康と運動の科学、健康と栄養、スポーツの科学、身体とコンディショニング</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●政治・経済/憲法とくらし、法とくらし、政治とくらし、市場経済とくらし、国民所得とくらし、経済と社会、国際社会と政治、政治と社会、政治と国家、情報と社会</li> <li>●歴史・社会/社会科学入門、社会科学応用、社会学基礎、現代コミュニティ論、現代社会論、国際社会とNGO、現代社会とメディア、社会思想史、日本史、西洋史、東洋史、東アジア近代史、近代アジアと日本、近代アジアと欧米、アジア地誌、国際事情、地理学通論、地誌学</li> </ul>
人文	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思想文化/人間と文化、人間と社会、思想と文化、思想と社会、言語と人間、民族と文化、民族と国家、社会と宗教、異文化コミュニケーション、思想文化総論、思想文化特論、倫理学通論</li> <li>●芸術・文学/文学と人間(アジア)、文学と人間(欧米)、文学と人間(日本)、美術と人間、映画と人間、音楽と人間、演劇と人間</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合科目 ●総合演習/総合演習Ⅰ～Ⅳ</li> <li>●体育 ヘルスエクササイズ入門、ヘルスエクササイズ基礎、ヘルスエクササイズ応用、ヘルスエクササイズ選択I・II</li> </ul>

教学  
経営学部

# 現代中国学部

## 現代中国学部カリキュラム

卒業に最低必要な単位 合計124単位/専門教育科目 71単位/共通教育科目 27単位  
 フリーゾーン 26単位(全ての科目群から選択)



英語	TOEICⅠ・Ⅱ	TOEICⅢ、特別基礎英語Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、表現英語Ⅰ・Ⅱ、英文小説講読Ⅰ・Ⅱ	特別基礎英語Ⅲ・Ⅳ、論読英文講読Ⅰ・Ⅱ、英語演習Ⅰ・Ⅱ	論読英文講読Ⅲ・Ⅳ、英語演習Ⅲ・Ⅳ
中国語強化部門		中国語プレゼンテーションⅠ	中国語プレゼンテーションⅡ・Ⅲ、上級中国語Ⅰ・Ⅱ	上級中国語Ⅲ
語学部門	中国語発音Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ～Ⅳ	中国現地プログラム 中国語Ⅴ、中国語Ⅵ、中国語Ⅶ、中国語Ⅷ、中国語Ⅸ、中国語Ⅹ、中国語Ⅺ、中国語Ⅻ、中国語Ⅼ、中国語Ⅽ、中国語Ⅾ、中国語Ⅿ、中国語ⅰ、中国語ⅱ、中国語ⅲ、中国語ⅴ、中国語ⅵ、中国語ⅶ、中国語ⅷ、中国語ⅸ、中国語ⅹ、中国語ⅺ、中国語ⅻ、中国語ⅼ、中国語ⅽ、中国語ⅾ、中国語ⅿ、中国語ⅿ	英語リスニング、実用オフィス英語Ⅰ 実用オフィス英語Ⅱ	中国現地プログラム ～中国語の集中レッスン～ 第3セメスターの4ヶ月間、2年次生全員が天津・南開大学漢語文化学院に留学します。語学研修を中心とし、「中国語(精読、口話、聴力、翻訳)」「現代中国社会論」「中国文化講座」などの科目を履修します。キャンパス内の南開愛大会館(留学研修センター)で留学生生活を送ります。
中国現地プログラム関連部門	現地プログラム基礎、現地プログラム生活事前教育			
専門共通部門	中国研究入門Ⅰ・Ⅱ、現代日本社会論、現代中国学原論、経済の基礎、経営の基礎、中国思想概説、中国文学概説、日中戦争史、日中関係論、中国政治論	中国地理、情報産業論、中国語学概説、中国前近代史、中国近現代史、国際関係論、中国法概説、コミュニケーション中国語Ⅰ、日中ビジネス会話Ⅰ	国際社会調査論、現地研究実習基礎、コミュニケーション中国語Ⅱ、日中ビジネス会話Ⅱ	
ビジネス部門		中国近代経済史、中国体制改革、中国経済論、中国産業論、中国農業論、中国農民経済論、中国企業論、中国貿易論、華人企業経済論	中国現代経済史、中国経済改革、中国投資論、日中ビジネス基礎論、日中ビジネス実践論、日中比較経営論	
言語文化部門		中国現代文学史、中国語文法論、中国教育論、ピンイン語Ⅰ・Ⅱ、中国語方言Ⅰ・Ⅱ、中国古典文論、東アジア古典芸術論、東アジア現代芸術論、中国民俗学	中国語表現論、中国語書論、中国社会学、中国現代文学論、華人現代文学論	
国際関係部門		南北問題、開発経済学、国際文化論、平和学、日本外交論、東アジア国際政治、東アジア経済論、アジア社会論、中国外交論、中国政治体制論、国際経済学、中国民族論、中国政治思想史	発展途上国経済論、中国法	中国現地研究実習 ～フィールドワーク～ 3年次の3週間、学生自身が中国を訪れ、中国社会の実情を多面的に研究。その結果を、中国主要大学の学生との日中大学生シンポジウムで発表、ディスカッションを行います。
外国語講義		外国語講読Ⅰ・Ⅱ		
実習部門			中国現地研究実習	
演習部門	入門演習、基礎演習	演習	中国現地インターンシップ～企業研修～ 3年次の2週間、学生自身が中国の日系企業を訪れ、企業研修に従事。その結果を報告書で発表し、実務経験を就職活動に活かします。	専門演習Ⅰ・Ⅱ 専門演習Ⅲ・Ⅳ 卒業研究
中国語情報部門	ネットワーク情報論、ソフトウェア演習			
その他		現代中国学特殊講義	日中企業研修	
他学部部門	経営学総論、現代日本の企業経営、現代企業の経営環境	国際法総論Ⅰ・Ⅱ、会計学基礎理論、財政学理論		
教職課程科目		授業コミュニケーション論(言語系)、授業コミュニケーション論(社会系)、授業構成法(社会系・地理分野)	授業構成法演習(中国語)Ⅰ	

現代中国学部

- ドイツ語/ドイツ語入門、ドイツ語基礎、ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ ●フランス語/フランス語入門、フランス語基礎、フランス語応用Ⅰ・Ⅱ ●韓国・朝鮮語/韓国・朝鮮語入門、韓国・朝鮮語基礎、韓国・朝鮮語応用Ⅰ・Ⅱ
- 日本語/日本語Ⅰ～Ⅳ、専門日本語Ⅰ・Ⅱ、ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ、日本事情Ⅰ・Ⅱ

- 数理・情報/代数基礎、線形代数、微分積分の基礎、微分積分の応用、確率の基礎、確率の応用、統計の基礎、統計の応用、Web site構築、プレゼンテーション技術、マルチメディア表現法、情報倫理、社会データ分析入門、情報化社会論、命題計算とデジタル回路、コンピュータ科学の基礎、数値とプログラム入門、数値とプログラム応用、情報リテラシー入門、情報リテラシー応用
- 生命・環境/科学と社会、現代科学の諸問題、宇宙、地球、物質科学、資源エネルギー、環境の科学、環境と都市、生命科学基礎、生命科学応用、生物コミュニケーション、生理行動基礎、生理行動応用、健康と運動の科学、健康と栄養、スポーツの科学、身体とコンディショニング

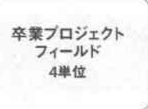
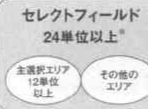
- 政治・経済/憲法とくらし、法とくらし、政治とくらし、市場経済とくらし、国民所得とくらし、経済と社会、国際社会と政治、政治と社会、政治と国家、情報と社会
- 歴史・社会/社会科学入門、社会科学応用、社会学基礎、現代コミュニティ論、現代社会論、国際社会とNGO、現代社会とメディア、社会思想史、日本史、西洋史、東洋史、東アジア近代史、近代アジアと日本、近代アジアと欧米、アジア地誌、国際事情、地理学通論、地誌学

- 思想文化/人間と文化、人間と社会、思想と文化、思想と社会、言語と人間、民族と文化、民族と国家、社会と宗教、異文化コミュニケーション、思想文化総論、思想文化特論、倫理学通論
- 芸術・文学/文学と人間(アジア)、文学と人間(欧米)、文学と人間(日本)、美術と人間、映画と人間、音楽と人間、演劇と人間

- 総合科目 ●総合演習/総合演習Ⅰ～Ⅳ ●体育 ●ヘルスエクササイズ入門、ヘルスエクササイズ基礎、ヘルスエクササイズ応用、ヘルスエクササイズ選択Ⅰ・Ⅱ

# 短期大学部

卒業必要単位  
62単位



\*主選定エリアから12単位以上を定め、  
2つ以上のエリアから6単位以上

フィールド	エリア	ユニット	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター
ベーシックフィールド 22単位以上	共通 共通エリア (10以上)	必修ユニット	基礎演習	発想・議論演習		
		選択ユニット	美しい日本語 ライフプランニング 色彩とデザイン	キャリアプランニング 文書表現演習		
ベーシックフィールド 22単位以上	教養 教養エリア (12以上)		文学 英米文学(児童文学) 芸術 文化人類学 現代社会のあゆみ 女性と社会 社会と福祉 コミュニティ論 法学 経済学 現代の学びと教育 地球と環境 情報文化論I 健康・スポーツI 英語初級I 中国語初級I 日本語I ドイツ語初級I フランス語初級I	哲学 流通論 情報総合演習 マルチメディア表現 ネットワークとセキュリティ モデル化のデータベース プログラミング 情報の科学 情報と社会 生涯学習概論 情報文化論II ボランティア活動 健康・スポーツII 英語初級II 中国語初級II 日本語II ドイツ語初級II フランス語初級II	英語中級I Practical English 中国語中級I 日本語III ドイツ語中級I フランス語中級I	英語中級II 中国語中級II 日本語IV ドイツ語中級II フランス語中級II
セレクトフィールド 24単位以上	英語 コミュニケーション エリア	スピーキング・ リスニングユニット	コミュニケーションリッシュI コミュニケーションリッシュプラスI 言語コミュニケーション	コミュニケーションリッシュII コミュニケーションリッシュプラスII リスニングI 英語圏語学研修入門 英語圏短期研修 日本語と英語の音声	コミュニケーションリッシュIII コミュニケーションリッシュプラスIII リスニングII	コミュニケーションリッシュIV コミュニケーションリッシュプラスIV リスニングIII
		リーディング・ ライティング ユニット		ラビッドリーディングI ベーシックライティングI	ラビッドリーディングII ベーシックライティングII マスメディアイングリッシュ ビジネスイングリッシュ	ラビッドリーディングIII ベーシックライティングIII マスメディアイングリッシュ ビジネスイングリッシュ
		英米文化ユニット		西洋の伝統思想	アメリカの歴史と文化	イギリスの歴史と文化
	日本文化エリア	伝統文化ユニット	日本の食と文化	日本文化のかたち 地域の文化		伝統文化演習 日本の食と文化演習
		現代文化ユニット		映像文化	モダンカルチャー論	エンターテインメント文化 現代文化演習
	日本語エリア	日本文学ユニット	日本文学の歴史	近代の作家と作品 詩歌を読む	文学の環境 古典作品を読む	現代小説を読む
		日本語技能ユニット	応用敬語	論証作文 文字研究	ドキュメンテーション演習 プレゼンテーション	図表化技法
	食・健康・スポーツ エリア	食文化ユニット	日本の食と文化	地域の食文化 儀式行事と食	芸術と食	日本の食と文化演習
		健康・スポーツ ユニット	食生活プランニング	女性のからだと健康	レジャー・レクリエーション演習	アウトドアライフ演習 ダイエットと運動
	人間社会エリア	人間社会ユニット	人間関係の心理I 心理コミュニケーション論	現代社会と生活 日本社会論 生活と福祉 社会調査法 人間関係の心理II 児童サービス論	家族論 人間社会演習	マスメディアコミュニケーション論
	オフィス情報 エリア	オフィスユニット	ビジネス基礎	簿記会計実務I ビジネスマナー 産業社会と人間 社会調査法	簿記会計実務II ドキュメンテーション演習 プレゼンテーション ビジネスイングリッシュ	ビジネスイングリッシュ
		情報ユニット	情報機器の操作 情報提供論	情報サービス 情報機器論	Webデザイン 情報管理 情報検索演習	図表化技法 生活と情報セキュリティ
卒業プロジェクトフィールド(4)					卒業研究I	卒業研究II
特別 フィールド	単位認定 エリア	海外研修I・II 技能検定I・II 特別講座I・II	海外研修I・II 技能検定I・II 特別講座I・II	海外研修I・II 技能検定I・II 特別聴講科目 単位互換科目	技能検定I・II 特別聴講科目 単位互換科目	

# 大学院研究科及び授業科目

## 大 学 院

### □豊橋キャンパス

研究科区分		授 業 科 目					
経済学研究科	経済学 博士前期課程 (修士課程)	理論経済学研究Ⅰ 計量経済学研究Ⅱ 数理統計学研究Ⅰ 国際経済論研究Ⅱ 社会思想史研究 社会福祉論研究 地方財政論研究 租税実務論研究Ⅲ 日本経済論研究Ⅰ 日本経済史研究Ⅱ 現代アジア地域経済研究 現代アメリカ経済研究 中国のアジア太平洋政策研究 環境論研究Ⅰ	理論経済学研究Ⅱ 実証経済分析研究Ⅰ 数理統計学研究Ⅱ 経済原論研究Ⅰ 経済学史研究 比較経済体制論研究 社会政策研究 金融政策論研究Ⅰ 日本経済論研究Ⅱ 日本経済史研究Ⅲ ヨーロッパ経済研究 中国経済史研究 国際開発の政治経済学研究 環境論研究Ⅱ	理論経済学研究Ⅲ 実証経済分析研究Ⅱ 情報処理論研究Ⅰ 経済原論研究Ⅱ 近代経済思想史研究 環境経済学研究 経済政策論研究 金融政策論研究Ⅱ 地域経済論研究Ⅰ 日本経済史研究Ⅳ 西洋経済史研究 現代中国経済研究 グローバル経済と東海地方研究 演習	理論経済学研究Ⅳ 国際金融論研究Ⅰ 情報処理論研究Ⅱ 経済原論研究Ⅲ 近代経済学史研究 財政学研究Ⅰ 租税実務論研究Ⅰ 公共経済学研究Ⅰ 地域経済論研究Ⅱ 農業経済論研究Ⅱ 国際比較地域経済史研究 現代韓国・朝鮮経済研究 経済学特別講義	計量経済学研究Ⅰ 国際金融論研究Ⅱ 国際経済論研究Ⅰ 経済原論研究Ⅳ 制度経済学研究 財政学研究Ⅱ 租税実務論研究Ⅱ 公共経済学研究Ⅱ 日本経済史研究Ⅰ 中小企業論研究 アメリカ経済史研究 現代アジア比較経済研究 外国文献研究	
	経済学 博士後期課程	理論経済学特殊研究Ⅰ 国際経済論特殊研究 環境経済学特殊研究 現代アジア地域経済特殊研究 中小企業論特殊研究 社会政策論特殊研究	理論経済学特殊研究Ⅱ 経済学史特殊研究Ⅰ 日本経済史特殊研究Ⅰ 経済政策論特殊研究 国際金融論特殊研究 社会思想史特殊研究	計量経済学特殊研究 経済学史特殊研究Ⅱ 日本経済史特殊研究Ⅱ 農業政策論特殊研究 金融政策論特殊研究 研究演習	公共経済学特殊研究 社会主義経済論特殊研究 西洋経済史特殊研究 日本経済論特殊研究 財政学特殊研究	情報処理論特殊研究 中国経済論特殊研究 アメリカ経済史特殊研究 地域経済論特殊研究 数理統計学特殊研究	
文学研究科	日本文化 博士前期課程 (修士課程)	日本文化研究方法論 日本民俗学研究 日本中近世文学研究 日本語史研究 西欧文化史研究	日本古代社会研究 日本文化史研究 日本近代文学研究Ⅰ 日本古代語研究 演習	日本中世社会研究 日本民俗資料論研究 日本近代文学研究Ⅱ 日本古典資料研究	日本近世文化研究 日本宗教論研究 日本現代文学研究 歴史地域論研究	日本近代社会研究 日本古代文学研究 日本語学研究 比較文化研究	
	日本文化 博士後期課程	日本文化特殊研究Ⅰ 日本文化特殊研究Ⅵ	日本文化特殊研究Ⅱ 日本文化特殊研究Ⅶ	日本文化特殊研究Ⅲ 日本文化特殊研究Ⅷ	日本文化特殊研究Ⅳ 研究指導	日本文化特殊研究Ⅴ	
	地域社会システム 博士前期課程 (修士課程)	地域社会システム研究方法論 地域社会生活論研究 歴史地域論研究 地域文化論研究	社会システム論研究 地域社会形成論研究 地域生態論研究 地域社会変動論研究	人間行動論研究 都市社会論研究 地域環境論研究 地理情報システム(GIS)論研究	生活行動論研究 地域システム論研究 自然地域システム論研究 地域社会システム研究特論	社会行動論研究 人文地域システム論研究 地域政策・計画論研究 演習	
	地域社会システム 博士後期課程	地域社会システム特殊研究Ⅰ 地域社会システム特殊研究Ⅵ	地域社会システム特殊研究Ⅱ 地域社会システム特殊研究Ⅶ	地域社会システム特殊研究Ⅲ 地域社会システム特殊研究Ⅷ	地域社会システム特殊研究Ⅳ 研究指導	地域社会システム特殊研究Ⅴ	
	欧米文化 博士前期課程 (修士課程)	欧米文化研究方法論 行動心理学研究 フランス語学研究 イギリス文学研究(詩・批評) フランス文学研究(近代) 演習	ギリシャ古代哲学研究 精神分析学研究 応用フランス語学研究 イギリス文学研究(小説) フランス文学研究(現代) 演習	ヨーロッパ(近・現代)哲学研究 言語文化研究 ドイツ語学研究 イギリス文学研究(劇) ドイツ文学研究(近代) 演習	ヨーロッパ近代哲学研究 英語学研究 応用ドイツ語学研究 アメリカ文学研究a ドイツ文学研究(現代)	ヨーロッパ民俗学研究 応用英語学研究 イギリス文化研究 アメリカ文学研究b アメリカ文学研究特論	
欧米文化 博士後期課程	欧米文化特殊研究Ⅰ 欧米文化特殊研究Ⅵ	欧米文化特殊研究Ⅱ 欧米文化特殊研究Ⅶ	欧米文化特殊研究Ⅲ 研究指導	欧米文化特殊研究Ⅳ	欧米文化特殊研究Ⅴ		
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション (修士課程)	国際コミュニケーション研究方法論 英語コミュニケーション研究Ⅰa 英語コミュニケーション研究Ⅳ 英語圏文化研究Ⅰb 日本語学研究Ⅰa 日本語コミュニケーション研究b 日中対照言語研究a 日本語教授法Ⅱ 国際関係研究Ⅰa 国際関係研究Ⅲb 多文化間比較研究Ⅱa 多文化間比較研究Ⅳb 国際コミュニケーション研究特講Ⅲ	英語学研究Ⅰa 英語コミュニケーション研究Ⅰb 英語教育学研究Ⅰa 英語圏文化研究Ⅱa 日本語学研究Ⅰb 日本語教育学研究a 日中対照言語研究b 音声学a 国際関係研究Ⅰb 国際関係研究Ⅳa 多文化間比較研究Ⅱb 多文化間比較研究Ⅴa フィールド・ワーク	英語学研究Ⅰb 英語コミュニケーション研究Ⅱa 英語教育学研究Ⅰb 英語圏文化研究Ⅱb 日本語学研究Ⅱa 日本語教育学研究b 言語学特殊講義a(一般言語学) 音声学b 国際関係研究Ⅱa 国際関係研究Ⅳb 多文化間比較研究Ⅲa 多文化間比較研究Ⅴb 演習	英語学研究Ⅱa 英語コミュニケーション研究Ⅱb 英語教育学研究Ⅱ 英語圏文化研究Ⅲ 日本語学研究Ⅱb 日英対照言語研究a 言語学特殊講義b(一般言語学) 日本語論文技術a 国際関係研究Ⅱb 多文化間比較研究Ⅰa 多文化間比較研究Ⅲb 国際コミュニケーション研究特講Ⅰ	英語学研究Ⅱb 英語コミュニケーション研究Ⅲ 英語圏文化研究Ⅰa 言語文化研究 日本語コミュニケーション研究a 日英対照言語研究b 日本語教授法Ⅰ 日本語論文技術b 国際関係研究Ⅲa 多文化間比較研究Ⅰb 多文化間比較研究Ⅳa 国際コミュニケーション研究特講Ⅱ	

名古屋キャンパス

研究科区分		授 業 科 目				
法学研究科	公 法 学 博士後期課程	憲法研究演習 法哲学研究演習	行政法研究演習 欧米政治論研究演習	国際法研究演習	刑事法研究演習	刑事訴訟法研究演習
	私 法 学 博士後期課程	民法研究演習	商法研究演習	民事訴訟法研究演習	国際取引法研究演習	経済法研究演習
経営学研究科	経営学 博士前期課程 (修士課程)	経営学研究方法論特殊講義 国際経営論特殊講義 マーケティング論特殊講義 情報処理論特殊講義 未来情報特殊講義 税務会計論特殊講義 交通論特殊講義 経営学特別講義 経営学原理 経営財務論 都市空間整備論 都市・地域経営論 企業予算管理論 財務会計論 国際経営論 マーケティング戦略論 ファイナンス理論 プログラム論Ⅰ システム最適化の実際 外国文献研究Ⅰ	経営学原理特殊講義 マネジメント理論特殊講義 経営立地論特殊講義 確率モデル特殊講義 財務会計論特殊講義 社会関連会計論特殊講義 消費者行動論特殊講義 外国文献研究 企 業 論 人的資源管理論 都市アメニティ創造論 コミュニティデザイン論 国際会計基準論 社会関連会計論 中国経営論 日本の流通システム デリバティブの数理 プログラム論Ⅱ 生産管理システムの実際 外国文献研究Ⅱ	経営史特殊講義 ファイナンス理論特殊講義 地域社会学特殊講義 統計解析特殊講義 管理会計論特殊講義 流通論特殊講義 誌(マーケティング・コミュニケーション)特 演 習 ビジネス・マネジメント論 人的資源開発論 地域観光経営論 コミュニティガバナンス論 比較会計制度論 環境会計論 中国外資経営論 消費者市場分析 金融システム論 情報処理論 統計による企業分析(理論) 演 習 Ⅰ	企業論特殊講義 労務管理論特殊講義 オペレーションリサーチ特殊講義 情報数理特殊講義 会計監査論特殊講義 国際マーケティング論特殊講義 サービス産業論特殊講義  経営計画論 意思決定の数理 交通空間論 日本の企業会計制度 日本の企業監査制度 多国籍企業論 アジア企業論 マーケティング・コミュニケーション 日本の金融政策 システム監査論 統計による企業分析(実践) 演 習 Ⅱ	アジア企業論特殊講義 生産管理論特殊講義 マネジメントサイエンス特殊講義 経営情報システム論特殊講義 システム監査論特殊講義 金融論特殊講義 中国経営論特殊講義  組織イノベーション論 立地計画論 都市・地域計画論 経営原価計算論 管理会計論 国際戦略論 技術移転論 国際マーケティング 経営情報論 システム内部監査論 未来情報分析
	経営学 博士後期課程	企業論研究演習 オペレーションリサーチ研究演習 金融論研究演習	マネジメント理論研究演習 財務会計論研究演習 中国経営論研究演習	ファイナンス理論研究演習 原価計算論研究演習 コーポレートファイナンス研究演習	マーケティング論研究演習 国際会計論研究演習	経営立地論研究演習 会計監査論研究演習
中国研究科	中国研究 博士前期課程 (修士課程)	中国学総論 a 中国語学研究Ⅰ b 中国文学研究Ⅰ a 中国文学研究Ⅲ b 中国思想研究Ⅱ a 中国民俗学研究 b 中国政治史研究 a 中国社会史研究 b 中国制度史研究 a 中国経済史研究 b 中国経済研究Ⅲ a 中国経済研究Ⅴ b 中国法制研究 a 日中関係研究 a 国際経済研究Ⅱ a 中国政治思想史研究Ⅱ b 中国特殊講義 b	中国学総論 b 中国語学研究Ⅱ a 中国文学研究Ⅰ b 中国文学研究Ⅳ a 中国思想研究Ⅱ b 中国民族学研究Ⅰ a 中国政治史研究 b 日中関係史研究Ⅰ a 中国制度史研究 b 中国経済研究Ⅰ a 中国経済研究Ⅲ b 中国経済地域研究 a 中国法制研究 b 平和学研究 a 国際経済研究Ⅱ b フィールドワーク方法論 a 演 習 a	中国研究方法論 a 中国語学研究Ⅱ b 中国文学研究Ⅱ a 中国文学研究Ⅳ b 中国思想研究Ⅲ a 中国民族学研究Ⅰ b 中国社会学研究 a 日中関係史研究Ⅰ b 中国近隣諸国史研究 a 中国経済研究Ⅰ b 中国経済研究Ⅳ a 中国経済地域研究 b 中国現代政治研究 a 平和学研究 b 中国政治思想史研究Ⅰ a フィールドワーク方法論 b 演 習 b	中国研究方法論 b 中国語学研究Ⅲ a 中国文学研究Ⅱ b 中国思想研究Ⅰ a 中国思想研究Ⅲ b 中国民族学研究Ⅱ a 中国社会学研究 b 日中関係史研究Ⅱ a 中国近隣諸国史研究 b 中国経済研究Ⅱ a 中国経済研究Ⅳ b 中国企業経営研究 a 中国現代政治研究 b 国際経済研究Ⅰ a 中国政治思想史研究Ⅰ b フィールドワーク 中国特殊講義 a	中国語学研究Ⅰ a 中国語学研究Ⅲ b 中国文学研究Ⅲ a 中国思想研究Ⅰ b 中国民俗学研究 a 中国民族学研究Ⅱ b 中国社会史研究 a 日中関係史研究Ⅱ b 中国経済史研究 a 中国経済研究Ⅱ b 中国経済研究Ⅴ a 中国企業経営研究 b 日中関係研究 a 国際経済研究Ⅰ b 中国政治思想史研究Ⅱ a 中国特殊講義 a
	中国研究 博士後期課程	現代中国学特殊研究Ⅰ 中国文化特殊研究Ⅲ 中国文化特殊研究Ⅶ 中国政法特殊研究Ⅲ 中国経済特殊研究Ⅳ 中国経済特殊研究Ⅸ 日中関係特殊研究Ⅴ 中国環境特殊研究Ⅳ 中国現地研究	現代中国学特殊研究Ⅱ 中国文化特殊研究Ⅳ 中国文化特殊研究Ⅸ 中国政法特殊研究Ⅳ 中国経済特殊研究Ⅴ 日中関係特殊研究Ⅰ 日中関係特殊研究Ⅵ 中国環境特殊研究Ⅴ 研究演習	現代中国論特殊研究Ⅰ 中国文化特殊研究Ⅴ 中国近隣諸国史特殊研究Ⅰ 中国経済特殊研究Ⅰ 中国経済特殊研究Ⅵ 日中関係特殊研究Ⅱ 中国環境特殊研究Ⅰ 中国環境特殊研究Ⅵ	中国文化特殊研究Ⅰ 中国文化特殊研究Ⅵ 中国政法特殊研究Ⅰ 中国経済特殊研究Ⅱ 中国経済特殊研究Ⅶ 日中関係特殊研究Ⅲ 中国環境特殊研究Ⅱ 研究特論Ⅰ	中国文化特殊研究Ⅱ 中国文化特殊研究Ⅶ 中国政法特殊研究Ⅱ 中国経済特殊研究Ⅲ 中国経済特殊研究Ⅶ 日中関係特殊研究Ⅳ 中国環境特殊研究Ⅲ 研究特論Ⅱ





特別課程

課程区分	授 業 科 目			
<p>教職課程 (学部)</p>	<p>学校教師入門 学校問題の法規・行政史研究 授業コミュニケーション論(言語系) 授業構成法(国語) 授業構成法演習(中国語) 授業構成法(社会系・公民分野) 授業構成法演習(商業) 教育コミュニケーション研究Ⅲ(生徒指導) 臨床ケーススタディ(児童・少年期)</p>	<p>学校文化論 生涯学習社会論 授業コミュニケーション論(社会系) 授業構成法演習(国語) 外国語としてのドイツ語 授業構成法演習(社会) 授業構成法演習(情報) カウンセリング研究 精神分析学</p>	<p>教育文化の分析 教育実践の心理学 授業コミュニケーション論(商業) 授業構成法(英語) 外国語としてのフランス語 授業構成法演習(社会系・地歴分野) 教育コミュニケーション研究Ⅰ(道徳) 思春期精神医学 教育実習</p>	<p>教育問題の思想史研究 発達心理学 授業コミュニケーション論(情報) 授業構成法演習(英語) 授業構成法(社会系・地歴分野) 授業構成法演習(社会系・公民分野) 教育コミュニケーション研究Ⅱ(特別活動) 性格心理学 教育実践演習(中・高)</p>
<p>司書課程</p>	<p>生涯学習概論 図書館サービス論 資料組織法Ⅱ演習 レファレンスサービス演習 専門資料論 専門資料論特講Ⅱ &lt;司書教諭&gt; 読書と豊かな人間性</p>	<p>図書館概論Ⅰ 資料組織法Ⅰ 児童サービス論 情報管理論 図書館資料論特講Ⅰ 専門資料論特講Ⅲ 学校経営と学校図書館 情報メディアの活用</p>	<p>図書館概論Ⅱ 資料組織法Ⅱ 図書及び図書館史 情報検索演習 情報機器論 専門資料論特講Ⅳ 学校図書館メディアの構成</p>	<p>図書館経営論 資料組織法Ⅰ演習 情報サービス概説 図書館資料論 専門資料論特講Ⅰ  学習指導と学校図書館</p>
<p>博物館 学芸員課程</p>	<p>生涯学習概論Ⅰ 博物館学各論Ⅱ 教育学概論 (文化史関係) (美術史関係) (考古学関係) (民俗学関係) (地学関係)</p>	<p>生涯学習概論Ⅱ 博物館実習Ⅰ 日本文化史Ⅰ 現代アジアの生活文化Ⅱ 芸術史(東洋) 書画論Ⅱ 日本考古学Ⅰ アジア考古学Ⅱ 日本民俗学Ⅰ 現代フォークロア方法論 地球環境科学Ⅰ</p>	<p>博物館概論 博物館実習Ⅱ 日本文化史Ⅱ ヨーロッパの文化Ⅰ 芸術史(西洋) 民具・民芸論 日本考古学Ⅱ 日本民俗学Ⅱ 地球環境科学Ⅱ</p>	<p>博物館学各論Ⅰ 視聴覚教育 現代アジアの生活文化Ⅰ 書画論Ⅰ 民族芸術論 アジア考古学Ⅰ 欧米の民俗学</p>
<p>社会教育 主事課程</p>	<p>生涯学習概論Ⅰ 社会教育演習Ⅰ (特講Ⅰ関係) (特講Ⅱ関係) (特講Ⅲ関係)</p>	<p>生涯学習概論Ⅱ 社会教育演習Ⅱ コミュニケーション論 ライフ・コースの社会学 キャリア発達論 図書館概論Ⅰ 博物館学各論Ⅰ ネットワークコミュニケーション マス・コミュニケーション論 生涯学習社会論 文化の社会学</p>	<p>社会教育計画Ⅰ 社会教育演習Ⅲ 社会行動論 高齢者生活論 図書館概論Ⅱ 博物館学各論Ⅱ 情報社会論 福祉社会学 教育学概論</p>	<p>社会教育計画Ⅱ 社会教育演習Ⅳ ソーシャル・ネットワーク論 現代社会論 博物館概論 視聴覚教育 ケアの社会学 平和研究</p>

文学部

人文社会学科 教授

秋山 公男
①東北大学教育学部 同大学院 文学修士②日本近代文学/夏目漱石③日本近代文学基礎演習、日本語学・文学演習、日本近代文学史

浅野 俊夫
①慶應義塾大学文学部 同大学院 文学博士②実験心理学、行動分析学③生理・行動基礎および応用、心理学基礎実験、比較心理学、行動分析学用

有蘭 正一郎
①立命館大学文学部 同大学院 文学博士②地理学、日本における農耕技術の地域性と共通性の研究③地理学講義、歴史地理学、地理学演習

伊集院 利明
①早稲田大学第一文学部 東京大学大学院 修士(文学)②哲学、ソクラテス、プラトン哲学、アリストテレス倫理学。出会いの構造。死。生の意味③西洋哲学演習、ギリシア哲学講義、西洋哲学概論、ギリシャ語

伊東 利勝
①成城大学経済学部 同大学院 経済学修士②経済史。コンバウン王朝マンマーの農村社会/民衆運動史/東南アジア大陸部古代史③アジア史基礎講義、アジア史演習、アジア近現代史論

宇佐美 一博
①大阪外国語大学外国語学部 大阪大学大学院 文学修士②中国哲学、春秋学の成立と展開/中国における懷疑論について/中国哲学における基礎概念の成立と展開③東洋哲学演習、東洋哲学基礎演習、漢文学

漆谷 広樹
①明治大学文学部 専修大学大学院 東北大学大学院 博士(文学)②日本語学。日本語構成の研究③日本語学概論、日本語史、日本語学演習

海老澤 善一
①京都大学文学部 同大学院 文学修士②哲学/ヘーゲル哲学③哲学、論理学、西洋哲学演習、西洋哲学特殊講義、西洋哲学基礎演習、キリスト教とヨーロッパ

櫻村 愛子
①京都府立大学文学部 東京大学大学院 社会学修士②精神分析理論(ラカン派)による現代社会分析、現代文化分析。臨床社会学、カルチュラル・スタディーズ他③精神分析学、福祉社会学、社会学演習、社会調査実習

片岡 邦好
①南山大学文学部 アリゾナ大学大学院 Ph.D.②社会言語学・人類言語学③英語、英語学、英語学演習、英語学特殊講義、英語学基礎演習、入門講義

交野 正芳
①関西学院大学社会学部 同大学院 文学修士②社会学。社会的差異と共同性について③コミュニティ政策論、都市社会学、社会調査実習、社会学演習

神谷 智
①名古屋大学文学部 同大学院 博士(歴史学)②日本近世近代史、記録史料学③日本史概説、日本史演習

木之下 隆夫
①愛知学院大学文学部 同大学院 文学修士 京都大学大学院②学校臨床、臨床心理学、心理療法学、病院心理臨床③心理療法、臨床ケーススタディ

小山 澄夫
①東京大学文学部 同大学院 文学修士②中国古典文学。③中国文学演習、中国文学講義、中国文学概論、日中比較文学

Simon George Sanada
①ケンブリッジ大学 フィッツウィリアムカレッジ M.A.(Cantab)②18世紀以後の英文学。イギリスロマン派の詩およびその社会的背景③英語、イギリス文学、イギリス文学基礎演習、英会話・作文(上級)、英米文学講義、Creative Writing、英米文学演習、イギリス文学特殊講義、イギリス文学演習

沢井 耐三
①金沢大学法文学部 東京大学大学院 文学修士②日本古典文学。中世物語および連歌・古俳諧の研究③日本古典文学史、日本古典文学概論、日本古典文学演習、日本古典文学講義

鈴木 康志
①静岡大学人文学部 筑波大学大学院 文学修士②ドイツ語学。ドイツ語における体験話法/ドイツ語における命令・要求表現/物語論③ドイツ語学概論、ドイツ語文法論、ドイツ文学演習

鈴木 立子
①東京女子大学 東京教育大学大学院 文学修士②中国史。元朝史③アジア諸国史特殊講義、東洋史演習

Serge Giunta
①パリ第10大学文学士②フランス語教育法。視覚聴覚法によるフランス語教育/フランス現代文学の動向/ヨーロッパ連合研究③フランス語基礎演習、フランス語会話・作文

武田 圭太
①慶應義塾大学文学部 同大学院 社会学修士②産業・組織心理学、社会心理学。生涯キャリア発達論一働きとをとおした人間の発達・成長・社会化・個性化の過程/「UJターン現象」/海外・帰国子女のキャリア発達/「共働き夫婦のキャリア」/「ふるさと」の心象と定住願望③社会心理学、キャリア発達論、福祉・労働政策論、社会学演習、社会調査データ分析法、社会調査実習

玉井 力
①名古屋大学文学部 同大学院 文学修士②日本古代史。平安時代政治史③日本史演習、日本史講義、日本社会史特殊講義

土屋 洋二
①東京外国語大学 京都大学大学院 文学修士②ドイツ文学(近代)。19・20世紀のドイツ抒情詩(A.v.ドロス テ=ヒュルスホフ、H.ハイネ、プレヒト、フーヘル)③ドイツ文学史、ドイツ文学講義、欧米文学史概論

時実 象一
①東京大学理学部 同大学院理学系大学院 理学博士②図書館情報学。情報検索③情報文化論、情報管理、図書館概論

永瀬 美智子
①新潟大学人文学部 お茶の水女子大学大学院 文学修士②アメリカ文学。トニ・モリソンを中心とした現代アメリカ黒人文学③英語、英米文学演習、アメリカ文学基礎演習、アメリカ文学特殊講義、アメリカ文学演習

樋口 義治
①慶應義塾大学文学部 同大学院 文学博士②心理学/行動科学。健康行動/ヒトの行動分析③心理学、心の働き、動物行動学、心理学基礎実験、行動心理学

藤田 佳久
①愛知大学文学部 名古屋大学大学院 理学博士②地理学。土地利用の地域形成論とその実証的研究/山地・山村の総合的研究/東亜同文書院の中国研究に関する研究/イギリス地域研究/地域整備と地域計画研究③地理学基礎演習、社会経済地理学特殊講義、地理学研究法、地理学野外演習

三野 豊浩
①東京大学文学部 同大学院 文学修士②中国古典文学。唐宋の詩および詞の研究③中国古文講義、中国文学史、中国文学演習、初級中国語

山田 邦明
①東京大学文学部 同大学院 博士(文学)②日本中世史③日本史講義、日本史演習

和田 明美
①県立高知女子大学文学部 名古屋大学大学院 博士(文学)②日本語学。古代日本語の助詞と助動詞の研究/源氏物語の表現(文法と意味)の研究③日本語学基礎演習、日本語学演習、日本語学講義

渡邊 正
①愛知教育大学教育学部 東北大学大学院 教育学修士②地域社会学/教育社会学/環境社会学。流域社会の変容と地域問題/高等教育改革③社会調査法、生涯学習社会論、社会学演習、現代社会論

准教授

白田 真佐子
①東京外国語大学外国語学部 お茶の水女子大学大学院 文学修士②中国語学(音韻・文字)。清代古音学と『説文解字』に関する研究。③中国古文講義、中国語学概論、中国文学演習、中国語

加藤 一己
①京都大学文学部 同大学院 文学修士②理論社会学。G.H.ミードの理論を社会思想史の中に位置づけ、現代自然科学とも関連させつつ解明する。③コミュニケーション論、自我論、社会学演習、ライフ・コースの社会学、社会調査実習

鎌倉 利光
①千葉大学文学部 東京学芸大学大学院 教育学修士 慶應義塾大学大学院 博士(教育学)②発達心理学・パーソナリティ心理学・臨床心理学③発達心理学、性格心理学、教育実践の心理学。カウンセリング研究、心理アセスメント

河合 まゆみ
①富山大学人文学部 名古屋大学大学院 文学修士②ドイツ文学。ドイツ近代小説③ドイツ文学演習、ドイツ文学講義、ドイツ文学概論、ドイツ文学特殊講義

小島 基洋
①慶應義塾大学文学部 ダブリン大学トリニティーカレッジ M.Phil. 京都大学大学院 博士(文学)②英文学③英米事情、地域文化研究

下野 正俊
①慶應義塾大学文学部 同大学院 文学修士(文学)②哲学/カントを中心とする近現代ドイツ哲学③西洋哲学演習、西洋哲学講義、西洋哲学史、西洋哲学特殊講義、倫理学概論、応用倫理学概論

土屋 葉
①千葉大学文学部お茶の水女子大学大学院 博士(社会科学)②家族社会学・障害学/障害をもつ人と家族関係③家族と社会、家族関係論、ケアの社会学、逸脱行動論、社会調査実習、行動社会学演習

長井 千秋
①島根大学法文学部 大阪大学大学院 博士(文学)②中国社会経済史、中国財政史/宋代経済史、南宋時代の財政・軍事③アジア史基礎講義、アジア史基礎演習、アジア史演習、アジア近世史論

中尾 充良
①名古屋大学文学部 同大学院 文学博士(ニース大学)②フランス文学。近現代詩(ランボー、セザンヌ)③フランス文学演習、フランス文学史

山本 昭
①慶應義塾大学工学部 同大学院 工学修士 文学修士②図書館情報学。情報検索、分類・索引、ターミノロジー③図書館情報学講義、専門コミュニケーション、知識組織法

助教

井藤 寛志
①信州大学教育学部 教育学士 名古屋大学大学院 情報科学研究科 博士(学術)②認知科学/認知心理学③認知心理学、認知心理学、生理心理学、心理学基礎実験、心理学演習、心理学プログラミング演習

加島 大輔
①山形大学教育学部 東京大学大学院 修士(教育学)②日本教育史・教員養成/明治期を中心とした教員養成史・教員史研究、教員養成制度③教育問題の思想史研究、教育文化の分析、教育問題研究

助教(嘱託助教Ⅱ)

Loic Renoud
①ジャン・モネ大学芸術学言語学部 修士③入門フランス語、フランス事情

# 経済学部

## 教授

### 阿部 聖

①中央大学商学部  
同大学院 商学修  
士②日本経済史(近  
現代)。日本エネル  
ギー産業史/東海  
地域産業史/空襲  
史③日本経済史、地  
域経済史、比較経  
済史

### 李 泰王

①慶北大学校経商  
大学 大阪市立大  
学大学院 博士  
(経済学)②アジア  
経済・経営論/自  
動車産業と多国籍  
企業の研究③韓国  
経済論、アジア比  
較経済論

### 伊藤 勲

①明治学院大学文  
学部 同大学院  
文学修士②英国唯  
美主義文学③英語

### 伊藤 靖徳

①南山大学経済学  
部 経済学修士②中  
小企業論/地域産  
業集積構造/中小  
地域金融③中小企  
業論、地場産業論

### 岩崎 正弥

①京都大学農学部  
同大学院 博士  
(農学)②地域経  
済、地域づくりに関  
する総合的研究/  
中山間地域経営論  
③地域経済論

### 印南 敏秀

①武蔵野美術大学  
造形学部 文学士  
②日本民俗学/日本  
民具学。物質文化を  
中心とした入浴・食  
文化論/里海論③  
民俗論、民具論、博  
物館概論

### 大澤 正治

①慶應義塾大学商  
学部②環境、エネ  
ルギー/環境制  
約、資源制約が強  
まる時代の社会と  
経済③環境経済  
学、環境・エネル  
ギー政策論、非営  
利経済論

### 小津 秀晴

①茨城大学理学部  
神戸大学大学院  
名古屋大学大学院  
理学博士②理論物  
理学(素粒子論)。  
場の量子論の位相  
幾何学的構造③物  
質の科学、現代技  
術と社会、宇宙の  
科学、現代科学技  
術論

### 桂 秀行

①一橋大学経済学  
部 同大学院  
Ph.D.②ヨーロッパ  
中世社会経済史。  
領土制の形成と展  
開(地中海地方の  
地域研究)③経済  
史、西洋経済史

### 沓掛 俊夫

①京都大学理学部  
同大学院 理学  
博士②地球科学。  
大陸地殻の形成  
史/鉱物科学史  
③地球の科学、科  
学技術史

### 國崎 稔

①桃山学院大学経  
済学部 神戸商科  
大学大学院 経済  
学修士②経済政策  
/不完全競争下の  
租税調和化、地域  
間移転と地方公共  
財問題、寡占市場  
での租税滞着③経  
済政策

### 栗原 裕

①南山大学外国語  
学部 神戸大学大  
学院 経営学修士  
②国際貿易、欧州  
経済・通貨統合、国  
際金融の理論・制  
度・実証的研究③  
国際経済学

### 桑島 由美子

①東京女子大学文  
理学部 筑波大学  
大学院 国際学修  
士 一橋大学大  
学院②東アジア地  
域研究。中国近代  
文学と文化研究③  
国際文化研究④中  
国語、中国文学演  
習、専門演習

### 小林 慎哉

①埼玉大学教養学  
部 早稲田大学大  
学院 経済学修士  
②日本経済の実証  
分析/為替レート  
決定の実証研究③  
計量経済学Ⅰ・Ⅱ、  
経済データ分析

### 佐藤 元彦

①慶應義塾大学経  
済学部 広島大学  
大学院 国際学修  
士②発展途上国経  
済論。貧困緩和・解  
消の政治経済学/  
マイクロ・ステート  
の経済学③発展途  
上国経済論、国際  
開発論、国際政治  
経済学、アジア太  
平洋経済論

### 蔣 湧

①中国上海海運学  
院基礎学部数学科  
筑波大学大学院  
博士(経営工学)②  
確率過程論、デー  
タ工学、データベ  
ース/空間情報シ  
ステムの開発と研究  
③情報システム構  
築論

### 竹内 晴夫

①山口大学経済学  
部 東京大学大  
学院 博士(経済学)  
②経済原論。貨幣・  
金融システムの研  
究③経済原論、資  
本主義経済論

### 田中 良明

①大阪市立大学経  
済学部 同大学院  
経済学修士②社会  
思想史。社会運動  
の諸思想/20世紀  
の意味③現代社会  
思想史、西歐近代  
社会思想史

### 沈 徹

①早稲田大学政治  
経済学部 同大学  
院 経済学修士②  
国際マクロ経済  
学。為替レートの  
動学理論/輸出企  
業の市場別価格設  
定行動③金融論、  
国際金融論

### 中川 清

①同志社大学経済  
学部 同大学院  
経済学修士②経済  
学原理論。資本主義  
経済機構の理論的  
研究③経済原論、資  
本主義経済論

### 中崎 温子

①立命館大学文学  
部 マックオリー  
大学大学院 文学  
修士②日・英語対  
照研究。異文化コ  
ミュニケーションと  
日本語教育③日本  
語(留学生)、日本語  
教育法、日本語学

### 新井野 洋一

①順天堂大学体育  
学部 同大学院  
体育学修士②ス  
ポーツ経済・社会  
学/スポーツマネ  
ジメント論/健康  
行動論/高齢者生  
活論③体育実技、  
スポーツ文化論、  
スポーツ経済・社  
会学・健康行動論、  
高齢者生活論、社  
会研修、演習

### 早川 勇

①愛知県立大学文  
学部 エクセター  
大学大学院 言語  
文化学博士(大阪  
大学)②応用言語  
学。英語辞書史/  
日英語の対照研究  
/英語に入った日  
本語③英語

### 保住 敏彦

①京都大学教育学  
部 同大学院(経  
済学研究科) 経済  
学博士②経済学  
史、ドイツ社会  
国家の思想と現実/  
ドイツと日本の労  
働市場・社会保障  
の比較③経済学史  
Ⅰ、経済学史Ⅱ

### 宮入 興一

①埼玉大学文理学  
部 大阪市立大学  
大学院 経済学修  
士②財政学・地方財  
政論/災害の政治  
経済学、開発政策  
と国・地方財政、維  
持可能な社会の国・  
地方の税財政、日  
本租税論研究③財  
政学、地方財政学

### 宮沢 哲男

①東京教育大学理  
学部 同大学院  
理学修士②地理  
学。水収支論(河  
川・地下水の収支  
と循環)/水質汚  
濁③地理学、自然  
環境と地理

### 森 久男

①名古屋市立大学  
経済学部 東京大  
学大学院 農学博  
士②中国経済史。  
蒙疆政権の研究/  
興安省の研究③近  
代中国経済史、中  
国のアジア太平洋  
政策、時事中国語

### 藪内 繁己

①神戸商科大学商  
経学部 同大学院  
経済学研究科 経  
済学博士②経済理  
論、国際経済学/  
ミクロ経済学の国  
際貿易への応用  
に関する研究、国際  
貿易と生産要素移  
動の経済分析③ミ  
クロ経済学、マク  
ロ経済学

### 李 春利

①上海外国語大学  
日語系 東京大学  
大学院 博士(経  
済学)②中国経済  
論、国際産業論、低  
炭素経済と低炭素  
交通/中国の経済  
発展とエネルギー・  
環境問題/新興国  
(BRICs) 経済と日  
本。③中国経済論、  
中国産業概論、東  
アジアの自動車産  
業、外国書講読

### 渡辺 和敏

①法政大学文学部  
同大学院 博士  
(文学)②日本近  
世社会史。日本近  
世社会史/日本交  
通史③歴史学、生  
活文化史、日本交  
通経済史、地域経  
済史

## 准教授

### 井口 泰秀

①京都大学経済学  
部 同大学院 修  
士(経済学)②計  
量経済学、経済時  
系列分析/マクロ  
経済統計の特性  
分析③経済統計  
学、経済数学(代  
数)(微積)

### 打田 委千弘

①立命館大学経済  
学部 同大学院  
博士(経済学)②  
応用計量経済学/  
金融市場に関する  
実証分析/生産関  
数に関する実証分  
析③実証経済分析

### 葛谷 登

①一橋大学社会学  
部 同大学院 社  
会学修士②中国宗  
教思想史/中国語  
表現文法/東洋と  
キリスト教③中国  
語、中国文学講読

### 小林 弥生

①名古屋大学経済  
学部 同大学院  
博士(経済学)②  
理論経済学・公共  
経済学。家族の経  
済学/家族に対す  
る公共政策③マ  
クロ経済学、ミ  
クロ経済学

### 清水 伸子

①名古屋大学文学  
部 同大学院 文  
学修士②ロシア語  
学。談話レベルで  
の動詞に係わる現  
象③ロシア語

### 杉浦 裕晃

①名古屋大学大  
学院・博士(経済学)  
②労働経済学/失  
業、サービ理論、雇  
用と賃金の地域間  
格差、地域間労働  
移動③日本経済論

### 西村 正広

①日本福祉大学社  
会福祉学部 同大  
学院 社会学修士  
②社会福祉方法論  
/地域保健福祉計  
画論③社会福祉理  
論、社会保障論、社  
会政策

### 三川 克俊

①早稲田大学第一  
文学部 同大学院  
英国レディング大  
学大学院 教育学  
修士 応用言語学  
MA②応用言語学  
(英語教育、異文化  
語用論)③英語、  
Current English

### 湯川 治敏

①筑波大学体育専  
門学群 同大学院  
修士(体育科学)②  
スポーツ工学/ス  
ポーツバイオメカ  
ニクス、スポーツ  
サーフェスの緩衝  
特性、ヒューマン・  
フィギュアアニメ  
ーション、モーション  
データベース③コ  
ンディショニング、  
生涯スポーツ、健  
康・スポーツ情報  
論、スポーツ科学、  
マルチメディア表  
現

## 助教

### 生原 匠

①京都産業大学工  
学部、神戸大学大  
学院国際協力研究  
科 神戸大学博士  
(経済学)②経済理  
論/税制改革の経  
済分析、環境政策  
の経済分析、貿易  
政策の経済分析③  
公共経済学

- ①出身学校・学位
- ②専門分野/  
研究テーマ
- ③主な担当科目

教  
学  
専  
任  
教  
員

国際コミュニケーション学部

国際コミュニケーション学部  
教授

**Ivan Cosby**  
①アイルランド・ダブリン大学 同大学院 Master of Arts (M.A.) ②西欧人道主義のキリスト教と労働組合に与える衝撃 ③ British History、ラテン語、英会話

**荒川 清秀**  
①大阪市立大学文学部 同大学院 博士(文学) ②中国語学/日中比較語学/現代中国語の文法と語彙/日中共通の漢語の歴史的研究、日中漢語語基の比較 ③言語文化論、基礎中国語

**Jon Blundell**  
①ロンドン大学 イースト・アングリア大学大学院 エセックス大学大学院 Master of Arts (M.A.) ②コミュニカティブ英語教授法。特に日本人大学生に関する学習様式 ③英会話、英作文、英語発音練習

**田本 健一**  
①都留文科大学文学部 上智大学大学院 博士(文学) ②英語学/中世文学。アングロ・サクソン福音書における語彙。英語コミュニケーション学。③英語の歴史、Business English、英作文、English Grammar

**張 筱平**  
①南開大学中国語文学部 ②異文化コミュニケーション ③基礎中国語、口語中国語、コミュニケーション中国語

**塚本 鋭司**  
①早稲田大学第二文学部 西イリノイ大学大学院 シラキュース大学大学院 Ph.D.(教育社会学) ②英語教育学。異文化間コミュニケーション/アメリカ文化研究 ③Mass Media English、American History、国際フィールドワーク(アメリカ)

**塚本 倫久**  
①駒澤大学文学部 同大学院 修士(英文学) ②英語学。現代英語の語法研究/コーパス言語学 ③英語学概論、英作文

**Thomas Michael Gross**  
①マルブルク・フリッブス大学大学院 博士(日本語学) ②言語学・コミュニケーション心理学 ③言語学概論Ⅰ・Ⅱ、英会話

**Benab-derrahmane Lahcene**  
①INSTITUT NATIONAL du PETROLE ALIANCE FRANCAISE de PARIS(修士) 石油精製と石油化学におけるステイトエンジニア(博士)・フランス国外に於けるフランス語教育者資格免状 ②フランス語教育。外国語としてのフランス語教育法 ③コミュニケーションフランス語、口語フランス語、フランス語会話入門

准教授

**Angus MacIndoe**  
①オックスフォード大学 (University College) Master of Arts (M.A.) ②古代史及び哲学。英国の方言及び話し方のパターン/英文学におけるスポーツのテーマ/古代ギリシャ文化との関連 ③古典ギリシャ語、英作文、英会話

**磯野 徹**  
①甲南大学文学部 英国 ESSEX 大学大学院 Ph.D. in Language and Linguistics 博士(言語学) ②応用言語学 ③Intensive Reading II、英語音声学、Practical English、Advanced English I

**塩山 正純**  
①関西大学文学部 同大学院 博士(文学) ②近代中国語研究/近代西洋人による中国語研究と異文化翻訳 ③入門中国語、基礎中国語、中国語テキスト講義

助教(外国語専任助教Ⅱ)

**Andrew Kean**  
①グェルフ大学 ニューイングランド大学大学院 ③英会話、英作文

**Carolyn E. Fish**  
①ウェールズ大学 同大学院 Master of Arts (M.A.) ③英会話、英作文

**Sian Davis Edwards**  
①西イングランド大学 ウェールズ大学 インスティテュート・カーディフ MA (Ceramics) ③英会話、英作文

比較文化学科  
教授

**垣内 伸彦**  
①名古屋大学理学部 同大学院 理学修士 ②数学(トポロジー)。微分方程式の定性的性質 ③演習、情報処理、数理学、統計学入門、総合情報演習

**河野 眞**  
①京都大学文学部 同大学院 博士(文学) ②比較文化/ヨーロッパ民俗学/観光研究/多文化共生研究/巡礼研究 ③比較文化入門、現代フォークロア方法論、総合ドイツ語

**周星**  
①西北大学歴史学科 中国社会科学院大学院 博士(民族学) ②民俗学。民俗学(生活文化論)/日中比較文化、アジアの諸文化 ③生活文化論、現代日本の生活文化、遺跡の世界、比較文化フィールド・ワーク

**鈴木 規夫**  
①上智大学文学部 中央大学大学院 法学修士 成蹊大学大学院 博士(政治学) ②政治哲学/国際関係論/イスラーム研究/平和研究 ③国際文化関係論、平和研究、イスラーム世界論、政治学、宗教学、演習等

**鈴木 秀治**  
①東京大学文学部 同大学院 文学修士 ②比較文学比較文化/近現代フランス文学 ③比較文化論(比較文学)、日本文化史、基礎フランス語、演習

**高橋 貴**  
①国際基督教大学 教養学部 教養学士 ②文化人類学/民族工芸論/南インドの手工芸 ③民族芸術論、博物館展示論、文化人類学入門

**高原 隆**  
①滋賀大学経済学部 ニューヨーク州立大学大学院(人類学修士) インディアナ大学大学院 Ph.D.(Folklore) ②アメリカン・フォークロア/記号論/人類学。人間のアイデンティティと身体と場所の関係、鬼師の世界 ③アメリカの文化、欧米の民俗学、欧米の生活文化

**名和 聖高**  
①静岡大学人文科学部 社会科修士 ②国際ビジネス実務/国際商取引契約/国際商事仲裁 ③国際ビジネス入門、国際ビジネス論Ⅰ・Ⅱ

**新形 信和**  
①東京外国語大学 外国語学部 京都大学大学院 文学修士 ②比較思想/比較文化論。「無」の概念あるいは死生観の相違を通して日本と西欧との精神の構造化の差異を明らかにすること ③比較文化論(比較思想)、日本人と思想、基礎ドイツ語、演習

**新津 嗣郎**  
①京都大学文学部 同大学院 文学修士 ②近代以後のドイツ叙情詩。Gunter Eichの叙情詩およびラジオドラマ研究/日本とドイツの昔話 ③ヨーロッパの文化Ⅰ・Ⅱ、基礎ドイツ語、演習

**浜本 正文**  
①京都大学文学部 同大学院 文学修士 ②フランス文学。マルセル・ブルーストからボリス・ヴィアーンまで ③ヨーロッパの文化Ⅰ・Ⅱ、基礎フランス語

**樋野 芳雄**  
①一橋大学社会学部 同大学院 社会学修士 ②国際関係学/社会学。現代国際政治・思想の変容/近代化・現代化、産業・経営・労働をめぐる諸問題 ③国際政治論入門、国際政治論Ⅰ・Ⅱ、社会学

**片 茂永**  
①建国大学日本語教育学科 筑波大学大学院 文学博士 ②民俗学。アジアの蓮華文化論 ③韓国の文化、アジアの伝承文化、国際フィールドワーク、基礎韓国・朝鮮語

**広木 詔三**  
①東北大学理学研究科 理学博士 ②森林生態学/ブナ科の生態学的研究・火山植生の遷移・里山の雑木林 ③生物学・生態学・地球環境問題

**山本 雅子**  
①南山大学外国語学部 京都大学大学院 博士(人間・環境学) ②認知言語学、日本語教育学/認知言語学的観点から日本語の言語現象を解明する ③日本語、日本語学、日本語教育学

准教授

**加納 寛**  
①名古屋大学文学部 同大学院 博士(歴史学) ②東洋史(タイ文化史)。タイの都市における日常生活文化の変化/タイの文化政策 ③現代アジアの生活文化Ⅱ、比較文化フィールド・ワーク、基礎タイ語

**Natasha C. Vaubel**  
①インディアナ大学 Ph.D ②アメリカ文化研究 ③現代アメリカ事情、アメリカの文化Ⅱ、外国書ゼミⅡ、Reading I

助教(外国語専任助教Ⅱ)

**Jean Marie Simonian**  
①ウィートン大学 インディアナ大学 修士 ③英会話、英作文

# 法学部

## 教授

### 浅尾 仁

①横浜国立大学経済学部 京都大学大学院 経済学修士②比較経済体制論/ルーマニア経済③市場経済とくらし、国民所得とくらし

### 大川 四郎

①名古屋大学法学部 同大学院 法学修士 ジュネーブ大学大学院 D.E.S.(法制史)②西洋法制史③西洋法制史、日本近代法制史、社会思想史

### 大林 文敏

①愛知大学法経学部 同大学院 法学修士 博士(法学)(九州大学)②憲法学/アメリカ最高裁判所論③憲法・統治機構

### 加藤 錠治

①名古屋大学大学院教育学研究科、教育学博士②教育社会史③学校教師入門、学校文化論、教育文化の分析、教育実習

### John Hamilton

①オックスフォード大学 Master of Arts (M.A.)②PPE (Politics, Philosophy, Economics)③コミュニケーション英語、近代アジアと欧米

### 杉浦 市郎

①京都大学法学部 同大学院 法学修士②経済法。ドイツ経済法とEU経済法③経済法、消費者保護法

### 田中 正人

①京都大学法学部 同大学院 法学修士②フランス政治・政治史③政治学、欧米政治論

### 常石 希望

①四国学院大学文学部 関西学院大学大学院 文学修士②韓国語学/日本語母国語者に対する韓国語教育法/韓国キリスト教史③韓国・朝鮮語入門・基礎・発展

### 鄭 高咏

①北京第二外国語大学 昭和女子大学大学院 文学修士②文章論。日中対照研究③中国語入門・基礎・応用・発展・演習

### 中尾 浩

①青山学院大学文学部 中央大学大学院 文学修士 パリ第10大学第三課程D.E.A(言語科学)②フランス語、コーパス言語学/語彙構造論③フランス語入門・応用・発展、情報リテラシー

### 長峯 信彦

①早稲田大学法学部 同大学院 修士(法学)②憲法/英米法③憲法・基本的人権、憲法とくらし

### 西野 基継

①京都大学法学部 同大学院 法学修士②法哲学。現代自然法論/法存在論/人間の尊厳論③法哲学、法思想史

### 広瀬 裕樹

①名古屋大学法学部 同大学院 法学修士②商法、保険法③商法総則、商取引法、保険法、手形法、小切手法

### 村瀬 智彦

①金沢大学教育学部 同大学院 筑波大学大学院 教育学修士 博士(体育科学)②体育測定評価論、トレーニング論③健康と運動の科学、身体とコンディショニング、ヘルスエクササイズ

## 准教授

### 入江 容子

①同志社大学法学部 同大学院 博士(政策科学)②地方自治制度、自治体の組織と政策③地方自治論、公共政策論

### 北尾 泰幸

①京都外国語大学 外国語学部 大阪大学大学院 博士(言語文化学)②理論言語学/統語論、生成文法理論③論説英文講読、TOEIC

### 木村 義和

①関西学院大学法学部 同大学院 博士(法学)②民法(契約法)/フランス法、家族法、相続法、民法総論

### 小坂 敦子

①同志社大学文学部 ハワイ大学大学院 Ph.D.(教育学)②英語教育・教育学③論説英文講読、表現英語、特別基礎英語、英語演習

### 小林 真紀

①上智大学法学部 同大学院 法学修士 パリ第一大学第三課程D.E.A.(国内公法)②フランス法、ヨーロッパ法③外国法、比較法

### 鈴木 清貴

①明治大学法学部 慶應義塾大学大学院 修士(法学)②民法/代理、使用者責任、他人の行為についての責任③債権法、不法行為法、担保物権法

### 専田 泰孝

①早稲田大学法学部 同大学院 修士(法学)②刑法/具体的事実の錯誤③刑法

### 多田 哲也

①上智大学文学部 同大学院 修士(文学)②英語学/言語学/イギリス文化。イギリスの言語思想/文法理論③論説英文講読、言語と人間

### 永戸 力

①龍谷大学法学部、京都大学大学院 法学研究科(修士)②行政学/行政改革、社会保障政策③行政学、現代日本政治論

### 松井 吉光

①名古屋大学大学院 理学研究科素粒子・宇宙物理学専攻 博士(理学)②物理(素粒子論)/現象論(重いクォークを含むハドロンとニュートリノについて)③現代科学の諸問題、統計、情報リテラシー

### 緑 大輔

①一橋大学法学部 同大学院 博士(法学)②刑事法学/対物強制処分、未決拘禁③刑事訴訟法、法律学特殊講義

### 李 秀窓

①東呉大学法学部 東北大学大学院 博士(法学)②商法/自己株式の取得、コーポレート・ガバナンス③会社法

## 助教

### 上杉 めぐみ

①明治学院大学法学研究科博士後期課程修了・博士(法学)②民法、消費者法/情報提供義務③債権法Ⅰ、物権法Ⅰ、契約法Ⅱ

### 金井 幸子

①獨協大学法学部 名古屋大学大学院 博士(法学)②労働法/労働条件変更・解雇③労働法Ⅰ・Ⅱ

### 田中 清久

①東北大学法学部 同大学院 博士(法学)②国際法/国際組織法、国際責任法、国際裁判法(国際司法裁判所)③国際法総論Ⅰ・Ⅱ、国際法各論、国際組織法

### 山本 未来

①京都大学法学部 シアトル大学行政大学院 修士(MPA)②行政調査③行政法総論Ⅰ・Ⅱ、行政救済法、行政法各論

## 教学

専任教員

- ①出身学校・学位
- ②専門分野/研究テーマ
- ③主な担当科目

経営学部

経営学科

教授

有澤 健治

①東京大学文学部同大学院(理学系研究科)理学博士  
②情報処理、オペレーティングシステム・プログラミング③プログラミング論、情報システム概論

川井 伸一

①東京大学教養学部 同大学院国際学修士②中国企業経営論/比較経営論。株式会社のコーポレート・ガバナンス比較/中国企業の海外進出③中国企業改革論、中国経営論、アジア経営比較論

神頭 広好

①学習院大学経済学部 東京工業大学大学院 経済学修士②経営立地論。都市の空間的立地構造に関する研究③経営立地論、立地分析論

小浜 ふみ子

①立教大学社会学部 慶應義塾大学大学院 東京都立大学大学院 博士(社会学)②都市社会学/地域社会学/コミュニティ論。コミュニティの歴史社会学、若者とライフスタイル③社会学基礎、現代コミュニティ論、現代社会学、社会科学入門・応用、総合演習

田川 克生

①神戸大学経営学部 同大学院 経営学修士②経営学の基礎研究。企業理論によるマネジメントの基礎づけ③経営学総論、経営学原理、企業理論Ⅰ・Ⅱ

田川 光照

①名古屋大学文学部 同大学院 文学修士②18世紀フランス文学。現代韓国文学③フランス語入門・基礎、韓国・朝鮮語発展

玉置 光司

①名古屋工業大学工学部 大阪大学大学院 工学博士②オペレーションズ・リサーチ。確率モデルと最適化③経営工学入門、オペレーションズ・リサーチ

藤本 光夫

①愛知大学法経学部 名古屋大学大学院 大阪市立大学大学院 同経営学博士②経営学。フランス企業の発展・展開および経営戦略/多国籍企業とその経営/EUと企業経営③現代企業論、多国籍企業論、国際経営論

南 龍久

①立命館大学経済学部 同大学院 博士(経営学)(大阪市立大学)②経営組織論。現代企業における組織革新の諸問題③経営管理総論、経営組織論

村松 幸廣

①愛知大学法経学部 同大学院 経済学修士②消費者行動論。消費者行動の国際比較③消費者行動論、消費者行動分析、流通総論

矢田 博士

①早稲田大学第一文学部 同大学院 文学修士②中国古典詩歌。三国・魏の曹植の詩歌研究/漢魏六朝期における四言詩と五言詩の盛衰について③中国語入門・基礎、文学と人間(アジア)

山田 晶子

①愛知県立大学文学部 名古屋大学大学院 文学修士(英文学)②英文学(20世紀中心)。D. H. Lawrence(1885-1930)の研究中心③論説英文講読、TOEIC、英文小説講読、英語演習、入門ゼミ

准教授

岩田 員典

①名古屋工業大学同大学院 博士(工学)②マルチエージェントシステムに関する研究③オペレーティングシステム論、コンピュータネットワーク論、コンピュータセキュリティ論、統計の基礎、専門演習、情報リテラシー入門、情報リテラシー応用

太田 幸治

①東京国際大学明治学院大学大学院 修士(経営学)②流通・マーケティング(とりわけ製品戦略論)③流通総論、マーケティング論、サービスマーケティング、マーケティング戦略論、販売管理論、入門ゼミ、専門演習

小野 良太

①電気通信大学電気通信学部 ハワイ大学大学院 Ph. D. in Communication and Information Sciences②情報通信技術、情報通信開発政策、未来研究③国際情報ネットワーク論、企業情報システム論、情報システム組織論、情報システム概論A・B、専門演習

河田 賢二

①名古屋大学理学部 同大学院 理学修士②数学。Nonstandard analysis;計算論③代数基礎、線形代数、コンピュータ科学の基礎、命題計算とデジタル回路、数理とプログラム入門・応用、総合演習

田中 英式

①関西大学法学部 名古屋大学大学院 修士(学術)②日系企業の技術移転、日系企業と現地サプライヤーとの企業間関係、台湾経済、台湾企業、産業集積論③アジア企業論、アジア企業経営論、国際ビジネス論

為廣 吉弘

①東京大学農学部②流通・物流③物流論、交通論、流通政策論、マーケティング情報論

土屋 仁志

①関西大学商学部 同大学院 商学博士②流通業の国際化③国際流通論、小売マーケティング、国際マーケティング

永田 孝夫

①名古屋大学大学院・修士②教育法(社会・地歴・公民)/授業の作り方③授業構成法(社会系)、授業構成法演習(社会系)

古川 邦之

①高知大学理学部 京都大学大学院 博士(人間・環境学)②地球科学、地質学、火山学③環境の科学、環境と都市、現代科学の諸問題

Malcolm Duff

①ロンドン大学②Drama Methodology, Theatre and Communication③コミュニケーション英語、メディア英語、演劇と人間

山本 大造

①松山大学経営学部 同大学院 同志社大学大学院 修士(経営学)②熟練の変化と労務管理の研究、「人的資源管理論」の研究③人事管理論、労使関係論

会計ファイナンス科

教授

伊藤 清己

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 博士(経営学)②財務会計論、国際会計論/キャッシュ・フロー計算書の理論と制度③会計学概論、会計学基礎理論、財務諸表論、会計情報処理論

奥野 博幸

①関西学院大学経済学部 同大学院 経済学修士②金融論。金融制度改革と持株会社制度/地域金融(東アジアの金融を含む)③金融論、金融政策、金融概論

功刀 由紀子

①京都大学農学部 同大学院 農学博士②食品安全学。リスクアナリシス論。生命科学③物質科学、生命科学基礎・応用、総合演習

富増 和彦

①大阪市立大学商学部 同大学院 博士(経営学)②環境会計・社会関連会計③商業簿記、財務諸表分析論、経営分析論、環境会計論Ⅰ・Ⅱ

架谷 真知子

①津田塾大学②日本語教授法。協同学習。小集団におけるグループ・ダイナミックス③日本語、専門日本語

望月 恒男

①早稲田大学社会科学部 同大学院(商学修士)横浜市立大学大学院②管理会計論/現代企業における管理会計システムに関する研究③管理会計基礎理論、管理会計応用理論、工業簿記Ⅰ・Ⅱ

盛田 良久

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 経営学博士②監査論/アメリカ証取法会計と監査の研究③会計監査論Ⅰ、会計監査論Ⅱ、外国書講読Ⅰ、外国書講読Ⅱ、会計監査論総合研究、演習

山下 裕企

①東京理科大学工学部 同大学院 博士(工学)②租税を考慮した経営計画に関する研究、税務情報の有用性に関する研究、税制が経営者行動に与える影響の分析③原価計算論、経営原価計算論、予算管理論

准教授

齋藤 毅

①筑波大学社会学部 同大学院 博士(経営学)②確率的意思決定問題(最適停止問題)、金融工学、IE(Industrial Engineering)③金融工学、生産管理論、品質管理論、微分積分の基礎・応用、統計の基礎・応用

島田 了

①南山大学文学部同大学院 文学修士②ドイツ語ドイツ文学、ドイツ文化史③ドイツ語入門・基礎・応用・発展・演習、美術と人間

滝沢 宏人

①日本体育大学体育学部 同大学院 体育学修士②バイオメカニクス/運動生理学。人間が多関節を介して発揮する力に及ぼす姿勢・力の作用点の影響③ヘルスエクササイズ入門、ヘルスエクササイズ応用、スポーツの科学

水野 孝彦

①愛知大学経営学部 同大学院 博士(経営学)②米国における連結会計論の展開③商業簿記、連結会計論、国際会計論、国際会計基準論、英文会計

助教

石原 知英

①広島大学大学院教育学研究科 博士(教育学)②英語教育学、教育的翻訳研究③論説英文講読、TOEIC、入門ゼミ

一木 毅文

①立命館大学経済学部、明治大学大学院 博士(経済学)②ファイナンス、国際経済/資本構成、設備投資に関する実証分析③ファイナンス理論、経営財務論、国際経済論、統計の基礎

吉本 理沙

①神戸商科大学商経学部 同大学院 経営学修士②公会計。北米州・地方政府の業績報告の研究③商業簿記初級、中級、上級、基礎簿記論、公会計論

# 現代中国学部

## 教授

### 安部 悟

①大阪外国語大学 外国語学部 大阪市立大学大学院 文学修士②中国近・現代文学。魯迅及び同時代の作家研究。中国語教育③中国語、中国現代文学史、中国現代文学論

### 今井 理之

①東京外国語大学 外国語学部 文学士②中国貿易論。③中国貿易論、中国投資論、華人企業経済論

### 加々美 光行

①東京大学文学部 文学士②中国政治思想。中国外交論／文化大革命論／東アジア民族問題③現代中国学原論、中国外交論、中国研究入門II

### 河辺 一郎

①東京都立大学人文学部 文学士(文学)②国連問題。国連政策を中心とした日本外交③国際関係論、現代社会とメディア、日本外交論、平和学

### 黄 英哲

①台湾師範大学 文学部 立命館大学大学院 博士(文学)②台湾近現代史・台湾文学。植民地主義と文学。台湾における「戦後」の意味。③中国語、中国現代文学作家研究、ピンナン語

### 高 明潔

①中央民族学院 (現中央民族大学) 歴史学科②中国の社会・文化に関する人類学的研究③中国語、中国民族論、民族と国家、中国現地研究実習

### 砂山 幸雄

①東京大学教養学部 同大学院 国際学修士②現代中国政治論／現代中国思想・文化研究③中国政治思想史、中国政治体制論、中国政治論、日中関係論

### 薛 鳴

①中国東北師範大学 外国語学部 大阪大学大学院 修士(文学)②社会言語学、日中比較言語学／日中言語行動の比較研究③中国語、コミュニケーション中国語、中国語文法論、中国語学概論、中国語語彙論

### 高橋 五郎

①愛知大学法経学部 千葉大学大学院 農学博士②中国社会調査／中国農業、農村経済問題③国際社会調査論、中国農村経済論、中国現地研究実習

### 張 琢

①武漢大学哲学部②魯迅思想、中国文化論③中国史概説、中国社会学、中国発展研究

### 土橋 喜

①法政大学経済学部 筑波大学大学院 東京大学大学院 博士(工学)②情報科学。問題解決における発想支援／問題構造の可視化③社会データ分析入門、ソフトウェア演習、ネットワーク情報論

### 馬場 毅

①早稲田大学第一文学部 東京教育大学大学院 早稲田大学 博士(文学)②中国近現代史。中国近代史における秘密結社史／抗日戦争③中国社会史、中国研究入門I、東アジア近代史、中国近代経済史、中国現代経済史

### 古澤 賢治

①愛知大学法経学部 大阪市立大学大学院 博士(経済学)②中国経済の歴史的展開／東アジアビジネス事情③中国経済論、発展途上国経済論III

### 松岡 弘記

①中京大学体育学部 同大学院 体育学修士②運動生理学。スポーツ選手のウエイトコントロールに関する研究③現地プログラム生活事前教育、ヘルスエクササイズ、健康と栄養

### 松岡 正子

①早稲田大学第一文学部 同大学院 博士(文学)②中国民俗学。中国文化人類学。西南中国の諸民族における文化の変容③中国民俗学、民族と文化

### 三好 章

①東京教育大学文学部 一橋大学大学院 博士(社会学)②中国近現代史／中華人民共和国教育史③中国史II、日中戦争史、中国教育論

### 山本 一巳

①早稲田大学第一政経学部 経済学士②発展途上国経済論／アジア経済③発展途上国経済論、南北問題

### 劉 柏林

①北京第二外国語学院アジア・アフリカ語系学部 北京国際関係学院日本語文学研究科 文学修士②中日言語と文化の比較。中日両国の近代化による文化と言語の変化／中日コミュニケーションの異同について③日中ビジネス会話、中国語、コミュニケーション中国語、中国語プレゼンテーション、研究演習

## 准教授

### 梅田 康子

①桜美林大学文学部 慶應義塾大学大学院 修士(社会学)②日本語教育／異文化間教育③日本語、ビジネス日本語

### 川村 亜樹

①京都産業大学外国語学部 大阪外国語大学大学院 博士(言語文化学)②現代アメリカ文学・文化・時事英語／ポストモダンとポストコロナル、9.11、ヒップホップ、英語教育における英字新聞の活用術③TOEIC、英語リスニング、実用オフィス英語

### 木島 史雄

①京都大学文学部 同大学院 文学修士②中国古典学／儀礼を中心とする中国思想史／東洋の書物の文化史③社会と宗教、中国思想概説

### 藤森 猛

①中央大学経済学部 愛知大学大学院 修士(中国研究)②中国芸術論、中国語学。映画／テレビ放送／新劇／アニメ／ポップスなどの中国大衆芸術および中国語語彙研究③中国語、東アジア現代芸術論、授業構成法演習(中国語)、演習、映画と人間

### 吉川 剛

①明治学院大学法学部 愛知大学大学院 修士(中国研究)②中国語CAI／現代中国の法意識・法文化に関する法社会学的研究③中国語、中国法概説、中国法

## 助教(嘱託助教II)

### 蔡 永強

①北京語言大学 博士(言語学・応用言語学)③中国語発音

### 戴 蓉

①復旦大学 修士③中国語発音

教 学  
専任教員

- ①出身学校・学位
- ②専門分野/  
研究テーマ
- ③主な担当科目

短期大学部

ライフデザイン総合学科

教授

川端 朋広

①上智大学文学部  
青山学院大学大学院 修士(文学)  
②英語学。コーパス言語学、文法化  
③リスニング、ペーシックライティング、言語コミュニケーション

黒柳 孝夫

①国学院大学文学部 愛知大学文学部 専攻科 文学士②日本文学。文学にみる日本人の美意識と自然観。③日本文学の歴史、伝統文化演習、日本文化のかたち

須川 妙子

①同志社女子大学 家政学部 同大学院 修士(家政学)②食文化。宮中・公家・寺社の儀式行事と食。菓子文化③日本の食と文化、文化人類学

須田 淳一

①早稲田大学文学部 同大学院 文学修士②日本語学 / 説明リテラシー。日本語文法のシステムダイナミクスに関する実証研究 / 説得的論理の階層化と文型の最適化。③日本語学研究

谷 彰

①広島大学文学部 同大学院 文学修士②日本近代文学。大正期、昭和期の文学・文化研究(長期) / 宇野浩二、牧野信一、石川淳、梶井基次郎、井上靖の研究(短期)③近代の作家と作品、モダンカルチャー論、エンターテインメント文化

武藤 明弘

①早稲田大学教育学部 同大学院 文学修士 ロンドン大学(UCL)大学院 言語学修士②英語学。歴史言語学、音韻論③日本語と英語の発音、リスニング

安 智史

①立教大学文学部 同大学院 博士(文学)②日本近代文学。日本近代詩、文学と他メディアとの関係③文学の環境、詩歌を読む、映像文化

山本 茂紀

①東京教育大学体育学部 同大学院 体育学修士②レジャー・レクリエーション。SCUBAダイビング / 海女③健康・スポーツ、アウトドアライフ演習、ダイエットと運動

龍 昌治

①島根大学教育学部 愛知教育大学大学院 教育学修士②情報教育学。情報教育・技術教育のカリキュラムと教材③プレゼンテーション、Webデザイン、ビジネス基礎

Laura Lee Kusaka

①スクール・フォー・インタナショナル・トレーニング語学教育修士課程(M.A.T.)②英語教育教授法、異文化コミュニケーション、質的研究手法、日系アメリカ人事情③アメリカの歴史と文化、コミュニケーションイングリッシュ

准教授

岡田 圭二

①立命館大学文学部 広島大学大学院 博士(心理学)  
②認知心理学。自己、感情、記憶、意識の関係、適応記憶(Adaptive Memory)  
③心理コミュニケーション論、ライフプランニング

迫田 耕作

①東京都立大学人文学部 同大学院 社会学修士②社会学。現代日本社会論 / 地域社会 / 社会史③日本社会論、現代社会と生活

豊橋語学教育研究室

助教(嘱託助教1)

Jack Ryan

③ Communicative English

榊山 ケイト

③ Communicative English

Mark Gerrard

③ Communicative English

Rory John Davies

③ Communicative English

名古屋語学教育研究室

助教(嘱託助教1)

鬼頭 修

③ TOEIC、論説英文講読

林 姿穂

③ TOEIC、論説英文講読

古荘 智子

③ TOEIC、論説英文講読

- ①出身学校・学位
- ②専門分野 / 研究テーマ
- ③主な担当科目



# 大学院

## 法学研究科 [公法学専攻]

### 教授

- 岩間 康夫 「刑事法」
- 大林 文敏 [博士(法学)] 「憲法」
- 春日 修 「行政法」
- 久須本 かおり 「民法」
- 小林 武 [法学博士] 「憲法」
- 田中 正人 「欧米政治論」
- 長峯 信彦 「憲法」
- 西野 基継 「法哲学」

## 法学研究科 [私法学専攻]

### 教授

- 宇田 一明 「商法」
- 片野 三郎 「民事訴訟法」
- 杉浦 市郎 「経済法」

## 経済学研究科

### 教授

- 阿部 聖 「日本経済史」
- 李 泰王 [博士(経済学)] 「現代韓国・朝鮮経済」「現代アジア比較経済」
- 伊藤 靖徳 「中小企業論」
- 岩崎 正弥 [博士(農学)] 「地域経済論」
- 大澤 正治 「環境経済学」
- 桂 秀行 [Ph.D.] 「西洋経済史」「国際比較地域経済史」
- 沓掛 俊夫 [理学博士] 「環境論」
- 國崎 稔 「経済政策論」
- 栗原 裕 「国際経済論」
- 小林 慎哉 「計量経済学」
- 佐藤 元彦 「現代アジア地域経済」「国際開発の政治経済学」

蔣 湧 [博士(経営工学)] 「情報処理論」

竹内 晴夫 [博士(経済学)] 「経済原論」

田中 良明 「社会思想史」

沈 徹 「国際金融論」

中川 清 「経済原論」

保住 敏彦 [経済学博士] 「経済学史」

宮入 興一 「財政学」

藪内 繁己 [経済学博士] 「理論経済学」

渡辺 和敏 [博士(文学)] 「日本経済史」

### 准教授

井口 泰秀 「数理統計学」

打田 委千弘 [博士(経済学)] 「実証経済分析」

小林 弥生 [博士(経済学)] 「理論経済学」

杉浦 裕晃 [博士(経済学)] 「日本経済論」

西村 正広 「社会福祉論」

## 経営学研究科

### 教授

- 伊藤 清己 [博士(経営学)] 「財務会計論」
- 川井 伸一 「中国経営経済論」
- 神頭 広好 「経営立地論」
- 小浜 ふみ子 [博士(社会学)] 「地域社会学」
- 田川 克生 「経営学原理」
- 玉置 光司 [工学博士] 「オペレーションズ・リサーチ」
- 富増 和彦 [博士(経営学)] 「社会関連会計論」
- 藤本 光夫 [経営学博士] 「企業論」
- 星野 靖雄 [経済学博士] 「コーポレート・ファイナンス」
- 南 龍久 [博士(経営学)] 「マネジメント理論」
- 村松 幸廣 「消費者行動論」
- 盛田 良久 [経営学博士] 「会計監査論」

### 准教授

岩田 員典 [博士(工学)] 「情報数理」

太田 幸治 「マーケティング論」

小野 良太 [Ph.D.] 「未来情報」

齋藤 毅 [博士(経営工学)] 「生産管理論」

田中 英式 「アジア企業論」

為廣 吉弘 「流通論」

山本 大造 「労務管理論」

## 中国研究科

### 教授

荒川 清秀 [博士(文学)] 「中国語文法論」

伊東 利勝 「中国近隣諸国史」

今井 理之 「中国経済」

宇佐美 一博 「中国思想」

加々美 光行 「中国現代政治」

河辺 一郎 「平和学」

桑島 由美子 「中国文学」

黄 英哲 [博士(文学)] 「中国文学」

高明潔 「中国民族学」

小山 澄夫 「中国文学」

周星 [博士(民族学)] 「中国民族・文化人類学」

鈴木 立子 「中国政治史」

高橋 五郎 [農学博士] 「フィールドワーク方法論」

張 琢 「中国社会学」

馬場 毅 [博士(文学)] 「中国社会学」

古澤 賢治 [博士(経済学)] 「中国経済」

松岡 正子 [博士(文学)] 「中国民俗学」

三好 章 [博士(社会学)] 「日中関係史」

森 久男 [農学博士] 「中国経済史」

山本 一巳 「アジア開発経済論」

李 春利 [博士(経済学)] 「中国経済論」

### 准教授

木島 史雄 「中国思想」

長井 千秋 [博士(文学)] 「中国制度史」

## 文学研究科 [日本文化専攻]

### 教授

秋山 公男 「日本近代文学」

印南 敏秀 「日本民俗学」

漆谷 広樹 [博士(文学)] 「日本語学」「日本語史」

神谷 智 [博士(歴史学)] 「日本近世文化」

沢井 耐三 「日本中近世文学」「日本古典資料」

玉井 力 「日本古代社会」

山田 邦明 [博士(文学)] 「日本中世社会」

和田 明美 [博士(文学)] 「日本古代語」

## 文学研究科 [他社社会専攻]

### 教授

有菌 正一郎 [文学博士] 「歴史地域論」

樫村 愛子 「地域文化論」

交野 正芳 「地域社会生活論」「地域社会システム研究方法論」

武田 圭太 「生活行動論」

樋口 義治 [文学博士] 「人間行動論」

藤田 佳久 [理学博士] 「地域システム論」「地域社会システム研究方法論」

宮沢 哲男 「自然地域システム論」

渡邊 正 「地域社会形成論」

### 准教授

加藤 一己 「社会行動論」

## 文学研究科 [欧米文化専攻]

### 教授

浅野 俊夫 [文学博士] 「行動心理学」

伊集院 利明 「ギリシャ古代哲学」

伊藤 勲 「イギリス文学」「欧米文化研究方法論」

海老澤 善一 「ヨーロッパ近代哲学」

片岡 邦好 [Ph.D.] 「英語学」

サイモン・サナダ 「応用英語学」

鈴木 康志 「ドイツ語学」

セルジュ・ジュンタ 「応用フランス語学」

土屋 洋二 「ドイツ文学」

トーマス・グロス [博士(日本語学)] 「応用ドイツ語学」

永瀬 美智子 「アメリカ文学」

浜本 正文 「フランス文学」

早川 勇 [言語文化学博士] 「言語文化」「欧米文化研究方法論」

### 准教授

下野 正俊 「ヨーロッパ近代・現代哲学」

中尾 充良 [文学博士] 「フランス文学」

## 国際コミュニケーション研究科

### 教授

アイバン・コスビー 「英語コミュニケーション」

河野 真 [博士(文学)] 「国際コミュニケーション研究方法論」「多文化間比較」「日本語論文技術」

ジョン・ブランデル 「英語コミュニケーション」

鈴木 規夫 [博士(政治学)] 「国際コミュニケーション研究方法論」「国際関係」

高橋 貴 「多文化間比較」

高原 隆 [Ph.D.] 「多文化間比較」

田本 健一 [博士(文学)] 「国際コミュニケーション研究方法論」「英語学」

塚本 鋭司 [Ph.D.] 「英語教育学」

塚本 倫久 「英語学」

名和 聖高 「国際関係」

架谷 真知子 「日本語教授法」

片 茂永 [文学博士] 「国際コミュニケーション研究方法論」「多文化間比較」

山本 雅子 [博士(人間・環境学)] 「日本語学」

須田 淳一 [兼任] 「日本語学」

### 准教授

アンガス・マッキンドー 「英語コミュニケーション」

梅田 康子 「日本語教育学」

加納 寛 [博士(歴史学)] 「多文化間比較」

小坂 敦子 [Ph.D.] 「英語教育学」

清水 伸子 「言語学特殊講義」

専門職大学院

法務研究科

教授

浅井 正

①金沢大学 愛知大学大学院 修士(法学)②刑事法、現代中国法、知的財産法、国際人権法③刑事訴訟実務基礎Ⅰ、刑事訴訟実務基礎Ⅱ、法律中国語Ⅰ、現代中国法

石井 三一

①中央大学 法学士②倒産法③倒産法Ⅰ・Ⅱ、執行保全法、民事訴訟実務基礎Ⅱ

伊藤 博文

①同志社大学 愛知大学大学院 法学修士 ウィスコンシン大学ロースクール M.L.I②法情報学③法情報調査、法文書作成、法情報学、法律英語Ⅰ・Ⅱ、英米法Ⅰ・Ⅱ

今村 憲治

①中央大学 法学士②一般民事、商取引、消費者法③法務総合演習、商法演習、企業法務Ⅰ、民事訴訟実務基礎Ⅱ

岩間 康夫

①京都大学 京都大学大学院 法学修士②刑法③刑法Ⅰ、刑法Ⅱ、刑法Ⅲ、特別刑法、刑法演習、刑事法総合演習、法務総合演習

宇田 一明

①愛知大学 同大学院 法学修士②商法学、ゴルフ法学③商法、商法演習、民事法総合演習、有価証券法、企業法務Ⅰ

大林 文敏

①愛知大学法経学部 同大学院 法学修士 九州大学大学院 博士(法学)②憲法学/アメリカ最高裁判所論③公法総合演習、憲法演習、法務総合演習

奥岡 直子

①大阪大学 法学士②刑事法(刑法、特別刑法、刑事訴訟法)③刑事法総合演習、刑事訴訟実務基礎Ⅰ・Ⅱ、刑法演習、刑事訴訟法演習、法務総合演習、法文書作成

春日 修

①早稲田大学政治経済学部 同大学院 政治学修士②行政法③行政法Ⅰ、行政法Ⅱ、公法総合演習、行政法演習、行政の諸領域と法、政治学、法務総合演習

片野 三郎

①愛知大学法経学部 同大学院 法学修士②民事訴訟法/訴訟要件論/民事上告制度③民事訴訟法、民事訴訟法演習

久須本 かおり

①名古屋大学法学部 同大学院 修士(法学)②契約不履行/過失相殺③民法Ⅱ・Ⅲ、民法演習Ⅰ・Ⅱ、民事法総合演習、法務総合演習

小林 武

①立命館大学法学部 同大学院 法学博士②憲法学③憲法Ⅰ・Ⅱ、公法総合演習、憲法演習、法務総合演習、地方自治法、法学の基礎Ⅰ

前田 義博

①早稲田大学 法学士②刑事法、労働法③刑事訴訟実務基礎Ⅰ、刑事訴訟実務基礎Ⅱ、労働法Ⅰ・Ⅱ

三木 浩太郎

①中央大学 法学士②特許法、著作権法、不正競争防止法、商標法③知的財産法Ⅰ・Ⅱ、民事訴訟実務基礎Ⅰ、企業法務Ⅱ

森山 文昭

①京都大学 法学士 名古屋大学大学院②民事法、租税法、司法制度論③民法演習Ⅰ・Ⅱ、民事法総合演習、法曹倫理、司法制度論、租税法Ⅱ、法務総合演習

准教授

川崎 修一

①名城大学法学部 同大学院 修士(法学)②民事訴訟法、倒産法、スポーツ法③民事訴訟法、民事法総合演習、民事訴訟法演習、民事訴訟実務基礎Ⅰ、臨床実務Ⅰ・Ⅱ、法務総合演習

会計研究科

教授

伊藤 清己

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 博士(経営学)②財務会計論、国際会計論/キャッシュ・フロー計算書の理論と制度③財務会計総論、財務諸表論

大槻 隆

①名古屋大学 法学士②金融法務・企業法務・民商法③会社法Ⅰ、会社法Ⅱ、企業法演習Ⅰ、企業法演習Ⅱ

奥野 博幸

①関西学院大学経済学部 同大学院 経済学修士②金融論、金融制度改革と持株会社制度/地域金融(東アジアの金融を含む)③金融論

加藤 義幸

①愛知大学法経学部 名古屋市立大学大学院 修士(経済学)②租税法/租税争訟・所得税/税理士制度と専門家責任③租税法概論、所得税法、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

粥川 和枝

①南山大学 同大学院 名古屋大学大学院 博士(経済学)②財務会計論、国際会計論③財務会計総論、財務諸表論、会計基準Ⅱ、財務会計論演習、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

鈴木 孝一

①愛知大学 神戸商科大学大学院 経営学修士②法人税法③法人税法、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

中 善宏

①北九州大学 神戸大学大学院 経営学修士②業績管理会計、経営戦略と管理会計③業績管理会計、意思決定会計、原価計算Ⅰ、原価計算Ⅱ、戦略管理会計論

林 隆一

①立命館大学経営学部 名古屋市立大学大学院 経済学修士②租税法/所得区分の見直しについて③消費税法、相続税法、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

星野 靖雄

①東京大学大学院 経済学博士②M&Aの実証分析、海外子会社の実証分析、日本の経営③ファイナンス理論、経営財務論、経営分析、経営学演習、研究指導Ⅰ

望月 恒男

①早稲田大学社会科学部 同大学院(商学修士) 横浜市立大学大学院②管理会計論/現代企業における管理会計システムに関する研究③業績管理会計、意思決定会計

盛田 良久

①愛知大学法経学部 神戸商科大学大学院 経営学博士②監査論/コーピング・コンサーン問題と公認会計士裁判の研究③研究指導Ⅰ

准教授

栗濱 竜一郎

①弘前大学人文学部 北海道大学大学院 博士(経営学)②監査論③監査論総論、監査基準論、会計・監査制度、簿記

齋藤 誠

①同志社大学 愛知学院大学大学院 法学修士②所得税法③租税法演習、租税法事例研究、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ

花野 康成

①愛知大学 経営学学士②会計・監査実務、事業承継対策、経営コンサルティング③会計実務研究、監査事例研究、職業倫理、エグゼクティブ

①出身学校・学位  
②専門分野/  
研究テーマ  
③主な担当科目

# 学生生活

学生サークル活動…43P

卒業生進路状況…45P

奨学状況…47P

## 体 育 系

### 豊橋校舎

#### 体 育 会

- アメリカン・フットボール部
- 應援団
- 空手道部
- 弓道部
- 競技スキー部
- 剣道部
- 硬式ソフトボール部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サイクリング部
- サッカー部
- 自動車部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 女子バスケットボール部
- 女子バレーボール部
- 女子ハンドボール部
- 女子ラクロス部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 男子ラクロス部
- 軟式野球部
- 日本拳法部
- 馬術部
- ハンドボール部
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

### 名古屋校舎

#### 体 育 会

- アメリカン・フットボール部
- カヌー部
- 空手道部
- 競技スキー部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 自動車部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- 漕艇部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 中国武術部
- トライアスロン部
- 軟式野球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- フィギュアスケート部
- モーターサイクル部
- 洋弓部
- ライフル射撃部
- ラグビー部
- ラクロス部
- 陸上競技部

### 豊橋校舎 短大

#### 運 動 部

- 柔道部
- ソフトテニス部
- 女子バレーボール部
- 女子ラクロス部
- 卓球部
- 馬術部

## 文 化 系

### 豊 橋

#### 学 研 連

- Wish
- 英語会話研究会(E.S.S)
- 会計学研究会
- クイズ愛好会
- 経営学研究会
- 経済学研究会
- 考古学研究会
- 広告研究会
- 国際問題研究会
- 国文学研究会(JLC)
- コント研究会
- 社会科学研究会
- 証券研究会
- 心理学研究会
- タイ研究会
- 中国語会話研究会
- 中国語文研究会
- 中国武術研究会
- 中国問題研究会
- 哲学研究会
- 野宿研究会
- プロ野球研究会
- 歴史科学研究会

#### 文 芸 連

- アカベラサークルVMC2
- 映画研究会
- 演劇研究会
- 音楽研究会
- 観光事業・ローカル旅行研究会
- ギターアンサンブル
- キャンパスマガジンらじゃん
- 軽音楽部
- 児童文化研究会
- 写真研究会
- 吹奏楽団
- 創作研究会
- 美術部
- フォークソング研究会(TFA)
- フォークダンス部
- 舞踏研究会
- 邦楽研究会
- 漫画研究同好会
- ミステリー同好会
- モダン・ジャズ研究会
- 落語研究会
- B.P.M (Black People Movement)



## 校舎

### 連合会未加盟の団体

- 天守名所研究会
- FAC(フィールド・アスレチック・クラブ)
- 木曜フットサル
- C.S.C  
(クリエイティブ・スポーツ・カンパニー)
- ゲレンデスキー愛好会
- 情報処理研究クラブ(IPC)
- 豊橋日曜学校(TSS)
- バスケットボールを楽しむ会
- バドミントンを楽しむ会
- スポーツ研究会
- GINGA(ジンガ)
- 軟式野球愛好会
- リバーフローティングクラブ
- リンダY2
- ソフトボール愛好会
- ATT(アドバンテージテニスチーム)
- 和太鼓サークル
- 盤上ゲーム同好会
- PTA  
(Party Through the world Association)

### 連合会外自治団体

- 愛大祭実行委員会
- 愛知大学卒業アルバム委員会
- 学生論叢編集委員会
- 新聞会
- 生協学生委員会



## 名古屋校舎

### 文 化 連

- 愛華倶楽部
- A.U.C.C  
(Aichi University Computer Club)
- A.U.F  
(Aichi University Flea Market)
- 英会話研究会(ESS)
- ecoB・G園芸部
- 音楽愛好会
- 会計学研究会
- ギターアンサンブル部
- 軽音楽部
- 現代音楽研究会
- 茶道研究会
- 写真研究会
- 創作画研究会
- 二胡部「知音」
- B.P.M  
(Black People Movement)
- プロ野球研究会
- メンネル・コール
- 留学生交流会
- 日本フード研究会
- ローカル旅行愛好会

### 連合会外自治団体

- 愛大祭実行委員会
- 新聞会
- 生協学生委員会(AU.NOIS)
- 留学生会



### 連合会未加盟の団体

- 法学研究会(愛法会)
- F.C.スプロケット(サッカー)
- ゴールデンサンズ(バスケ)
- 213.com(軟式野球)
- Twist(テニス等)
- サイパンF.C.(フットサル)
- F.C.チュッパ(サッカー)
- つかさく(スポーツ何でも)
- ファンタチオ(フットサル)
- A.B.C.(Aichi Band Circle)
- 蹴猿(フットサル その他スポーツ)
- ファイト!(格闘技)
- パティ(バドミントン)
- SPARKLE(Dress up car circle)
- KFC(フットサル)
- ビリヤード同好会
- T+REEDAM(カラオケ)
- 愛P
- あいふく(愛福)
- 国際協力サークルSEED
- 愛大ソフトボールサークル
- MYS(ボーリング)
- ボレロ(ソフトテニス)
- MATCH(スポーツ何でも)
- Mickey's(ボランティア)
- ローリーズ(法学部学生リフレッシュ委員会)

## 豊橋校舎 短大

### 文 化 部

- 映画研究会
- 情報処理研究クラブ
- 吹奏楽団
- 煎茶道研究会
- 創作研究会
- 写真研究会
- 心理学クラブ
- PCS(ばそこんサークル)
- 茶道研究会
- 児童文化研究会



2009年度卒業生就職状況

区分		1部								
		文学部		経済学部		国際コミュニケーション学部		法学部		
		男	女	男	女	男	女	男	女	
進路状況	就職決定率	87.6%	89.2%	93.7%	92.0%	78.2%	93.8%	96.8%	95.1%	
就職状況	規模別	超大企業	12	24	19	9	9	28	23	17
		巨大企業	15	23	66	16	7	14	30	12
大企業		12	14	59	10	5	22	14	12	
中企業		30	56	65	18	5	39	38	22	
小企業		14	39	47	13	6	43	15	18	
地域別	北海道	0	0	1	0	0	0	0	0	
	東北	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関東	15	31	24	16	10	31	29	21	
	北陸	2	5	6	0	0	2	4	0	
	甲信	0	1	2	0	0	0	1	0	
	岐阜県	15	9	35	1	1	4	16	6	
	静岡県	8	17	26	10	5	13	6	5	
	愛知県	57	101	163	38	24	93	114	54	
	三重県	2	4	8	3	0	0	6	6	
	近畿	4	4	13	1	2	7	6	5	
	中国	0	1	1	0	0	1	0	0	
	四国	0	0	1	0	0	0	0	0	
	九州	2	0	1	0	0	1	0	0	
	海外	0	0	0	0	1	0	0	1	
	業種別	建設業	3	7	14	2	1	3	8	2
製造業		8	24	43	7	8	13	19	8	
電気・ガス・熱供給・水道業		0	0	2	0	0	0	2	0	
情報通信業		2	8	4	1	3	5	5	3	
運輸業		8	3	8	3	7	10	6	3	
卸売業・小売業		35	45	77	13	5	48	27	20	
金融・保険業		7	24	72	28	3	22	26	29	
不動産業		0	4	4	0	1	3	3	1	
飲食店・宿泊業		3	4	4	2	0	5	3	0	
医療・福祉		2	13	5	2	0	7	4	3	
教育・学習支援業		4	7	1	2	1	5	0	1	
複合サービス業		0	3	2	3	0	2	0	1	
その他のサービス業		10	15	20	3	3	23	17	10	
	国家公務員・地方公務員	22	16	25	3	11	5	62	17	

・規模別の欄には公務員・教員は除く

・規模別(従業員数)超大企業:3,000人以上・巨大企業:2,999人~1,000人・大企業:999人~500人・中企業:499人~100人・小企業:100人未満

・全求人件数:5,577件

規模別就職状況





## 学部・短期大学部

種別	文学部	経済学部	国際 コミュニケーション 学部	法学部	経営学部	現代中国 学部	短期大学部	計
日本学生 第一種	190	169	131	161	211	56	33	951
支援機構 第二種	362	397	236	347	373	141	78	1,934
学内奨学金※	58	94	142	47	129	199	16	685
地方自治団体等各種奨学団体	9	15	36	13	35	51	1	160
計	619	675	545	568	748	447	128	3,730

※スカラシップ奨学金受給者を含む。

## 大学院

研究科	法学		経済学	経営学	中国	文学			国際 コミュニケーション	計
	公法学	私法学	経済学	経営学	中国研究	日本文化	地域社会 システム	欧米文化	国際 コミュニケーション	
専攻	第一種	—	—	2	0	0	0	0	0	2
	第二種	—	—	0	0	1	0	0	0	1
	博士後期課程	0	0	0	0	1	0	0	0	1
学内奨学金	0	0	2	38	102	0	2	0	12	156
地方自治団体等各種奨学団体	0	0	4	16	10	0	0	0	2	32
計	0	0	8	54	114	0	2	0	14	192

## 専門職大学院

研究科	法務		会計	計	
	未修者	既修者			
日本学生 支援機構	第一種	10	5	12	27
	第二種	7	2	4	13
学内奨学金	27	3	19	49	
地方自治団体等各種奨学団体	6	3	4	13	
計	50	13	39	102	



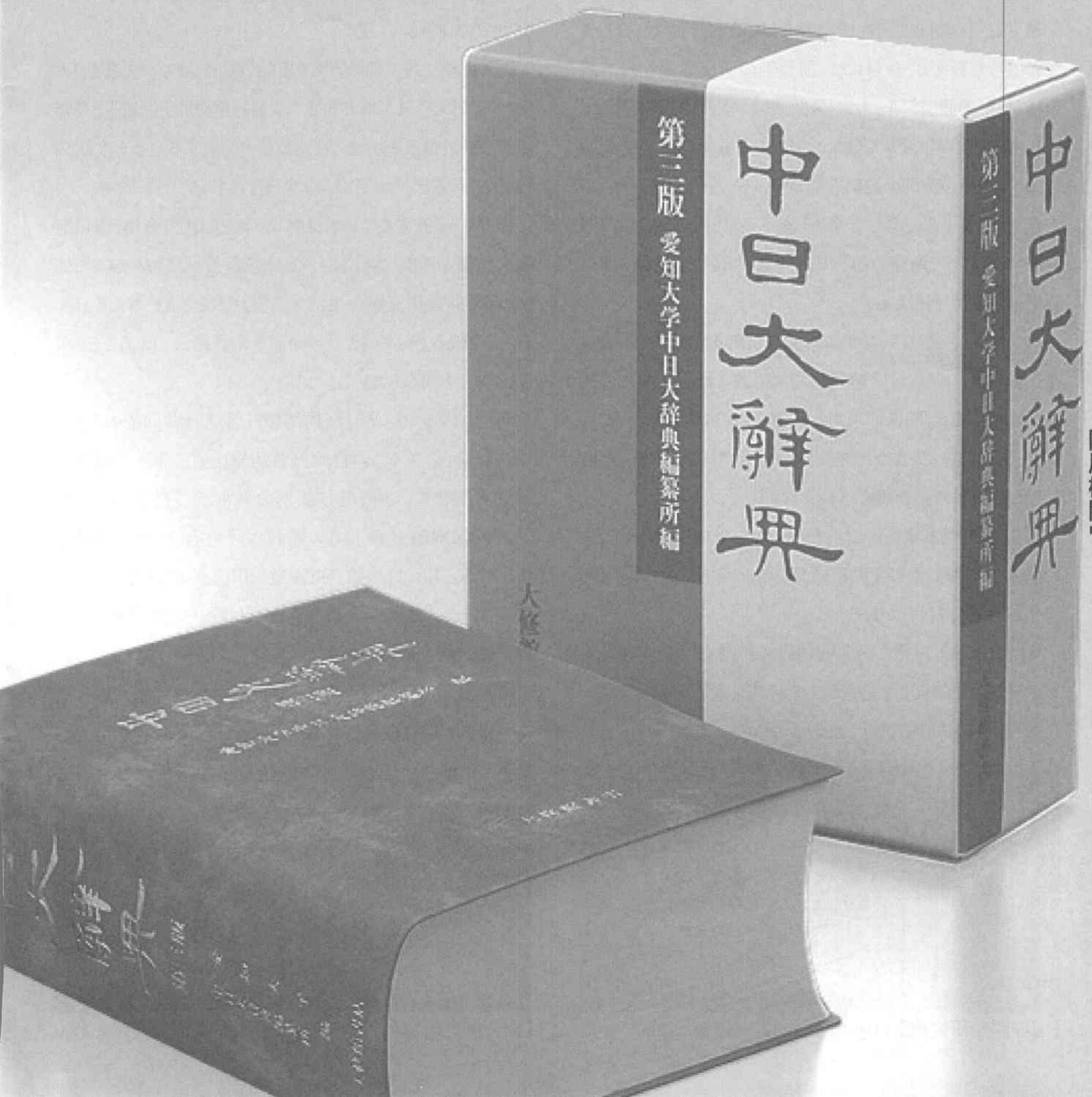
# 附属機関

大学研究所の研究分野…49P

大学諸機関発行機関誌等…53P

図書館…55P

情報メディアセンター…57P



附属機関

## 国際問題研究所

<1948年6月24日 設立>

国際的視野を重視する建学の精神に基づいて、本学創立直後に設立され、60年の歴史を有する研究所である。現代中国を中心とし、東南アジア・欧米等広く全世界に亙る国際問題の調査・研究・資料収集を行っている。とくに現代中国関係の図書

の所蔵は内外に広く知られ、外部の研究者の訪問が絶えない。機関誌『国際問題研究所紀要』は年2回発行され、今日まで135号を数える。各号には、所員等の研究成果が日本語のほか、中国語、英語、フランス語、ドイツ語等で発表されている。また2007年度からOccasional Paperの刊行を開始し、研究成果の随時の発信を強めている。

創立40周年を記念して「国研叢書」の刊行が始まり、3期18年にわたって所員の研究成果を逐次刊行し、計19冊の専門研究書が刊行された。

研究所の活動には、ほかに研究会、講演会、シンポジウム等があり、その記録は随時『紀要』に掲載され、またはその都度記録集（『中台関係の現実と展望』〈2004年2月刊〉など）が刊行されている。また毎年複数の研究プロジェクトを組織して特定領域の調査研究活動を展開している。

最近の出版事業としては、日・韓・中・米の8人の専門家の論文を収録した『21世紀における北東アジアの国際関係』（2006年3月刊）がある。

また、2008年11月に国際問題研究所創立60周年記念シンポジウムを開催し、記録集「アジア国家の分断と統合」（2009年10月刊）を刊行した。



【国際問題研究所】 <http://leo.aichi-u.ac.jp/~aiia/>

## 総合郷土研究所

<1951年6月11日 設立>

東海地方を中心に広く中部日本の諸地域について、歴史・文学・地理・言語・社会・経済など人文・社会科学のほか、生態系に関わる諸科学を加えた総合的研究を行い、逐次その成果を公刊している。

機関誌『総合郷土研究所紀要』は年1回発刊され、すでに55輯まで刊行している。

研究叢書として、『地域研究を拓く』『豊川流域の水文環境』『ヤマチャの研究』『三河地方知識人史料』『東海道交通施設と幕藩制社会』『近世東海地域の農耕技術』『持続する社会を求めて』『ふるさとの誘因』など第21集まで刊行している。

隔年で開催するシンポジウムの報告集『天竜川・豊川地域文化圏から東・西日本をみる』『花祭論』『県境を越えた地域づくり』『豊川流域の生活と環境』『ふるさとを考える』『ふるさとを創る』『ふるさとから発信する』『第二のふるさとのくらし』などを刊行している。

研究所ブックレットは『内湾の自然誌』『共同浴の世界』『豊橋三河のサルカニ合戦』『渡辺華山』『空間と距離の地理学』『生きている霞堤』『漆器の考古学』『日本茶の自然誌』『浜松空襲』『城下町の賑わい』『明治はいかに英語を学んだか』『川の自然誌』『東海道二川宿』『鬼板師』など。

このほか、『愛知県歴史関係論文目録』『村落研究文献目録』『総合郷土研究所所蔵資料図録』を刊行している。

所蔵資料として『三州渥美郡馬見塚村・渡辺家文書』（寛文～文久年間）『豊橋市浄慈院日別雑記』（文化～明治中期）ほか文書類、絵地図約3,000点、考古資料多数（一部展示）。



【総合郷土研究所】 <http://taweb.aichi-u.ac.jp/kyodoken/>

## 中部地方産業研究所

<1953年3月1日 設立>

本研究所は、中部地方における経済社会の動向を実証的に調査研究し、社会に対して発表することを主要な課題としている。

これまで、所員の総合的な共同研究成果として『東三河の経済と社会』を5年ごとに第6輯まで刊行した。そして、2002年度からは中産研の年報として装い新たに『中部の経済と社会』を刊行している。また、所員の個人研究報告書を65号まで刊行した。

近年、地域での産官学交流をはかり、地域の実態調査をもととした社会科学的分析を行っている。そして、地域が当面する諸問題の所在を明らかにし、地域住民、産業界、地方行政のニーズに答える研究発表を行っている。2009年度は公開シンポジウム「東三河の医療」「第9回地域・産業・大学」の公開研究発表会等を開催した。

また、2006年度より研究所の使命として、中部地方を中心とした基礎的データの収集を図る方向が出され、中部地域の行政・産業データおよび所蔵社史目録のネット公開が為されている。さらに附属生活産業資料館所蔵の産業遺産“ガラ紡機”の動態保存公開を行い、さらに産業資料目録(旧蔵資料)を刊行した。

年鑑類、統計データ、社史などの所蔵資料、図書は教員・学生・一般の利用に供している。



【中部地方産業研究所】<http://www.chusanken.jp/>

## 中日大辞典編纂所

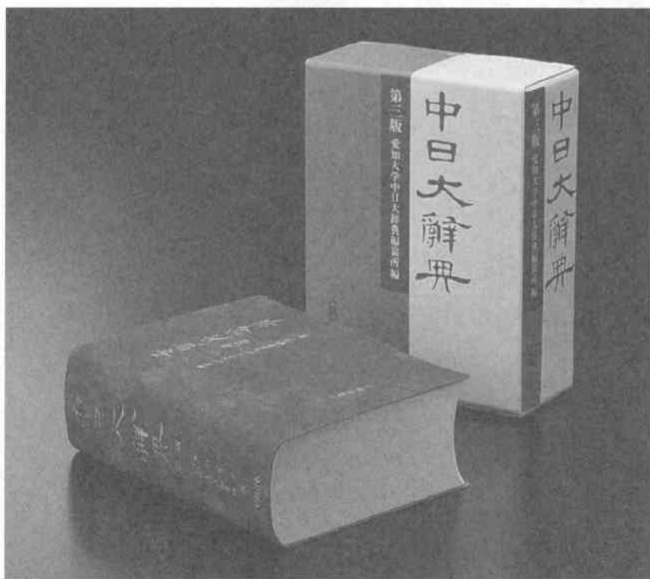
<1955年4月1日 設立>

日中友好の船、文化交流の橋といわれる愛知大学中日大辞典の刊行を目的として設立された。1955年4月、東亜同文書院大学が華日辞典編纂のため作成していた14万枚の資料カードが、中国側の好意で日本へ返され、関係者協議のうえ愛知大学に付託され、中日辞典の編纂が始められた。13年の歳月を経て、1968年中日大辞典として出版され、我が国最初の本格的中国語辞典として評価を受けた。

1986年には増訂版を出し、翌年簡化字総表などの追加訂正による57字を盛り込んだ増訂第二版を刊行。その後十数年に及ぶ改訂作業を経て、2010年2月、第三版が刊行された。

第三版は、百科項目・古典語など信頼される本辞典の長所を保ちつつ、近年世界の大国として変貌の著しい中国の現状を反映した語彙も取り入れ、語義・用法・例文などを全面的に見直した。

中日大辞典はその誕生から日中友好の絆に結ばれており、刊行以来中国の対日関係部門にも多数贈呈している。



【中日大辞典編纂所】<http://leo.aichi-u.ac.jp/~jiten/>

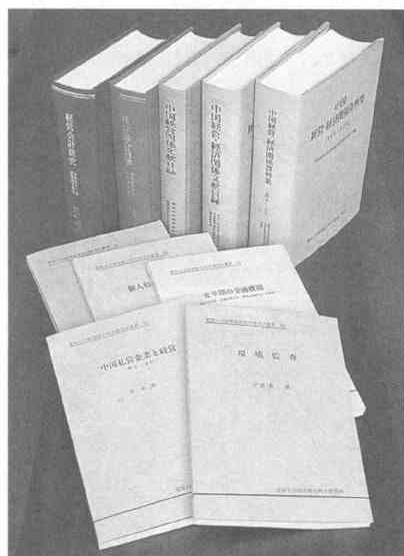
附属機関

大学研究所の研究分野

## 経営総合科学 研究所

<1962年4月1日 設立>

本研究所は当初、企業経営・会計経理の理論と実務の研究、企業経営の指導及び実務家の養成を目的として、愛知大学会計研究所の名称でスタートした。その後、名古屋校舎新キャンパス(三好)の開設に伴い、近年のめまぐるしい社会情勢の変化に対応して多様化した経営学研究を更に発展させるという立場から1990年に現在の名称に変更された。紀要『経営総合科学』や研究叢書の刊行、各種のプロジェクト研究、ワークショップ等を通して、その成果は広く学界、実業界に貢献している。研究書のみならず、経営関連の雑誌や統計資料も多数所蔵しており、研究者や学生の便に供している。



【経営総合学科研究所】

<http://leo.aichi-u.ac.jp/~keisoken>

## 東亜同文書院 大学記念センター

<1993年5月30日 設立>

【平成18年度文部科学省・私立大学学術研究高度化推進事業(オープン・リサーチ・センター整備事業)に採択】

本学は敗戦により中国から引き揚げてきた東亜同文書院大学の教職員学生らにより創立された。東亜同文書院大学は戦前海外にあった日本の高等教育機関として最も長い歴史をもつ。日中提携のための人材育成を目的とし、各県から選抜された若者が国際都市上海に集い学び、日中関係に活躍する多くの人材が巣立った。本学の生みの親ともいべき存在の東亜同文書院大学の教育研究上の業績をあきらかにすべく設立されたのが本センターである。

同文書院学籍簿、成績原簿や大旅行報告書をはじめとする同文書院関係資料や、孫中山(孫文)と山田良政・純三郎関係資料など他にみられぬ資料をもち、常時展示している。機関誌「同文書院記念報」、ブックレット「東亜同文書院大学と愛知大学」第1集～第4集などを刊行する他、公開講演会などを開催している。

なお、2006年5月には本センター研究プロジェクトが文部科学省より学術研究高度化推進事業(オープン・リサーチ・センター整備事業)として選定され、従来展示中心のセンターであったが、東亜同文書院の総合的研究、東亜同文書院と関係する愛知大学史研究も行うこととなった。

書院卒で100歳を迎えられた安澤隆雄氏による講演会を皮切りに、公開シンポジウム(国内・国際)、講演会、研究会を開催し、ブックレットや成果年報、大学史研究、研究報の刊行を行っている。また、展示会を06年に横浜、07年に東京、08年は弘前と福岡、09年は神戸で開催し、いずれも好評であった。

本年度は京都と名古屋で展示会と講演会を行うほか、本間喜一先生の出身地である山形県米沢市において本間先生を中心とした展示会と講演会を企画している。



【東亜同文書院大学記念センター】

<http://www.aichi-u.ac.jp/orc/index.html>

# 国際中国学 研究センター (ICCS)

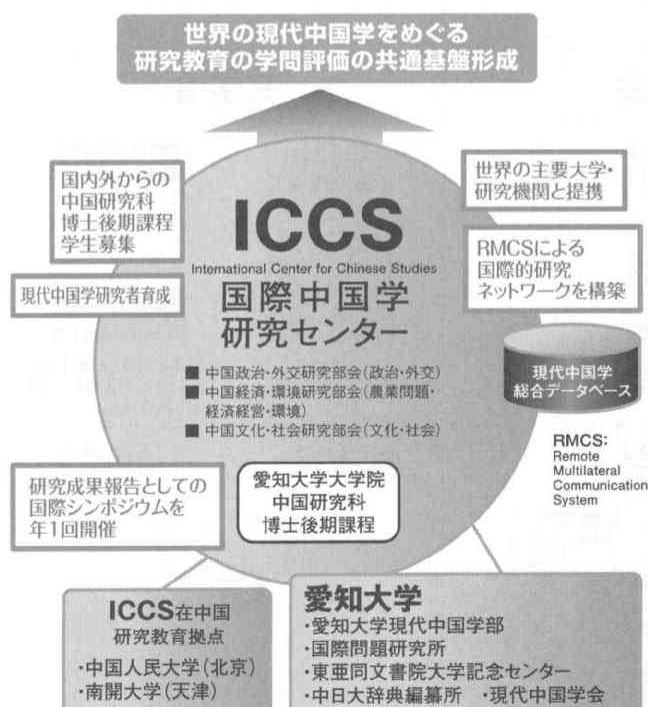
<2002年10月1日 設立>

【文部科学省21世紀COEプログラムに採択】

愛知大学国際中国学研究センター(略称ICCS)は文部科学省「21世紀COEプログラム」の採択を受けて、現代中国学の国際的な研究教育機関として設置された。本センターは世界の主要な大学・研究機関と提携し、相互に遠隔多方向コミュニケーションシステム(略称RMCS)を形成して、世界の現代中国学研究教育推進のための国際的ネットワークを共同構築し、そのハブ・センターとなることを目指している。また、更なる国際展開の一環として、中国人民大学(北京市)と南開大学(天津市)の2大学内にICCS在中國研究教育拠点(サブ・センター)を設置している。

本センターは、大学院生に対する現代中国学の教育研究を目的として、上述の中国2大学との間で中国研究科「デュアルディグリー・プログラム」を実施し、修士課程・博士課程のいずれにおいても日中双方の学位が取得可能となる教育システムを構築したほか、研究員、リサーチ・アシスタントの研究活動への参画、研究助成制度による自発的研究の促進を通じて、積極的に若手研究者の育成をおこなっている。

また、研究活動においても、RMCSを駆使して海外提携大学・研究機関の研究者の参加を得て、国際的範囲で活発な研究活動を展開している。



【国際中国学研究センター】 <http://iccs.aichi-u.ac.jp/>

# 三遠南信地域 連携センター

<2004年10月1日 設立>

【平成17年度文部科学省・私立大学学術研究高度化推進事業(社会連携部門)に採択】

【平成22年度文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択】

本センターは、大学の設立趣意書に謳われている地方への貢献を現代化するために、三遠南信地域での産学官民ネットワークの構築を基礎に「新しい公」を創造することを最大の任務とする。既存の行政単位にこだわらず、県境域を含めて新しい地域の枠組みを提起することをめざしつつ、地域のハブ・センターとして、三遠南信地域の発展に関わる調査・研究を含めた以下の諸事業を展開する。

(1) 地域づくりデータベースの構築・整備とその公開  
地域づくりGIS(地理情報システム)を基礎としつつも、独自の調査研究の蓄積により「三遠南信・地域づくりデータベース」を整備・構築し、社会に広く提供する。

(2) 地域づくりトータルシステム開発事業  
地域づくりガイドライン作成と地域づくり・地域経営評価システムの開発に関わる事業を統合したものであり、三遠南信の幾つかの地域(例えば東栄町)と連携しつつ調査研究を進め、地域づくり手法の開発をめざす。

(3) 東アジア国際交流ネットワーク整備事業  
地域づくり手法のアジア的展開を意図し、韓国、中国、タイ諸国の研究機関・大学と連携し、グローバルな視点からの地域づくりという枠組みのもと地域づくりのための国際共同研究を進める。

(4) 教育・人材育成事業の推進  
「地域の日常生活を結果的に分担するような教員・学生の関わり」という視点から教育・人材育成を進めるべく、廃校施設などを利用した支所・移動ステーションを地方自治体等と共同で整備し、「地域密着」と「相互関与」をキーワードとするワークショップやインターンシップを実施。また、「地域づくりアドバイザー制度」や学生による「地域づくりサポーター制度」を通じた地域社会への直接貢献も推進。

## おもな連携・受託事業の実績

- とよがわ流域大学(愛知県) ●とよがわ流域圏講座(国土交通省ほか)
- とよがわ流域大学・流域圏講座実践コース(愛知県ほか)
- 東三河データブック作成業務(東三河広域協議会)

【三遠南信地域連携センター】  
<http://taweb.aichi-u.ac.jp/sen-center/>

附属機関  
大学研究所の研究分野

国際問題研究所



「中台関係の現実と展望」 「国際問題研究所紀要」



「国研叢書」



「21世紀における北東アジアの国際関係」

総合郷土研究所



「総合郷土研究所紀要」



「里海の生活誌」



「古代東山道 園原と古典文学」



「総合郷土研究所研究叢書」



「鬼板師 日本の景観を創る人々」



「豊橋市浄慈院日別雑記」



「東海道三川宿」



「第二のふるさとのからし」



「川の自然誌 豊川のめぐみとダム」

中部地方産業研究所



「産業資料目録」



「2009年報・中部の経済と社会」



「中部地域企業のアジア進出調査報告書」



「経済構造の変化とその影響に関する研究」



「中山間地域におけるソーシャル・キャピタル(地域力)調査報告書」



「三遠南信やまがの女性起業家たち」

経済学会



「経済論集」

経営学会



「愛知経営論集」

文学会



「文学論叢」



「採用と定着—日本企業の選抜・採用の実態と新入社員の職場適応—」

法学会



「法経論集」

現代中国学会



「中国21」

国際コミュニケーション学会



「文明21」

## 国際中国学研究センター



「ICCS 現代中国学ジャーナル」

## 経営総合科学研究所



「経営総合科学」



「観光と産業のまちづくり」

## 短期大学部



「研究論集」

## 語学教育研究室



「言語と文化」



「Goken News」



「LLニュース」

## 文学部



「愛大史学」



「国文学」



「英学会誌」



「PLEU-PLEU」



「FOCUS」

## 中日大辞典編纂所



「中日大辞典」

## 体育研究室



「体育学論叢」

## 一般教育研究室



「一般教育論集」

## 東亜同文書院大学記念センター



「研究報」



「東亜同文書院ブックレット」



「オープン・リサーチ・センター年報」



「愛知大学史研究」



「同文書院記念報」

## 三遠南信地域連携センター



「三遠南信地域づくり読本」



「センターニュース」



「三遠南信の「食」を考える」



「2008年度地域づくりサポーター活動報告書」

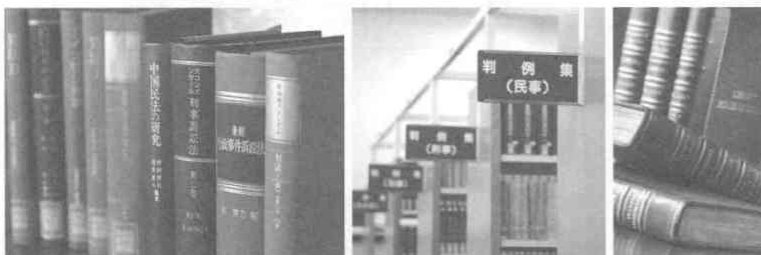
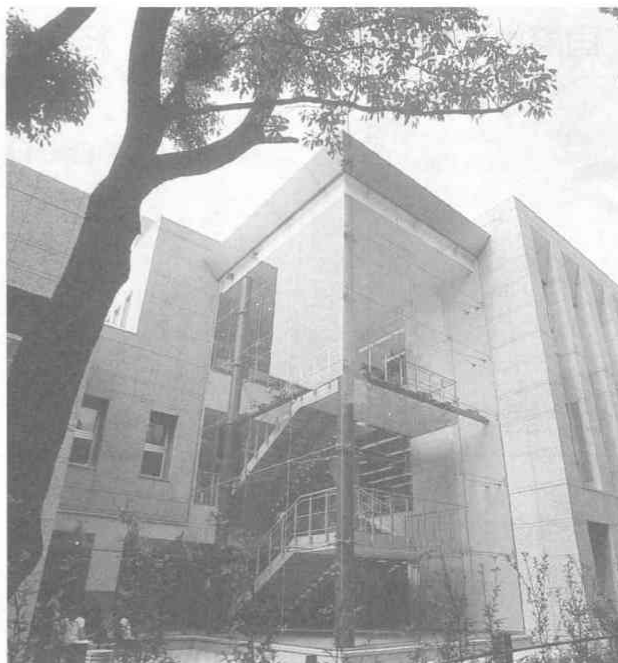
## 情報メディアセンター



「情報メディアセンター 紀要 COM」

# 図書館

現在、160万冊が所蔵されている愛知大学の図書館。一般書から専門性に富んだ書籍まで、種類も豊富に取りそろえられている。特に蔵書の中国・アジア関係の文献には希少価値をもつものも多く、各種の文庫や東亜同文書院調査旅行報告書などのコレクション類も所蔵されている。また、オンラインによるOPAC検索、国内外の各種データベース検索などITを駆使した環境が整っている。



## ●豊橋キャンパス図書館●

利用時間 9:10~21:00

一般書から専門性に富んだ書籍まで、種類も豊富に取りそろえられている。また、メディアゾーンやAVコーナーなどを設置し、快適に学習できるよう配慮している。



※開館時間はホームページでご確認ください。

## ●名古屋キャンパス図書館●

利用時間 9:10~19:00

書籍・雑誌・AV機器・パソコンを結びつけた複合的な学習ができる。全館開架方式で気軽に本が探せる他、車道・豊橋キャンパスの蔵書も1~2日後には入手できるようになっている。



## ●車道キャンパス図書館●

利用時間 車道 9:10~21:00  
法科会計大学院 7:00~24:00

約14万冊を収蔵。立地の良さから卒業生や社会人の利用も多い。専門職大学院の利用は院生のみである。

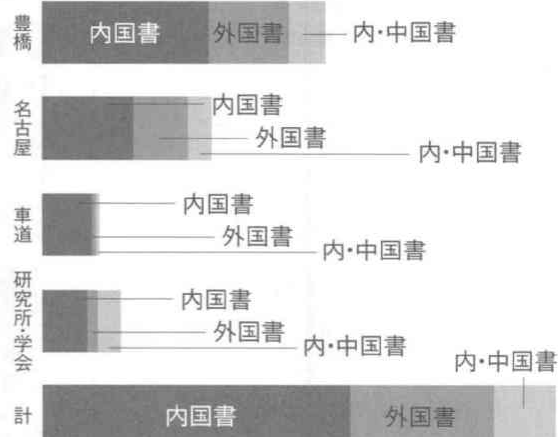


<http://library.aichi-u.ac.jp/>

(2010年 3月31日現在)

## 蔵書数

区分	内国書	外国書	合計	内・中国書
豊橋	462,383	326,822	789,205	113,621
名古屋	260,758	224,750	485,508	65,663
車道	133,721	13,335	147,056	2,691
研究所・学会	119,489	83,743	203,232	58,520
計	976,351	648,650	1,625,001	240,495



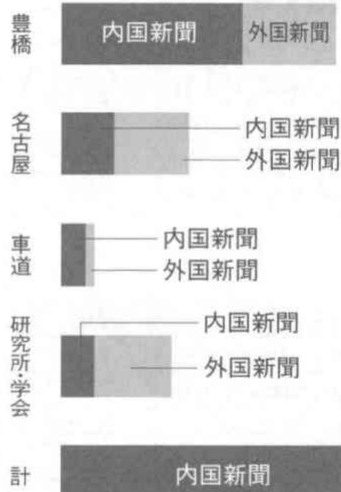
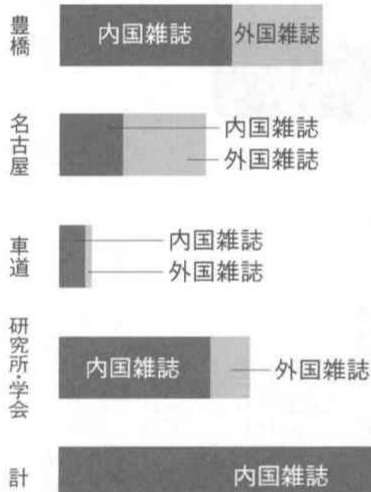


## 雑誌種類数

区分	内国雑誌	外国雑誌	合計	内・継続
豊橋	4,039	2,167	6,206	2,035
名古屋	1,519	1,928	3,447	1,218
車道	530	150	680	302
研究所・学会	3,452	797	4,249	2,094
計	9,540	5,042	14,582	5,649

## 新聞種類数

区分	内国新聞	外国新聞	合計	内・継続
豊橋	146	73	219	85
名古屋	46	65	111	42
車道	24	3	27	15
研究所・学会	26	59	85	27
計	242	200	442	169



## 受入図書の新移

区分	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
内国書	25,036	29,243	23,423	24,064	18,682
外国書	12,717	9,823	12,123	10,122	7,216
計	37,753	39,066	35,546	34,186	25,898

## 図書費の新移

(決算「図書支出の額」)

年度	図書費
2005年度	157,865,737
2006年度	147,561,019
2007年度	151,136,284
2008年度	147,747,673
2009年度	122,670,951

# 情報メディアセンター

## 概要

愛知大学には、高度な情報教育と教育研究の情報化を推進するための施設として、情報メディアセンターがあります。本学のほぼすべての学生は、大学での学習のための基礎となる情報リテラシーを受講し、その上でIT社会に即応できるさらに高度な情報関連の講義を受講することができます。

現在、情報メディアセンターには3キャンパス合計で約900台のパソコンが設置され、すべてがインターネットに接続しています。学生は空き時間に自由に電子メールを送受信したりネット検索をすることができます。

情報メディアセンターの実習室とマルチメディア教室は実習の授業以外には、課題レポートや卒業論文の作成、ソフトウェア講習会、資格取得講座など、幅広く利用されています。さらに、e-ラーニングを主とした授業や講習会なども用意されており、大学でも自宅でも、いつでも自由にe-ラーニングでさまざまな学習を行うことができます。

## ハードウェア

### ■車道校舎

設置場所	OS	台数
メディアゾーン	Windows Vista Business	50台
K802	Windows Vista Business	35台
K804	Windows Vista Business	50台

### ■豊橋校舎

設置場所	OS	台数	
情報メディアセンター (4号館)	420教室	WindowsXP/ Vista Business	70台
	421教室	Windows Vista Business	52台
	423教室	Windows Vista Business	58台
	424教室	Windows Vista Business	50台
	413教室	Windows Vista Business	25台
5号館	514教室	Windows Vista Business	25台
	523教室	Windows Vista Business	50台
図書館	メディアゾーン	Windows Vista Business	40台

### ■名古屋校舎

設置場所	OS	台数	
情報メディアセンター	第1実習室	Windows Vista Business	60台
	第2実習室	Windows Vista Business	30台
	第3実習室	Windows Vista Business	20台
	オープンフロア	Windows Vista Business	19台
中央教室棟	マルチメディア教室	Windows Vista Business	60台
東教室棟	E201教室	Windows Vista Business	60台
	E202教室	Windows Vista Business	40台
図書館	メディアゾーン	Windows Vista Business	75台

## ソフトウェア

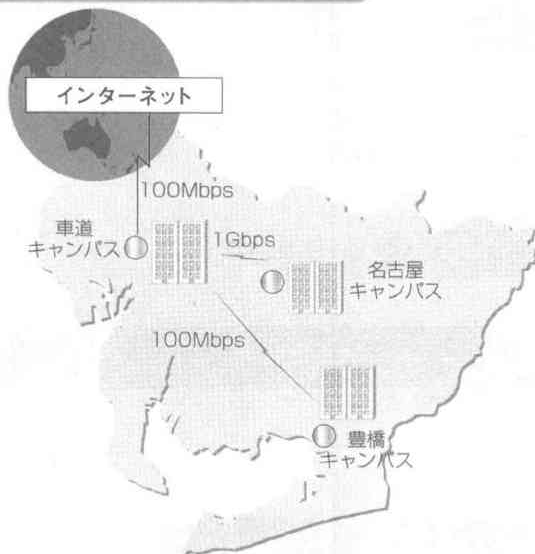
### Windows

ワープロ	●Microsoft Word 2007	他多数
表計算	●Microsoft Excel 2007	
プレゼンテーション	●Microsoft Power Point 2007	
電子メール	●Webメール	
WWWブラウザ	●Microsoft Internet Explorer	
データベース	●Microsoft Access 2007	

## サービス期間

詳しいサービス日程は、各情報メディアセンターのホームページで確認してください。

## キャンパスネットワーク接続図



# 資料

- 学部・学科別学生定員と学生数…59P
- 海外提携校・機関一覧…61P
- 外国人留学生数…62P
- 卒業生数一覧表…63P
- 学部等別教員数・校舎別事務職員数…69P
- 土地・建物面積…70P
- 豊橋校舎建物配置図…71P
- 名古屋校舎建物配置図…72P
- 車道校舎建物配置図…73P



# 学部・学科別学生定員と学生数

(2010年5月1日現在)

大学	学部・学科等	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
愛知大学	文学部	哲学科	—	—	—	—	5	5	
		社会学科	—	—	—	—	4	4	
		史学科	—	—	—	—	2	2	
		日本・中国文学科	—	—	—	—	1	1	
		欧米文学科	—	—	—	—	4	4	
		人文社会学科	325	1,300	365	358	388	423	1,534
	小計	325	1,300	365	358	388	439	1,550	
	経済学部	経済学科	375	1,500	406	420	475	505	1,806
	国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	115	460	116	132	130	177	555
		比較文化学科	115	460	122	123	168	160	573
	法学部	法学科	315	1,260	386	366	375	456	1,583
	経営学部	経営学科	250	1,000	312	269	299	344	1,224
		会計ファイナンス学科	125	500	144	157	155	170	626
	現代中国学部	現代中国学科	180	720	210	227	200	257	894
	計		1,800	7,200	2,061	2,052	2,190	2,508	8,811
	夜間	経済学部2部	経済学科	—	—	—	—	2	2
		法学部2部	法学科	—	—	—	—	1	1
		国際コミュニケーション学部	比較文化学科(夜間主コース)	—	—	—	—	0	0
		計		—	—	—	—	3	3
	専門職大学院	法科大学院 法務研究科	未修者コース(3年制)	40	120	28	19	13	26
既修者コース(2年制)			7			8	0	1	16
会計大学院 会計研究科			35	70	19	21	3	0	43
計			75	190	54	48	16	27	145



(2010年 5月1日現在)

大学	学部・学科等	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計		
愛知大学	大学院 博士前期課程	経済学研究科 経済学専攻	25	50	5	1	1	0	7	
		経営学研究科 経営学専攻	15	30	6	11	3	1	21	
		中国研究科 中国研究専攻	15	30	15	12	2	1	30	
		文学研究科 日本文化専攻	10	20	2	3	0	0	5	
		文学研究科 地域社会システム専攻	10	20	0	2	1	0	3	
		文学研究科 欧米文化専攻	10	20	4	0	0	0	4	
		国際コミュニケーション研究科 国際コミュニケーション専攻	15	30	7	9	3	2	21	
		小計	100	200	39	38	10	4	91	
		博士後期課程	法学研究科 公法学専攻	3	9	0	0	0	0	0
			法学研究科 私法学専攻	5	15	0	0	0	0	0
	経済学研究科 経済学専攻		5	15	0	0	0	0	0	
	経営学研究科 経営学専攻		5	15	1	0	0	3	4	
	中国研究科 中国研究専攻		15	45	13	8	13	30	64	
	文学研究科 日本文化専攻		2	6	1	0	0	0	1	
	文学研究科 地域社会システム専攻		2	6	0	0	1	0	1	
	文学研究科 欧米文化専攻		2	6	0	0	0	0	0	
	小計	39	117	15	8	14	33	70		
	計	139	317	54	46	24	37	161		
	合計	2,014	7,677	2,169	2,146	2,230	2,575	9,120		
大短学部期	ライフデザイン総合学科	200	400	213	224	9	1	447		
	合計	200	400	213	224	9	1	447		
総計		2,214	8,077	2,382	2,370	2,239	2,576	9,567		

注1)2004年4月より経済学部2部経済学科、法学部2部法学科、国際コミュニケーション学部比較文化学科(夜間主コース)の学生募集を停止。

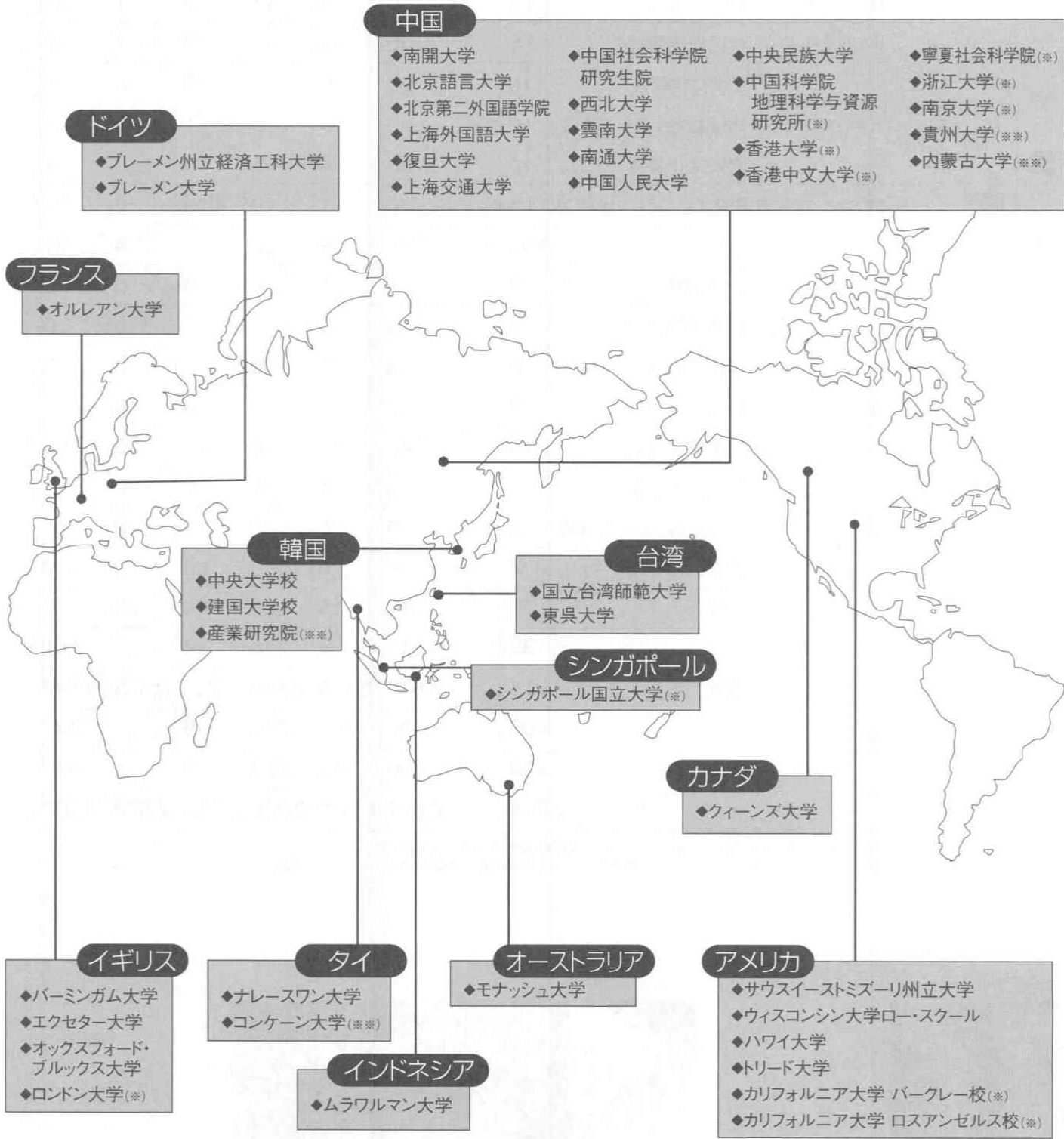
注2)2005年4月より文学部哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科、欧米文学科を改組し、人文社会学科を設置。経営学部会計ファイナンス学科を設置。



## 資料

学部・学科別学生定員と学生数

# 海外提携校・機関一覧



資料 海外提携校・機関一覧

注:(※)は本学国際中国学研究中心(ICCIS)との協定校・機関  
 注:(※※)は本学三遠南信地域連携センターとの協定校・機関

外国人留学生数

(2010年 5月1日現在)

	豊 橋													名 古 屋										車 道						合計	総計																					
	学 部						学部計	大学院		短期大学部計	短期大学部	協定留学生		協定留学生計	学 部						学部計	大学院※		名古屋計	大学院計	学部		学部計	大学院			車道計	合計																			
	文	経済		国コミュ		学部計		男	女			短期大学部	男		女	短期大学部	男	女	協定留学生	協定留学生計		法 1・2年	経営			現代中国			学部計				男	女	大学院※	男	女	名古屋計	大学院計	法 3年以上	男	女	学部計	男	女	大学院	男	女	大学院計	車道計	男	女
		男	女	男	女																					男	女																									
中国	5	7	21	9	22	49	113	4	8	12	1	1	6	6	132	2	21	31	58	64	176	25	23	48	224	4	1	5						5	160	201	361															
韓国		2			8	12	22						1	1	23		3	3	14	15	35				35									1	1	1	25	34	59													
台湾		1			1		2		2	2			1	1	5							1			1	1												2	4	6												
ベトナム				1	1	3	5								5																							1	4	5												
ネパール					3	2	5								5																							3	2	5												
タイ					1		1		1	1			1	1	3																							1	2	3												
フィリピン																																																				
マレーシア					1	1									1									1	1	1												2	2	2												
ペルー									1	1					1																							1	1	1												
イギリス																			1		1				1												1		1													
アメリカ													4	4	4																				4		4	4														
フランス													3	3	3																				3		3	3														
計	5	10	21	10	36	67	149	4	12	16	1	1	7	9	172	0	2	24	34	73	212	26	24	50	262	4	1	5	0	1	1	6	200	250	450																	

※中国研究科(博士課程)2年次生にはICCS分拠点入学 8名(男4、女4)を含む。  
 上記一覧は2010年5月1日現在、正規課程に在籍する外国人留学生数434名に協定留学生16名を含んだものである。  
 また研究生として学部研究生3名(国際コミュニケーション学部1、現代中国学部2)、大学院研究生7名(経営学研究科4、中国研究科3)が在籍している。



# 卒業者数一覧表

## 学部(旧制)

卒業年度	法経学部		計
	法政科	経済科	
1947		13	13
1948	5	13	18
1949	31	93	124
1950	34	96	130
1951	60	125	185
1952	93	204	297
合計	223	544	767

## 学部(新制)

卒業年度	法経学部第1部			法経学部第2部		文学部				計
	法学科	経済学科	経営学科	法学科	経済学科	哲学科	社会学科	史学科	文学科	
1952	93	355					5		20	473
1953	50	271					4		13	338
1954	55	364					7		20	446
1955	113	361					6		24	504
1956	118	325					2		32	477
1957	165	356		14	10		7	1	31	584
1958	156	464		10	5		10		27	672
1959	176	495		77	84		8	6	23	869
1960	171	484		91	98		8	11	25	888
1961	131	466		103	113	3	5	5	26	852
1962	137	530		121	100		12	4	21	925
1963	140	647		131	149	2	2	7	15	1,093
1964	179	730		186	240	5	6	10	16	1,372
1965	240	899		254	258	2	17	12	24	1,706
1966	263	826	288	242	293	3	20	10	46	1,991
1967	282	785	253	222	262	3	21	13	45	1,886
1968	285	926	186	256	238	5	37	26	83	2,042
1969	361	666	390	246	244	14	38	42	98	2,099
1970	451	823	280	279	231	3	28	48	104	2,247
1971	486	708	386	277	276	11	25	52	140	2,361
1972	462	600	305	260	212	8	37	70	108	2,062
1973	445	546	280	265	243	11	39	58	97	1,984
1974	508	647	345	275	304	11	36	55	88	2,269
1975	429	679	300	282	256	12	43	62	116	2,179
1976	446	668	327	277	237	19	50	56	120	2,200
1977	451	607	347	252	236	19	47	74	144	2,177
1978	451	667	384	247	262	30	43	67	139	2,290
1979	435	538	340	269	262	16	49	67	116	2,092
1980	449	645	341	258	220	19	34	77	136	2,179
1981	426	530	394	238	243	23	39	71	129	2,093
1982	419	534	364	235	278	31	38	77	100	2,076
1983	381	495	369	204	222	27	61	62	138	1,959
1984	420	514	370	235	197	35	51	64	142	2,028



## 学部(新制)

卒業年度	法経学部第1部			法経学部第2部		文学部				計
	法学科	経済学科	経営学科	法学科	経済学科	哲学科	社会学科	史学科	文学科	
1985	447	593	369	197	194	40	59	78	141	2,118
1986	457	544	360	183	176	25	50	72	142	2,009
1987	384	537	383	215	244	30	70	69	152	2,084
1988	362	496	365	224	190	30	58	58	121	1,904
1989	309	508	368	200	184	30	50	75	123	1,847
1990	338	431	388	251	256	33	60	65	142	1,964
1991	274	442	561	209	222	29	52	73	124	1,986
小計	12,345	22,702	9,043	7,285	7,239	529	1,234	1,597	3,351	65,325

## 学部(新制)

卒業年度	法学部1部	経済学部1部	経営学部	現代中国学部	法学部2部	経済学部2部	文学部					国際コミュニケーション学部			計		
							人文社会学科	哲学科	社会学科	史学科	文学科	日本・中国文学科	欧米文学科	言語コミュニケーション学科		比較文化学科(昼間主)	比較文化学科(夜間主)
1992	396	468	452		216	187		47	61	71	159						2,057
1993	350	452	458		213	162		37	64	81	163						1,980
1994	406	507	515		224	204		47	90	90	166						2,249
1995	399	471	452		196	163		35	87	83	168						2,054
1996	427	527	511		218	182		50	103	75	133						2,226
1997	517	578	470		229	173		60	109	96	146						2,378
1998	431	501	520		160	148		38	74	96	164						2,132
1999	404	465	511		182	155		68	87	78	163						2,113
2000	442	510	506	135	128	150		36	96	99	192						2,294
2001	426	531	462	168	156	116		46	94	81	154			95	115	38	2,482
2002	412	524	501	209	91	73		57	95	54	—	58	76	103	97	30	2,380
2003	413	510	441	205	121	92		41	91	90	—	48	75	93	95	30	2,345
2004	406	478	483	212	95	55		50	75	78	—	72	91	102	107	21	2,325
2005	362	502	493	188	96	81		48	79	96	—	61	70	114	113	20	2,323
2006	376	448	420	218	113	76		51	92	76	—	57	82	103	107	24	2,243
2007	352	397	370	196	25	21		37	74	70	—	51	51	130	141	4	1,919
2008	351	387	449	204	8	2	301	4	9	8	—	5	7	133	107	2	1,977
2009	356	419	442	207	0	1	383	2	0	3	—	1	1	133	138	0	2,086
合計	19,571	31,377	17,499	1,942	9,756	9,280	684	1,283	2,614	2,922	4,959	353	453	1,006	1,020	169	104,888

注) 法学部1部、経済学部1部、経営学部、法学部2部及び経済学部2部には、法経学部第1部及び法経学部第2部を含む。  
2000年度より9月卒業生数を含む。

# 卒業生数一覧表

## 短期大学部

卒業年度	法経科 第2部	文科 第2部	言語文化学科 (文科)	現代生活学科 (生活科)	ライフデザイン 総合学科	計
1951	353	18				371
1952	299	17				316
1953	342	13				355
1954	269	21				290
1955	330	22				352
1956	235	13				248
1957	67	12				79
1958	57	7				64
1959	59	廃止				59
1960	61		52			113
1961	60		62			122
1962	82		26	61		169
1963	130		51	81		262
1964	160		64	126		350
1965	164		63	102		329
1966	250		119	145		514
1967	145		128	144		417
1968	128		134	159		421
1969	135		156	165		456
1970	87		184	165		436
1971	66		168	154		388
1972	76		169	154		399
1973	67		177	158		402
1974	59		163	165		387
1975	36		195	186		417
1976	40		182	166		388
1977	43		199	190		432
1978	8		174	173		355
1979	廃止		187	178		365
1980			196	160		356
1981			199	191		390
1982			195	160		355
1983			215	154		369
1984			215	187		402

## 短期大学部

卒業年度	法経科 第2部	文科 第2部	言語文化学科 (文科)	現代生活学科 (生活科)	ライフデザイン 総合学科	計
1985			154	157		311
1986			248	228		476
1987			210	173		383
1988			196	177		373
1989			181	172		353
1990			215	156		371
1991			227	183		410
1992			234	175		409
1993			202	172		374
1994			247	236		483
1995			205	184		389
1996			225	188		413
1997			230	165		395
1998			214	229		443
1999			216	150		366
2000			194	147		341
2001			197	174		371
2002			174	144		318
2003			190	136		326
2004			180	105		285
2005			142	100		242
2006			3	1	234	238
2007					232	232
2008					226	226
2009					215	215
合計	3,808	123	7,957	7,076	907	19,871

注)1996年度より9月卒業生数を含む。

## 文学専攻科

1956	5	1969	3	1982	1
1957	5	1970	5	1983	3
1958	4	1971	5	1984	4
1959	5	1972	3	1985	4
1960	5	1973	8	1986	1
1961	6	1974	7	1987	4
1962	3	1975	3	1988	2
1963	3	1976	3	1989	3
1964	6	1977	7	1990	5
1965	3	1978	6	1991	1
1966	6	1979	2	1992	廃止
1967	3	1980	0		
1968	2	1981	5	合計	141

注)1996年度より9月卒業生数を含む。

# 卒業者数一覧表

## 大学院

修了 年度	博士後期課程(修了者・単位修得者)							修士課程							計		
	法学 研究科	経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科			法学研究科		経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科			国際 コミュニケーション 研究科	
	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム	欧米 文化	公法	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム		欧米 文化	国際 コミュニケーション
1955								11		9							20
1956								3		7							10
1957								3		9							12
1958								4	2	2							8
1959								4	2	8							14
1960								4	1	4							9
1961								4	8	3							15
1962								3		3							6
1963								5	4	9							18
1964								7	3	8							18
1965									7	11							18
1966	3(3)							4	9	15							31
1967	2(2)							4	6	27							39
1968	3(3)							8	4	24							39
1969								5	2	23							30
1970								9	10	24							43
1971	1(1)							8	1	13							23
1972								8	5	16							29
1973								10	4	26							40
1974								17	4	22							43
1975								5	3	24							32
1976	1(1)							6	2	22							31
1977	1(1)							7	1	18							27
1978	1(1)							5	2	10	14						32
1979								7	3	9	7						26
1980								10	8	11	8						37
1981								8	5	10	6						29
1982	1(1)		1(1)					4		7	8						21
1983									2	8	5						15
1984								4		9	7						20
1985		3(3)	1					1	2	5	6						18
1986	1(1)	5(5)	1(1)					2	2	4	6						21
1987		1(1)						3	2	10	5						21
1988		2(1)						2	1	1	5						11
1989								2	1	8	7						18
1990	1(1)	1(1)	3(3)					2	3	3	4						17

修了 年度	博士後期課程(修了者・単位修得者)							修士課程								計		
	法学 研究科	経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科			法学研究科		経済学 研究科	経営学 研究科	中国 研究科	文学研究科				国際 コミュニケーション 研究科	
	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム	欧米 文化	公法	私法	経済	経営	中国 研究	日本 文化	地域社会 システム	欧米 文化		国際 コミュニケーション	
1991		1(1)	1(1)					1	3	3	14							23
1992								4	6	6	2	2	2		1			23
1993		1(1)	3(2)					2	6	3	13	5	4	1	7			45
1994	1(1)							4	5	14	15	5	6	1				51
1995	1(1)		1(1)					6	9	13	13	9	3	4	3			62
1996			1(1)	1(1)	1(1)			5	14	16	24	9	7	1	3			82
1997			1		2(2)	1(1)	1(1)	3	16	12	15	5	5	3	3			67
1998	1(1)	1(1)		3(3)	3(3)	1	1(1)	3	16	11	16	5	5	4	4			74
1999			2(2)	3(3)	2(1)		2(2)	4	8	17	13	16	2	3	3			75
2000			2	1(1)	5(4)			2	15	16	10	13		4	3			71
2001			3(2)	2(2)		1	1	5	16	14	21	3	4	1	6			77
2002		1	1	2(1)	3(2)			3	8	19	16	9	5	5	2			74
2003			3(1)	5(4)	3(3)			1	2	11	14	9	3	2	1	9		63
2004			1		2(1)	2(2)		2	4	7	15	13	2	1	2	6		57
2005			1	2	1(1)					8	16	16	1	1	1	7		54
2006			1	8(2)	2(1)		1(1)			3	18	8	2	1	1	10		55
2007				8			1(1)			4	13	7		3		7		43
2008			1	4(1)	1(1)	1(1)				5	8	13		3	1	4		40
2009			1	5(2)						10	14	11	2	1		2		46
合計	18(18)	16(14)	29(15)	44(20)	25(20)	5(4)	7(6)	234	237	614	358	158	53	39	41	45	1,923	

( )内は、単位修得満期退学者で内数。 注) 2000年度より9月卒業者数を含む。

## 専門職大学院

修了 年度	専門職学位課程			計
	法務研究科		会計研究科	
	未修者 コース	既修者 コース		
2005	—	19		19
2006	15	11		26
2007	11	11	37	59
2008	13	13	24	50
2009	16	8	36	60
合計	55	62	97	214

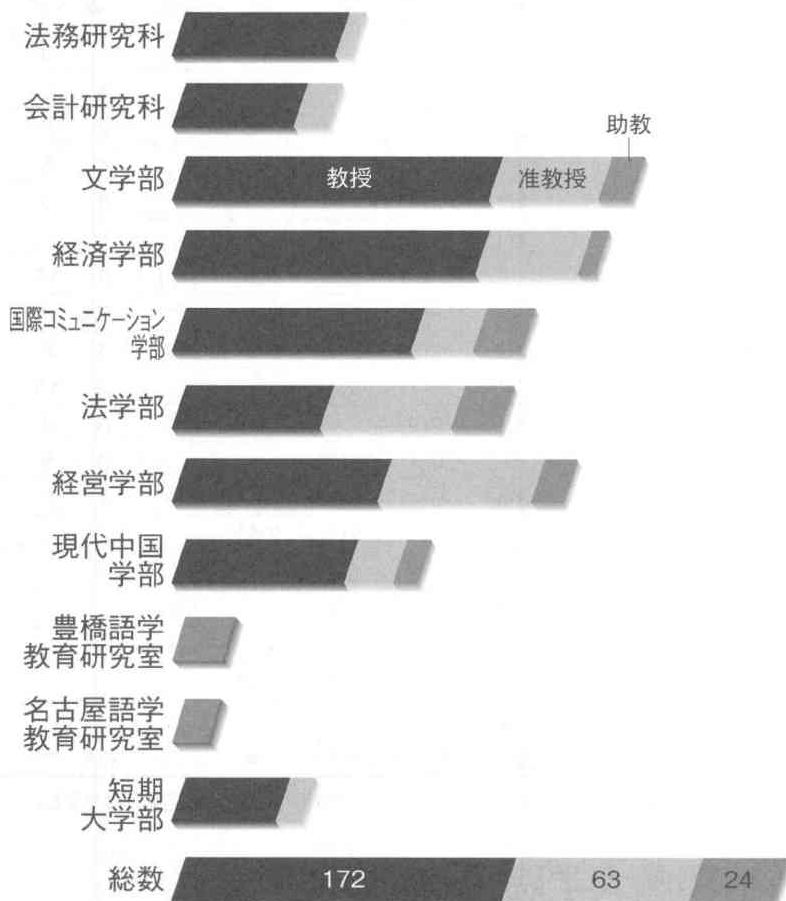
# 学部等別教員数・校舎別事務職員数

## 学部等別教員数

(2010年 4月現在)

学部等	教授	准教授	助教	計
法務研究科	15	1	0	16
会計研究科	11	3	0	14
文学部	30	10	3	43
経済学部	30	9	1	40
国際コミュニケーション学部	24	5	4	33
法学部	14	12	4	30
経営学部	20	16	3	39
現代中国学部	18	5	2	25
豊橋語学教育研究室	0	0	4	4
名古屋語学教育研究室	0	0	3	3
短期大学部	10	2	0	12
総数	172	63	24	259

※法務研究科の教員数のうち1人は法学部との併任。  
 ※会計研究科の教員数のうち4人は経営学部との併任。



## 校舎別事務職員数

(2010年 4月現在)

校舎	豊橋校舎	名古屋校舎	車道校舎	総数
専任	74	38	36	148



資料

学部等別教員数  
校舎別事務職員数

## 土地・建物面積

### 土地

土地412,893㎡（実測）  
〔自有305,119㎡ 借用107,774㎡〕

（2010年3月31日現在）

用途区分	愛知大学専用	大学短大共用	計
校舎敷地	82,920㎡(29,687㎡)	54,575㎡	137,495㎡(29,687㎡)
図書館敷地	4,340㎡(3,892㎡)	13,172㎡	17,512㎡(3,892㎡)
運動場	80,114㎡(24,959㎡)	72,845㎡	152,959㎡(24,959㎡)
体育施設敷地	4,299㎡(669㎡)	9,098㎡	13,397㎡(669㎡)
その他	62,121㎡(38,344㎡)	29,409㎡(10,223㎡)	91,530㎡(48,567㎡)
計	233,794㎡(97,551㎡)	179,099㎡(10,223㎡)	412,893㎡(107,774㎡)

備考 ( )内は借用土地を内数で示す。

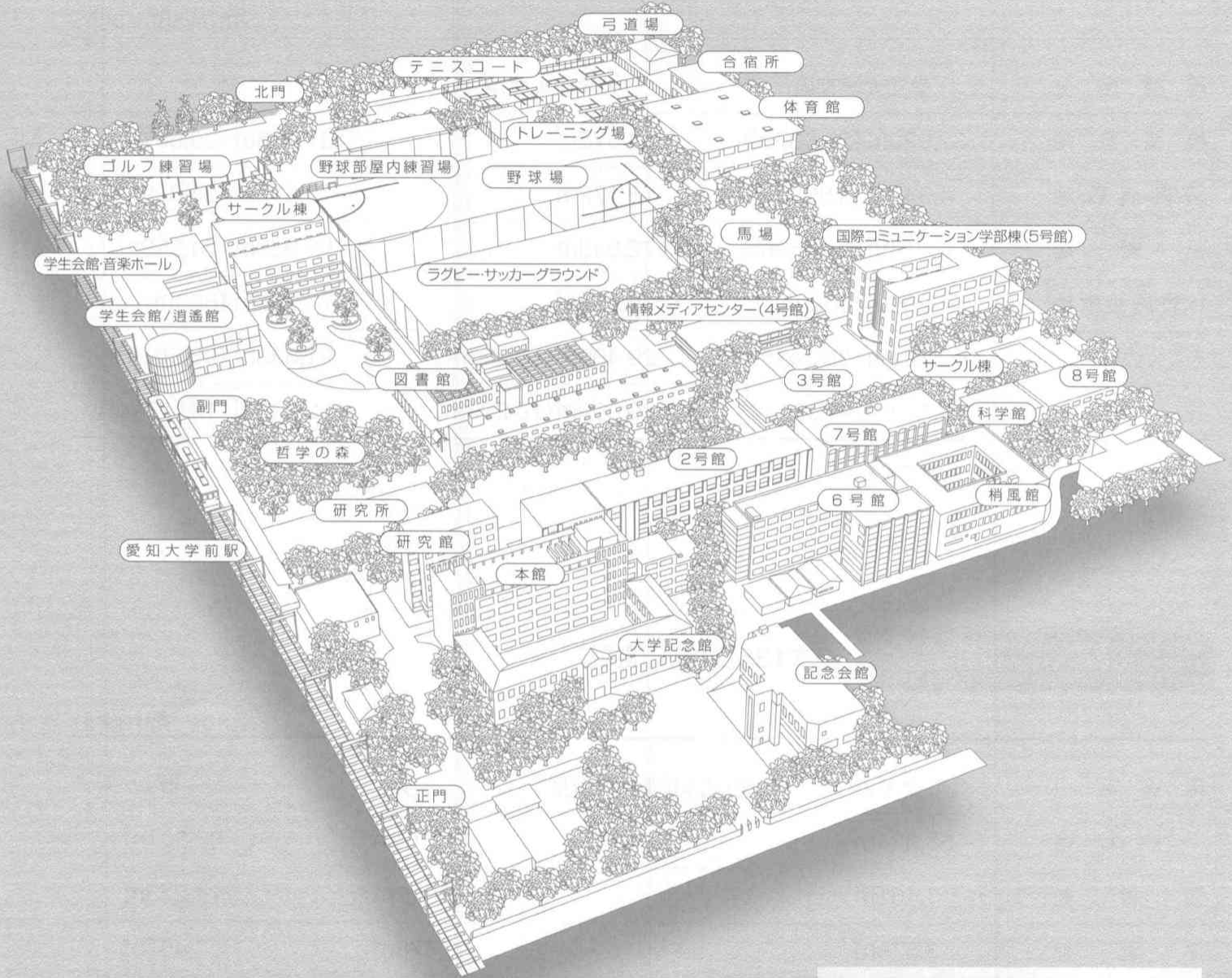
### 建物

自有135,332㎡（登記）

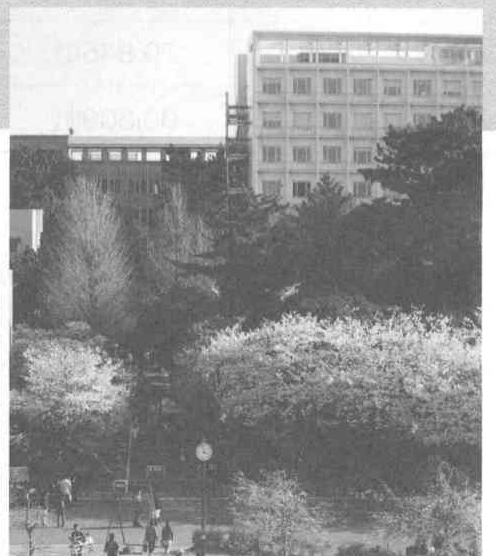
（2010年3月31日現在）

用途区分	愛知大学専用	愛知大学短期大学部専用	共用	計
一般校舎	58,924㎡	2,763㎡	24,614㎡	86,301㎡
図書館	7,461㎡		6,812㎡	14,273㎡
体育館	3,579㎡		3,878㎡	7,457㎡
その他	20,845㎡	1,723㎡	4,733㎡	27,301㎡
計	90,809㎡	4,486㎡	40,037㎡	135,332㎡

# Toyohashi

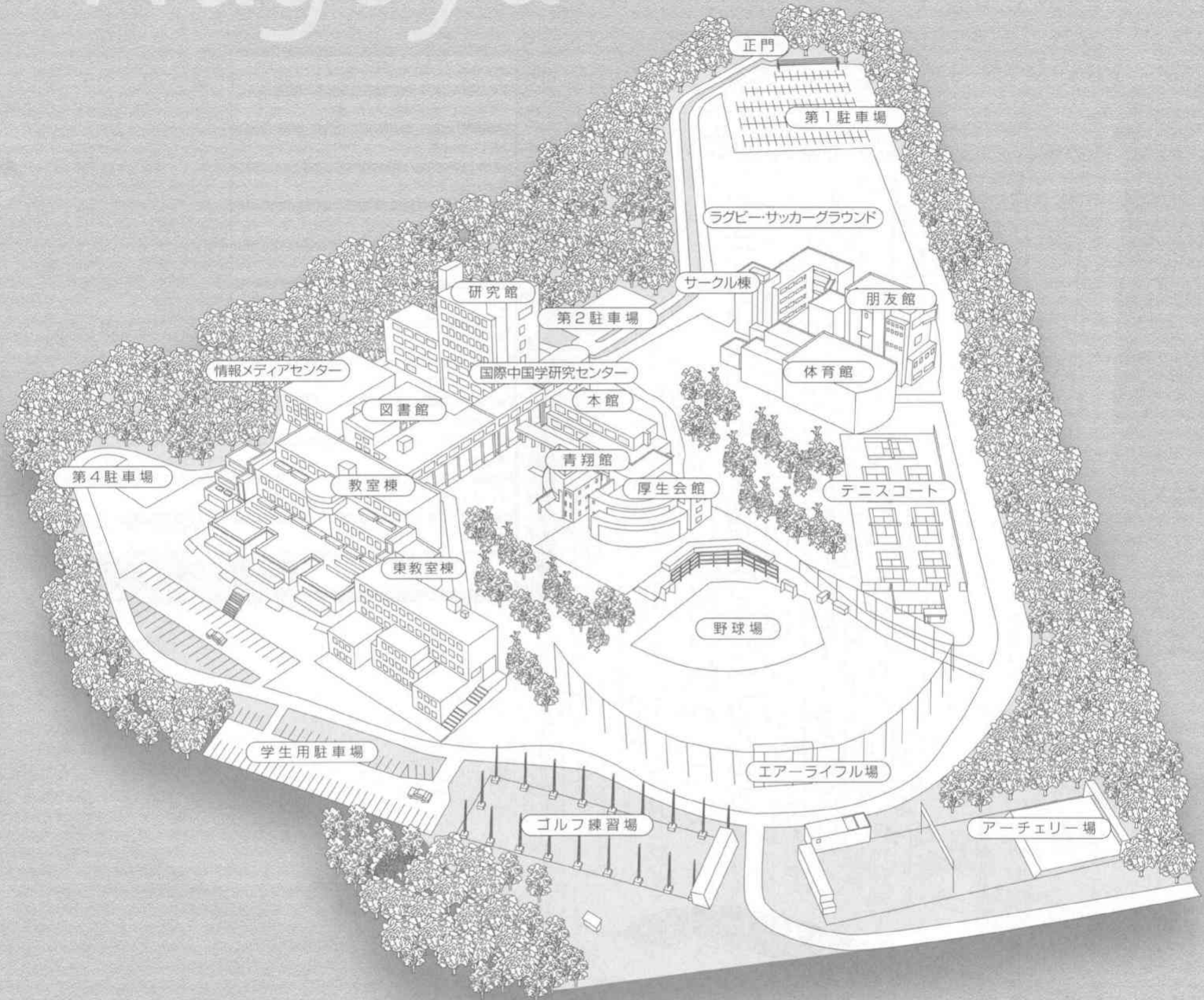


資料  
豊橋校舎建物配置図





# Nagoya



資料  
名古屋校舎建物配置図

# Kurumamichi

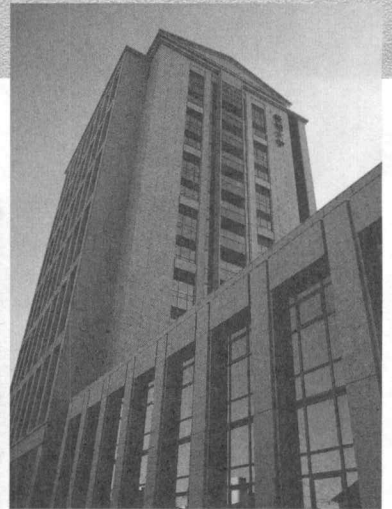
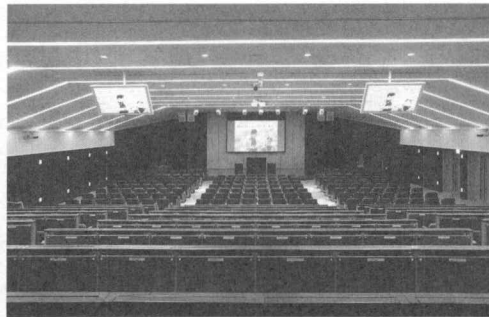


13階	愛知大学同窓会/校友課/会議室/展望ラウンジギャラリー	
12階	ゼミ室/会計大学院図書室/共同学習室	
11階	ゼミ室/講師控室	
10階	教室/ゼミ室	
9階	教室/学生用ロッカー	
8階	教室	
7階	法廷教室/エクステンションセンター実習室/教室	
6階	法科大学院院長室/研究室/客員用研究室/共同研究室 教員用ラウンジ/ミーティングルーム	
5階	法科大学院図書室	
4階	車道図書館	
3階	情報メディアセンター/語学自習コーナー/情報システム課	コンベンションホール
2階	エクステンションセンター/車道キャリア支援課-就職資料コーナー	教室
1階	総合インフォメーション/カフェラウンジ	車道総務課/企画・広報課/入試課 車道教学課/学生相談室/保健室
地階		

階層図

資料

車道校舎建物配置図



## 愛知大学の歴史

# HISTORY

「東亜同文書院(後に大学)」は、1901年中国上海に設置され、日本の海外高等教育機関として最も古い歴史をもちます。当時貴族院議長であった近衛篤磨公が、東亜同文会を設立。東亜同文会の理念は教育文化事業によって日中友好提携を成し遂げることであり、そのための人材育成が東亜同文書院大学の設立目的でした。後に首相となった近衛文磨公も1926年から5年あまり院長に就任しています。

アジア随一の国際都市であり、当時の文化や流行の発信地でもあった上海で、学問の自由を尊ぶ校風のもと、中国・アジア重視の国際人を養成。しかし、日本の敗戦によって東亜同文書院大学は中国に接收、半世紀にわたる歴史の幕を閉じたのです。その折、同大学最後の学長を務めた本間喜一(後に最高裁判所事務総長)は、新たな大学の設立を決意。1946年5月、本間学長の呼びかけに東亜同文書院大学の教職員、学生の多くが集い、同年11月15日に愛知大学は中部地区唯一の旧制の法文系大学として誕生しました。1949年4月からは法経学部(法学科・経済学科)に文学部(社会学科)を加えた2学部3学科で新制大学へと移行、今日の発展に至ったのです。

建学の精神として「世界文化と平和への貢献」、「国際的教養と視野をもった人材の育成」、「地域社会への貢献」を掲げ、設立当初より国際文化大学をめざしてきた愛知大学は今、21世紀にはばたく真の国際人の育成を担っています。

### 校名と校章について

「愛知大学」の校名はフィロソフィア、つまり「知=智を愛する」という言葉に語源をもつもので、単なる場所的な発想ではありません。愛知という言葉の中には、創立者たちの「本学をして永遠に智を愛する者たちの殿堂たらしめよ」との崇高な理念が込められているのです。

校章は、愛知大学の「愛」と「大」を組み合わせて図式化したもので、簡素な中にも建学の精神の下、たゆまぬ歩み続ける決意と誇りを表現しています。制定は昭和22年6月。制作は高須光治氏(岸田劉生氏門下)の原案。



### 自由受難の鐘

愛知大学建学の草創期、木立の松の枝に吊るされ、学生に時を告げていた鐘は、第4回卒業生(昭和26年)によって柱を贈られ、時代とともに移り変わる愛知大学を、今も静かに見守っています。

「自由受難」の文字は、自由を求めれば、必然的に苦難は避けることができないという意味を持ち、自由を愛し、知を愛す現代の学生に対しても、さまざまな壁を乗り越えて自己実現に向かって前進してほしいという思いが込められています。



東亜同文書院創立者  
近衛 篤磨



東亜同文書院虹橋路校舎  
正門



愛知大学創立者  
本間 喜一

## 知の蓄積。

新しい価値は、豊富な蓄積の中から生まれる。



## 知の展開。

新たな挑戦の連続が、やがて伝統になっていく。

### 「PROJECT2012」が意味するもの

愛知大学では2008年4月より「PROJECT2012」を実施しています。本PROJECTでは、2012年の新・名古屋キャンパス(ささしま)の開校を中心として、豊橋校舎における学部再編、新学部の設置など、様々な施策を企画・実行して参ります。

「第二の創学・建学」のスタートとも言える本PROJECTは、本学の新たな伝統創りの起点となるものであり、2012年4月に開設される新・名古屋キャンパスはその道標と言えます。

### キャッチフレーズ「知の蓄積」「知の展開」が意味するもの

#### 知の蓄積

愛知大学は、東亜同文書院(後に大学)の学問的伝統を継承し、中部地区唯一の旧制の法文系大学として戦後まもなく誕生しました。「知の蓄積」とは、現在に至るまでの学問と伝統の積み重ねを表しています。

#### 知の展開

愛知大学は旧き「知」と新たな「知」を愛し、教育・研究に邁進しています。「知の展開」とは、歴史と蓄積された知を継承した新たな挑戦の連続による次の時代の伝統創りを表しています。



資料  
奥付

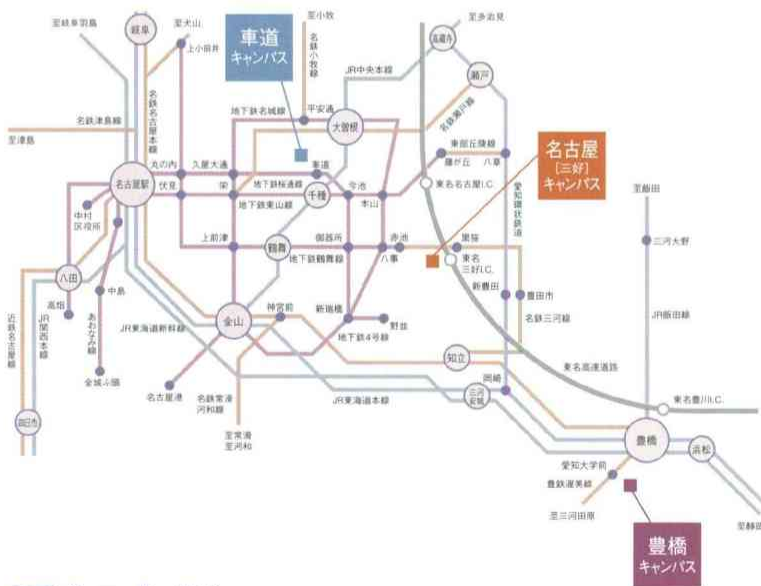
## 愛知大学要覧(非売品)

・2010年6月印刷 ・2010年6月14日発行

発行 愛知大学  
豊橋校舎 〒441-8522 豊橋市町畑町1-1  
TEL.(0532)47-4111(代)

編集 愛知大学 企画・広報課

ACCESS MAP



**愛知大学**  
AICHI UNIVERSITY

- [ 豊橋キャンパス ] 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1  
TEL. 0532-47-4111(代) FAX. 0532-47-4149
- [ 名古屋キャンパス ] 〒470-0296 愛知県みよし市黒世町清水370  
TEL. 0561-36-1111(代) FAX. 0561-36-5546
- [ 車道キャンパス ] 〒461-8641 愛知県名古屋市東区筒井2丁目10-31  
TEL. 052-937-8111(代) FAX. 052-937-4816
- [ 東京事務所 ] 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コモンゲート西館37階  
TEL. 03-3501-6405(代) FAX. 03-3501-6406